

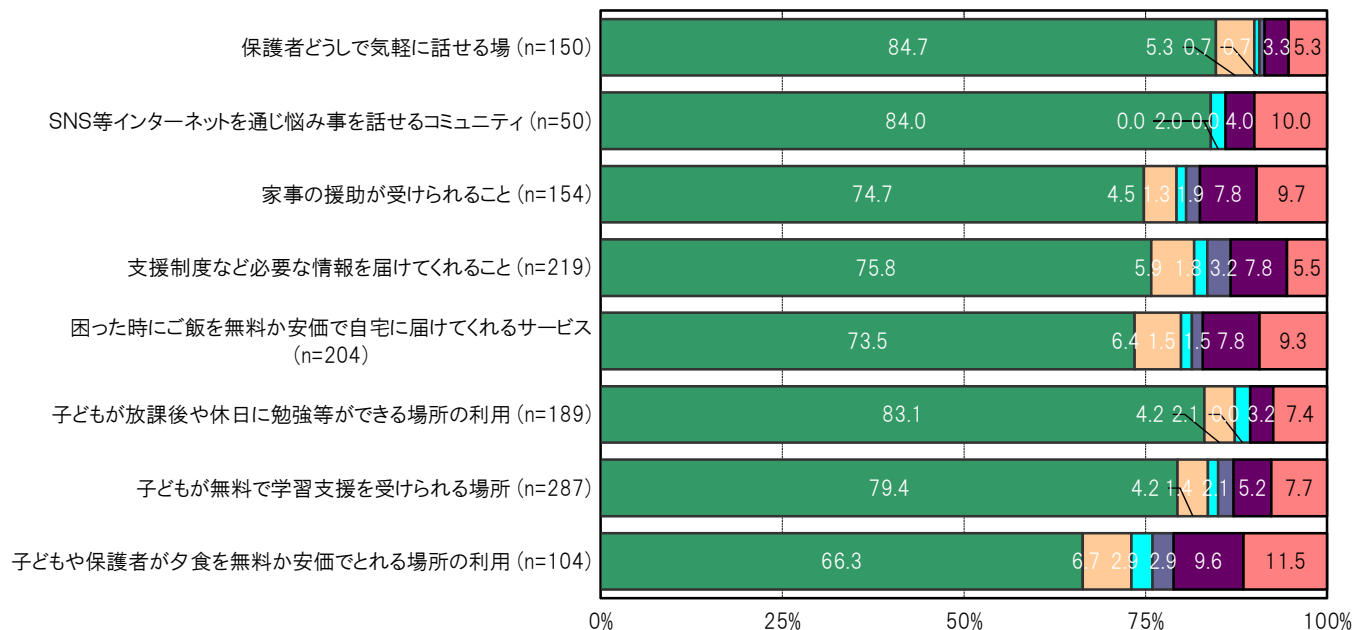
A-201.身近にあると良いと思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／ひとり親家庭等就業・自立支援センター〔保護者 問24e〕

大阪市港区の身近にあると良いと思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」73.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」6.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.5%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.5%、「それ以外の理由」7.8%となっている。

大阪市港区の身近にあると良いと思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」79.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」1.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.1%、「それ以外の理由」5.2%となっている。

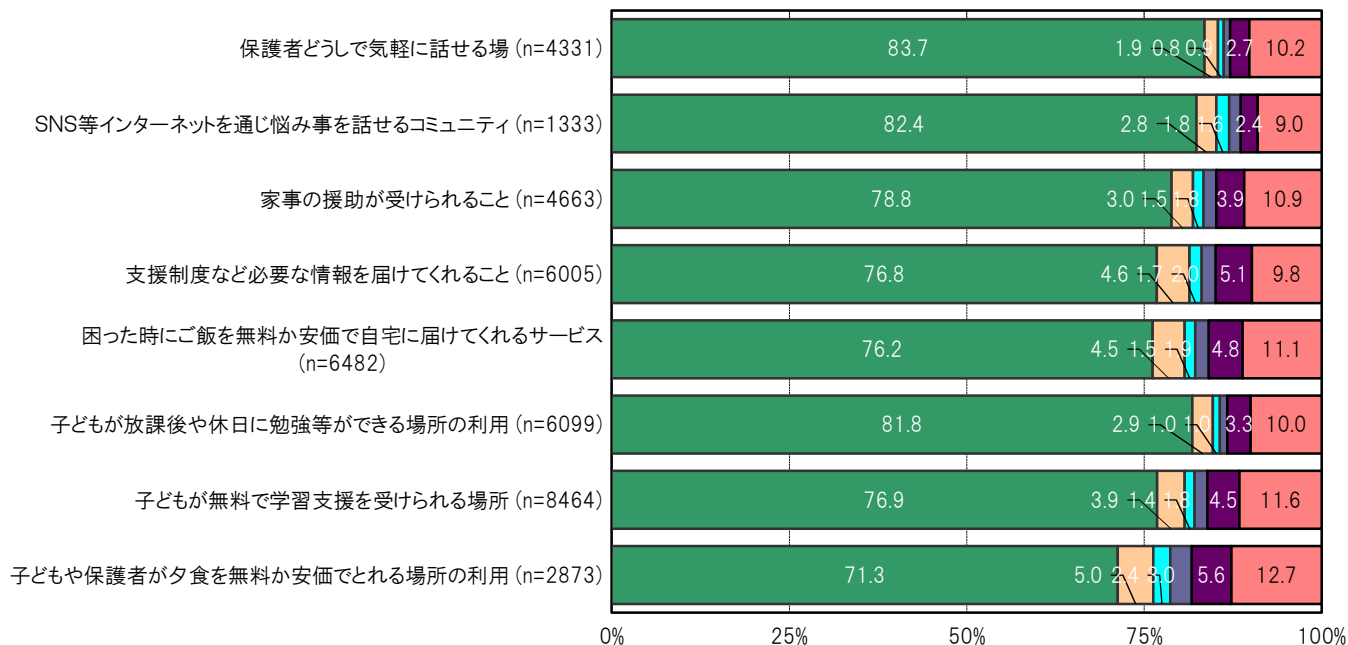
〔大阪市港区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると良いと思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



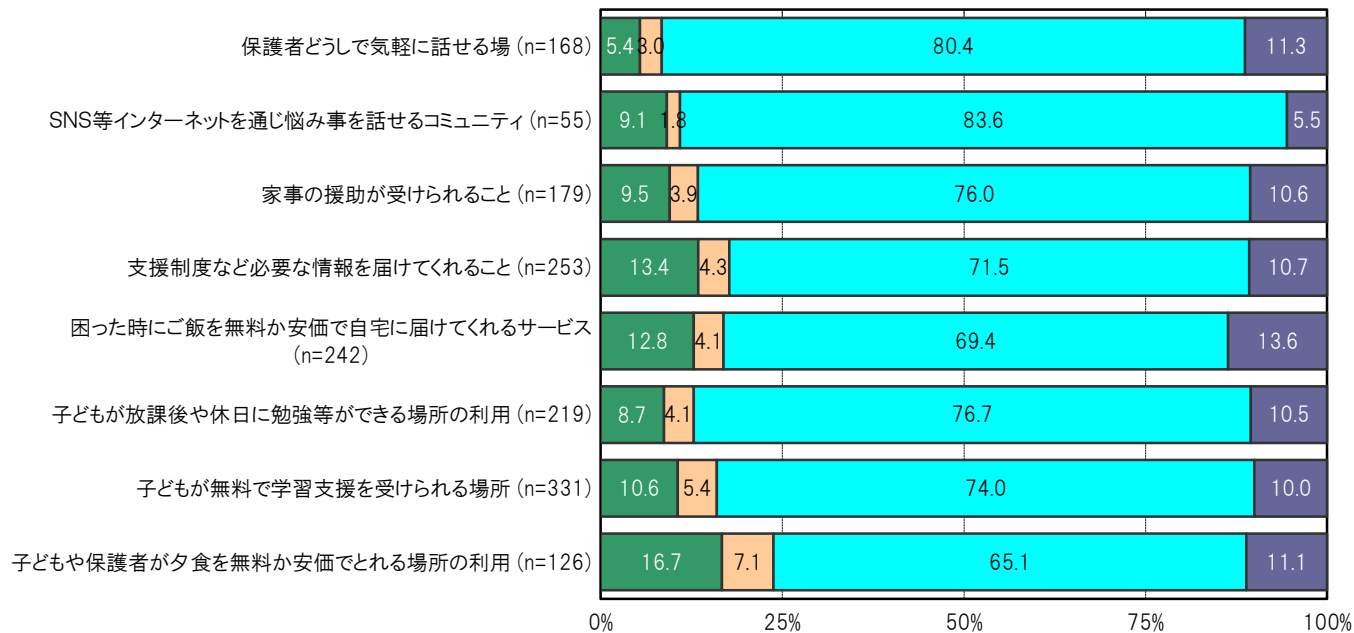
**A-202.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市港区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」12.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」4.1%、「利用したことがない」69.4%、となっている。

大阪市港区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」10.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」5.4%、「利用したことがない」74.0%、となっている。

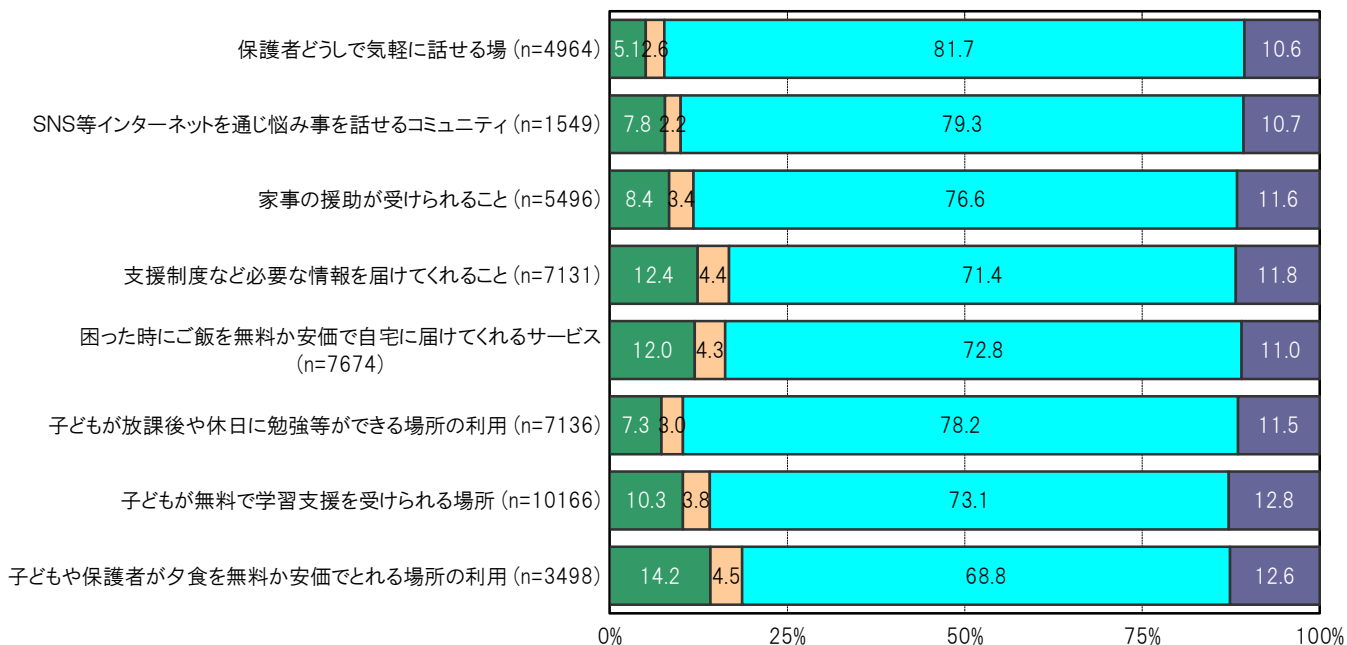
〔大阪市港区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



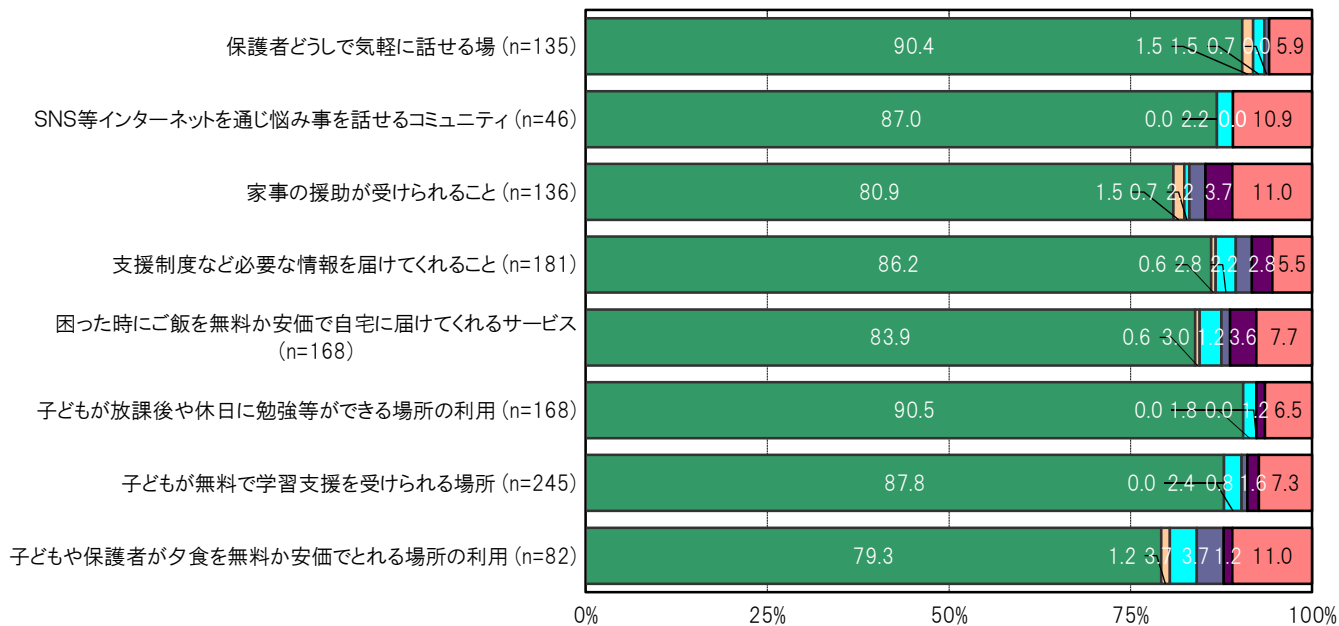
**A-203.身近にあると思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
低所得世帯への世帯生活支援特別給付金〔保護者 問24f〕**

大阪市港区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」83.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.6%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」3.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」1.2%、「それ以外の理由」3.6%となっている。

大阪市港区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」87.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」0.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」0.8%、「それ以外の理由」1.6%となっている。

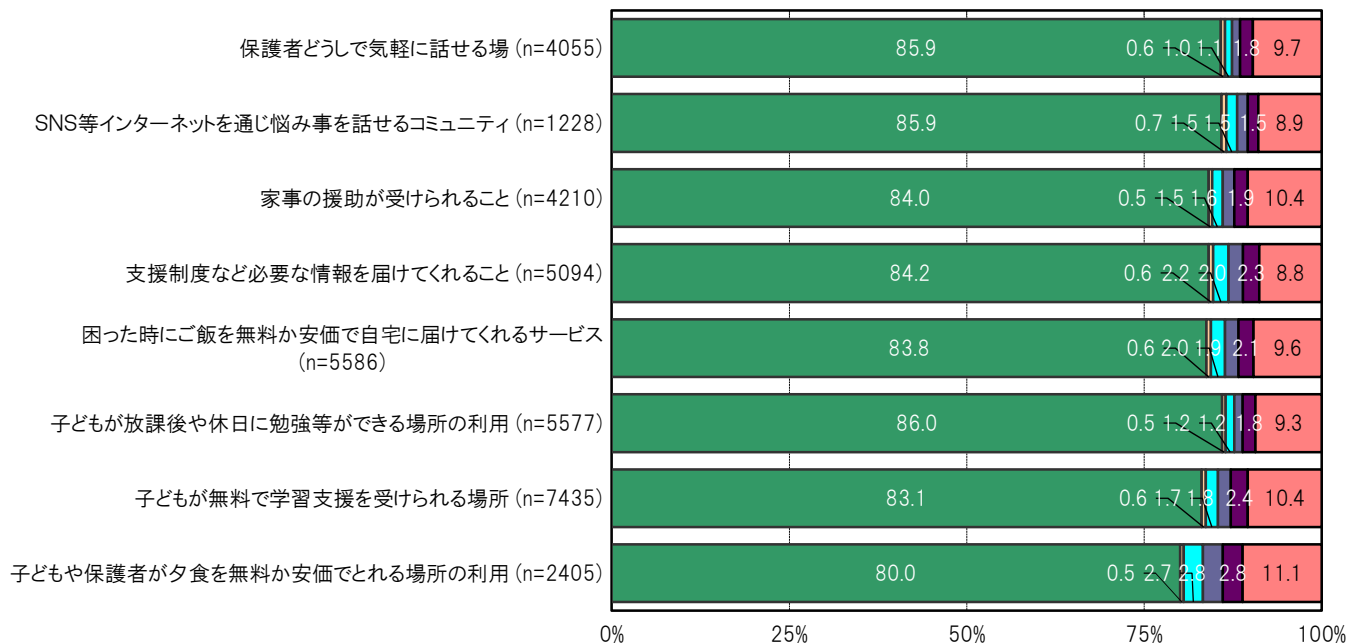
〔大阪市港区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



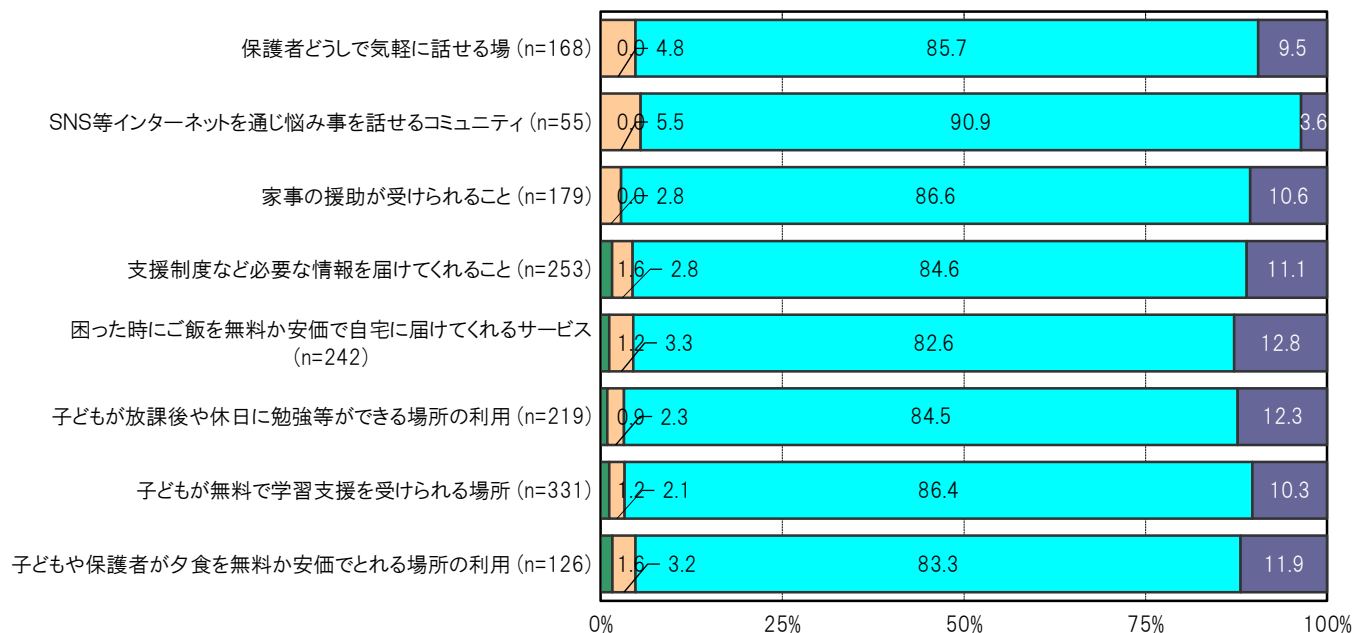
**A-204.身近にあると思うもの別にみた支援制度の利用状況／
新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市港区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「現在利用している」1.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」3.3%、「利用したことがない」82.6%、となっている。

大阪市港区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「現在利用している」1.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」2.1%、「利用したことがない」86.4%、となっている。

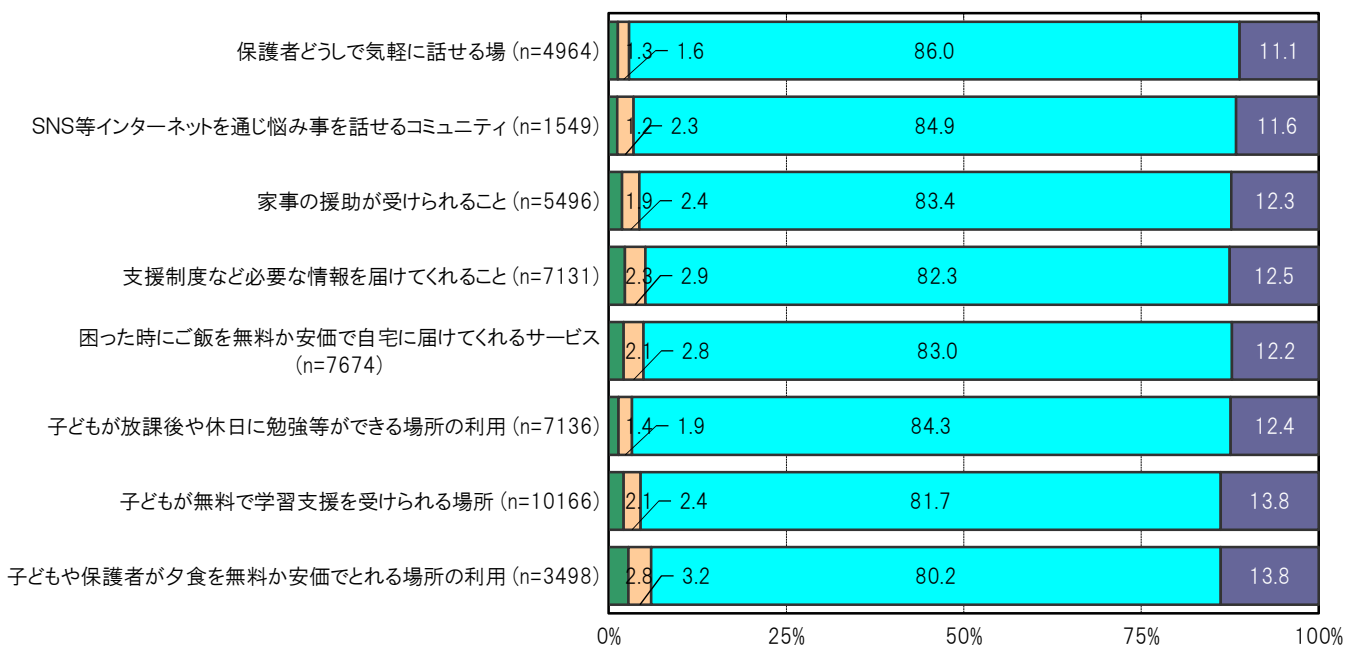
〔大阪市港区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

■現在利用している ■現在利用していないが、以前利用したことがある ■利用したことがない ■無回答



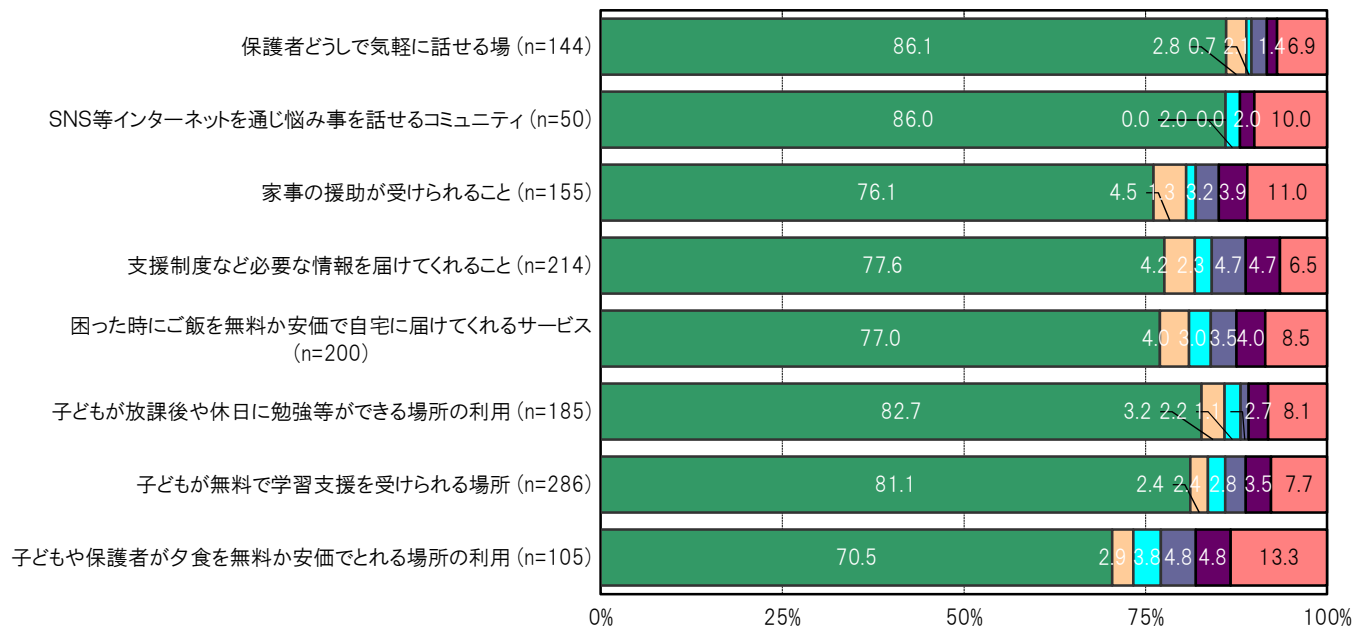
**A-205.身近にあると思うもの別にみた支援制度を利用しない理由／
新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金【保護者 問24g】**

大阪市港区の身近にあると思うもの／困った時にご飯を無料か安価で自宅に届けてくれるサービス群においては、「制度の対象外」77.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」4.0%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」3.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」3.5%、「それ以外の理由」4.0%となっている。

大阪市港区の身近にあると思うもの／子どもが無料で学習支援を受けられる場所群においては、「制度の対象外」81.1%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」2.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」2.4%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」2.8%、「それ以外の理由」3.5%となっている。

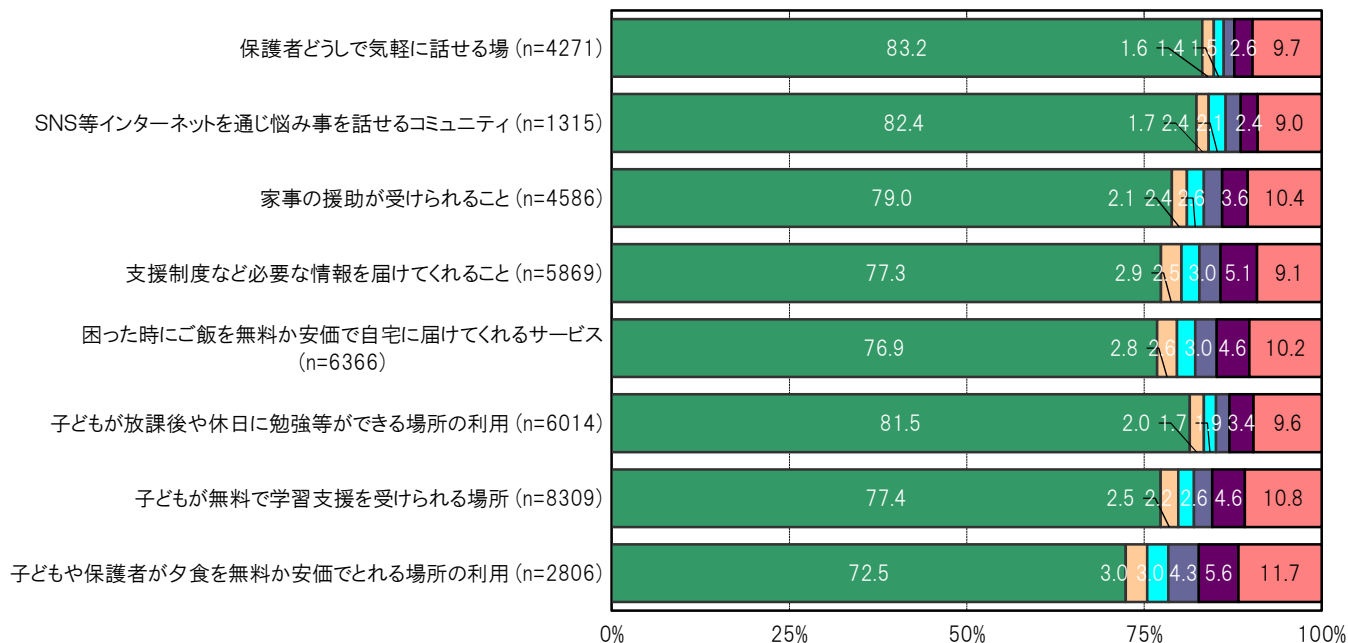
〔大阪市港区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



〔大阪市24区／身近にあると思うもの別〕

- 制度の対象外
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 無回答



【家庭状況(制度等)に関する考察】

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が14.5%となっている。困窮度Ⅰでは、37.9%、困窮度Ⅱでは、46.2%を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で59.5%、困窮度Ⅰで77.1%、困窮度Ⅱで75.0%となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で1.9%と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰでは、9.5%、困窮度Ⅱでは3.8%となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付を必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、特に母子世帯に着目すると、養育費の「取り決めをしており、受け取っている」世帯は、全体で25.6%にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰで37.0%、困窮度Ⅱで85.7%となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業が4.3%、高等学校中途退学が47.8%と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

住宅形態別に家計の状況を見ると、「府営・市営の住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が35.3%である。同様に、府営・市営の住宅については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が70.6%と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

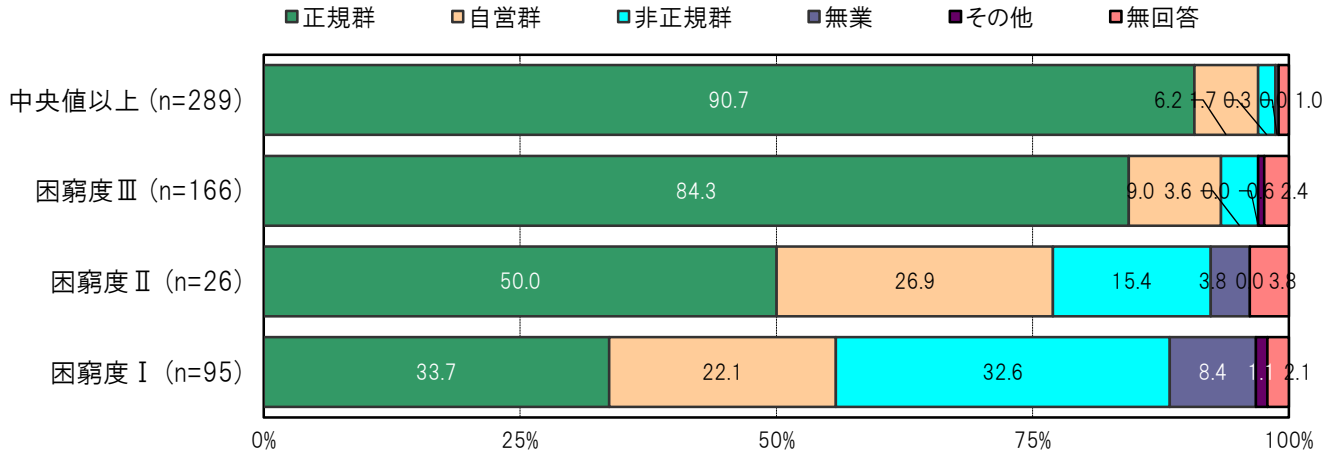
3-3.雇用

A-206.困窮度別にみた就労状況【保護者 就労状況】

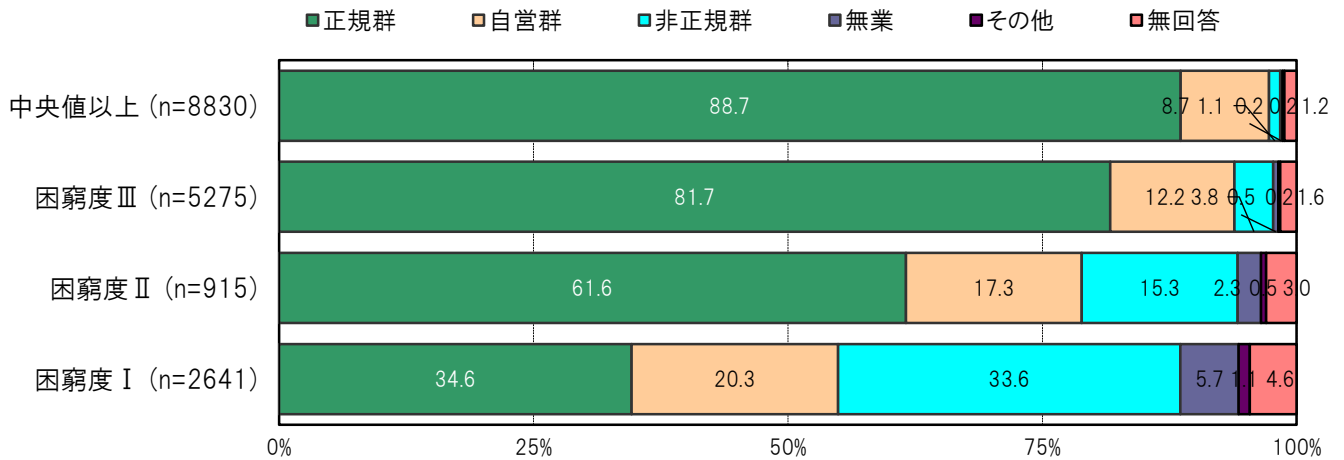
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「正規群」33.7%、「自営群」22.1%、「非正規群」32.6%、「無業」8.4%、「その他」1.1%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「正規群」90.7%、「自営群」6.2%、「非正規群」1.7%、「無業」0.3%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

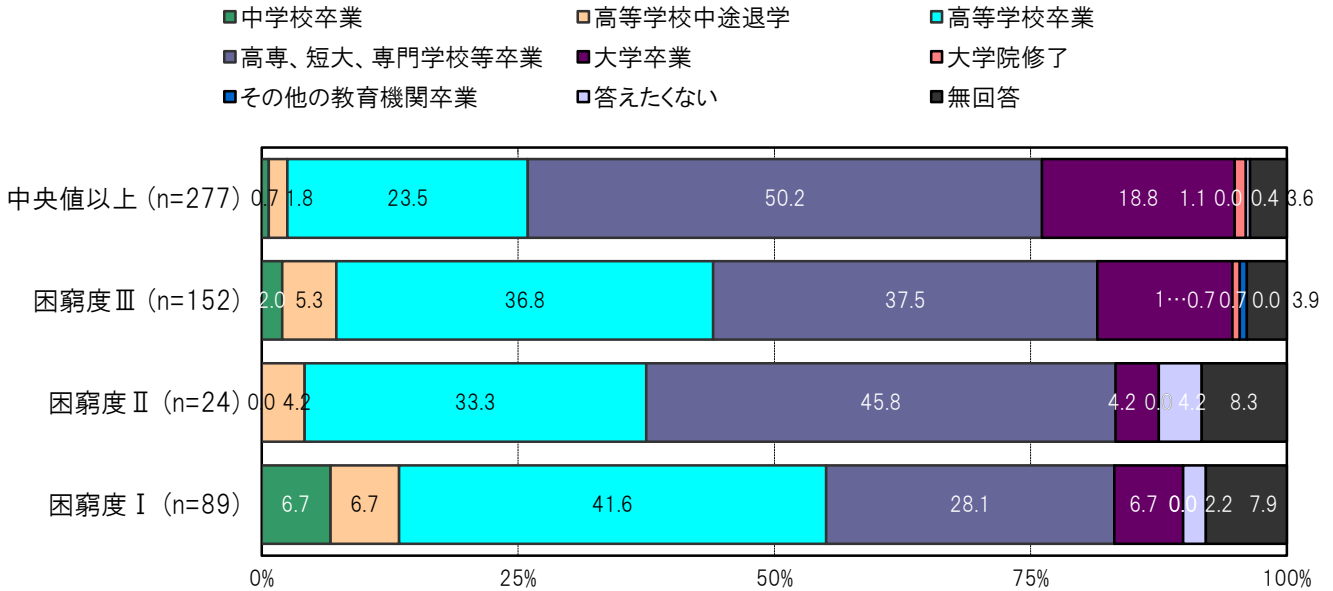


A-207. 困窮度別にみた母親の最終学歴【保護者 問9】

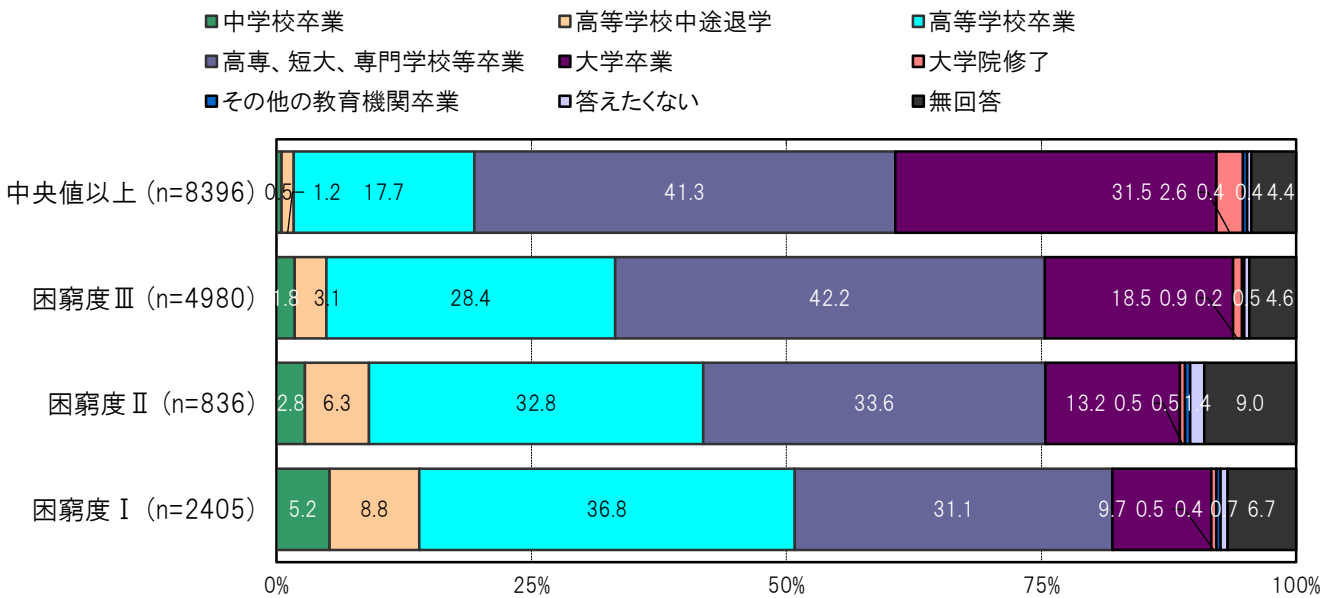
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」6.7%、「高等学校中途退学」6.7%、「高等学校卒業」41.6%、「高専、短大、専門学校等卒業」28.1%、「大学卒業」6.7%、「大学院修了」0.0%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」2.2%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「中学校卒業」0.7%、「高等学校中途退学」1.8%、「高等学校卒業」23.5%、「高専、短大、専門学校等卒業」50.2%、「大学卒業」18.8%、「大学院修了」1.1%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」0.4%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

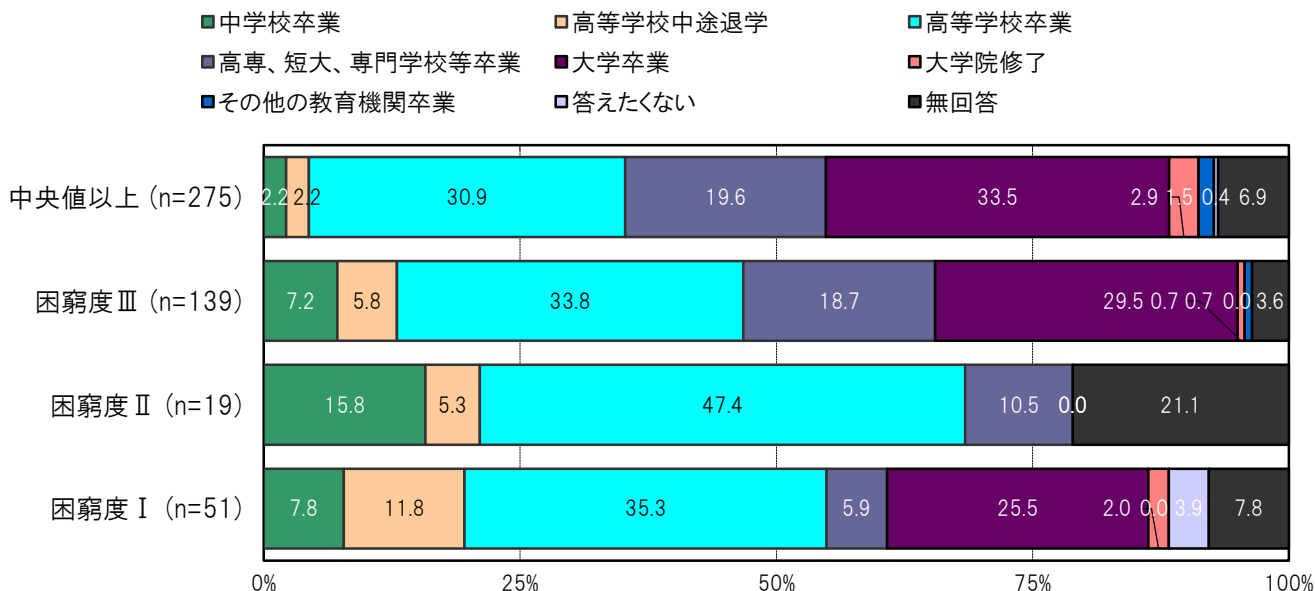


A-208. 困窮度別にみた父親の最終学歴【保護者 問9】

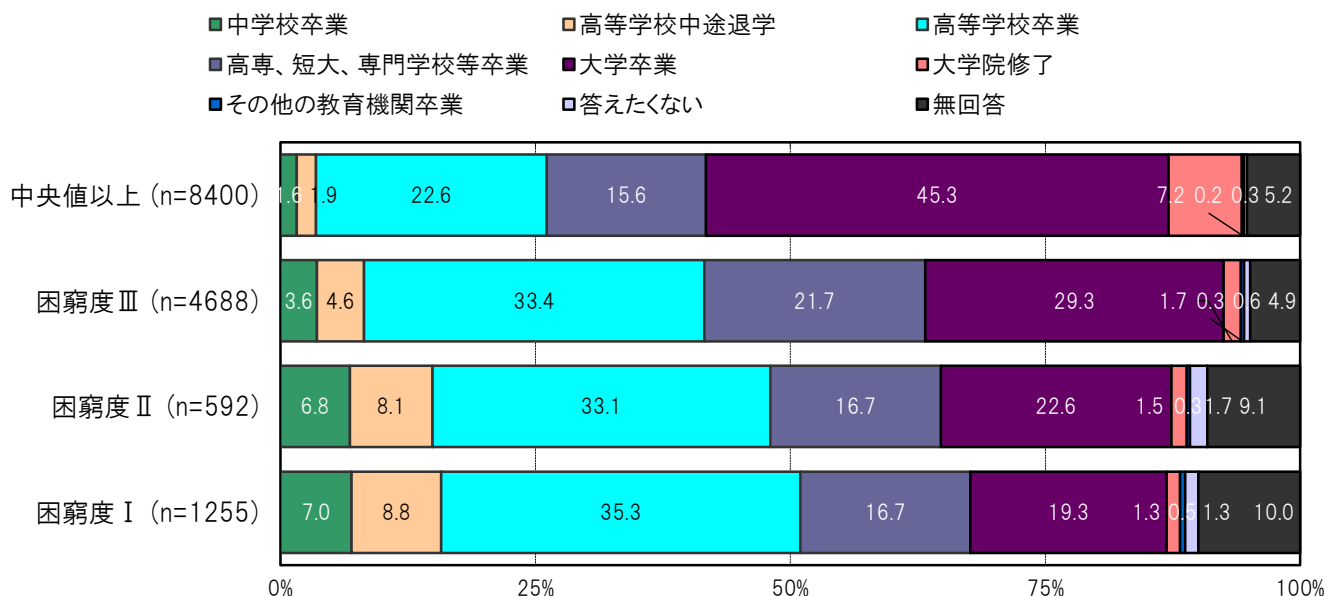
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「中学校卒業」7.8%、「高等学校中途退学」11.8%、「高等学校卒業」35.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」5.9%、「大学卒業」25.5%、「大学院修了」2.0%、「その他の教育機関卒業」0.0%、「答えたくない」3.9%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「中学校卒業」2.2%、「高等学校中途退学」2.2%、「高等学校卒業」30.9%、「高専、短大、専門学校等卒業」19.6%、「大学卒業」33.5%、「大学院修了」2.9%、「その他の教育機関卒業」0.4%、「答えたくない」0.4%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

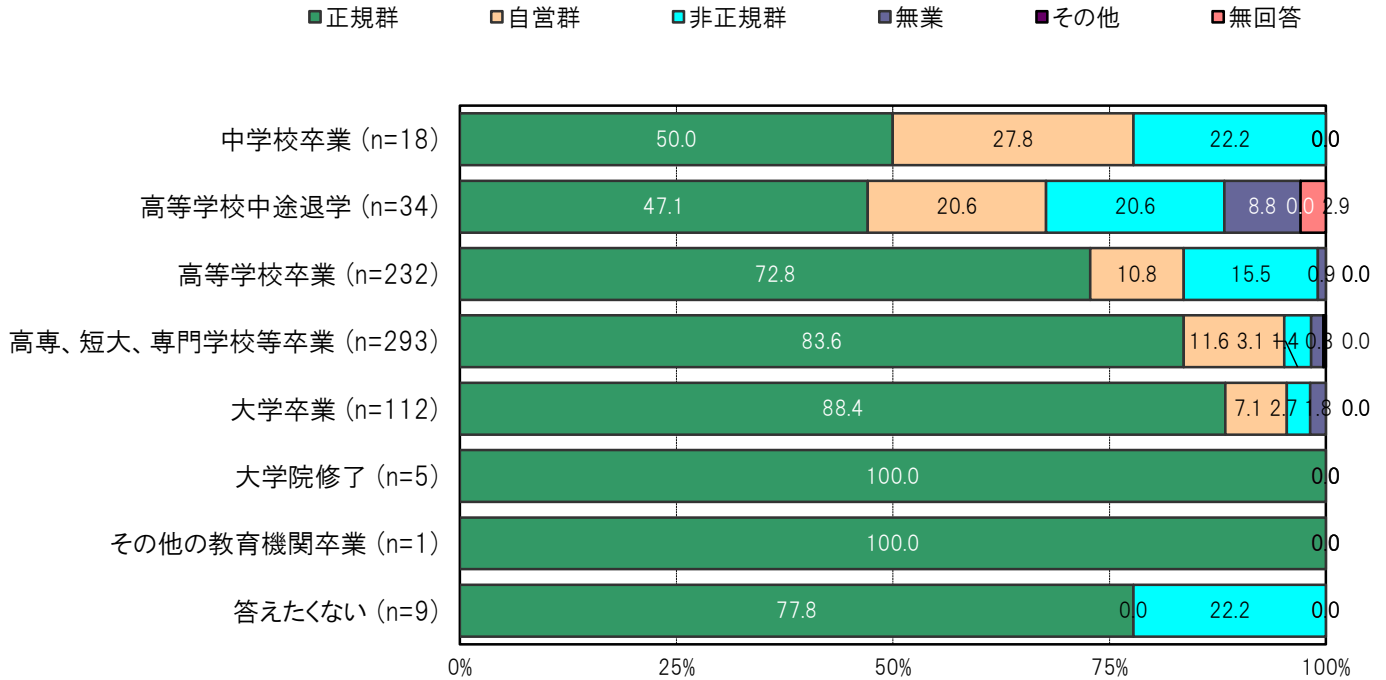


A-209.母親の最終学歴別にみた就労状況〔保護者 就労状況〕

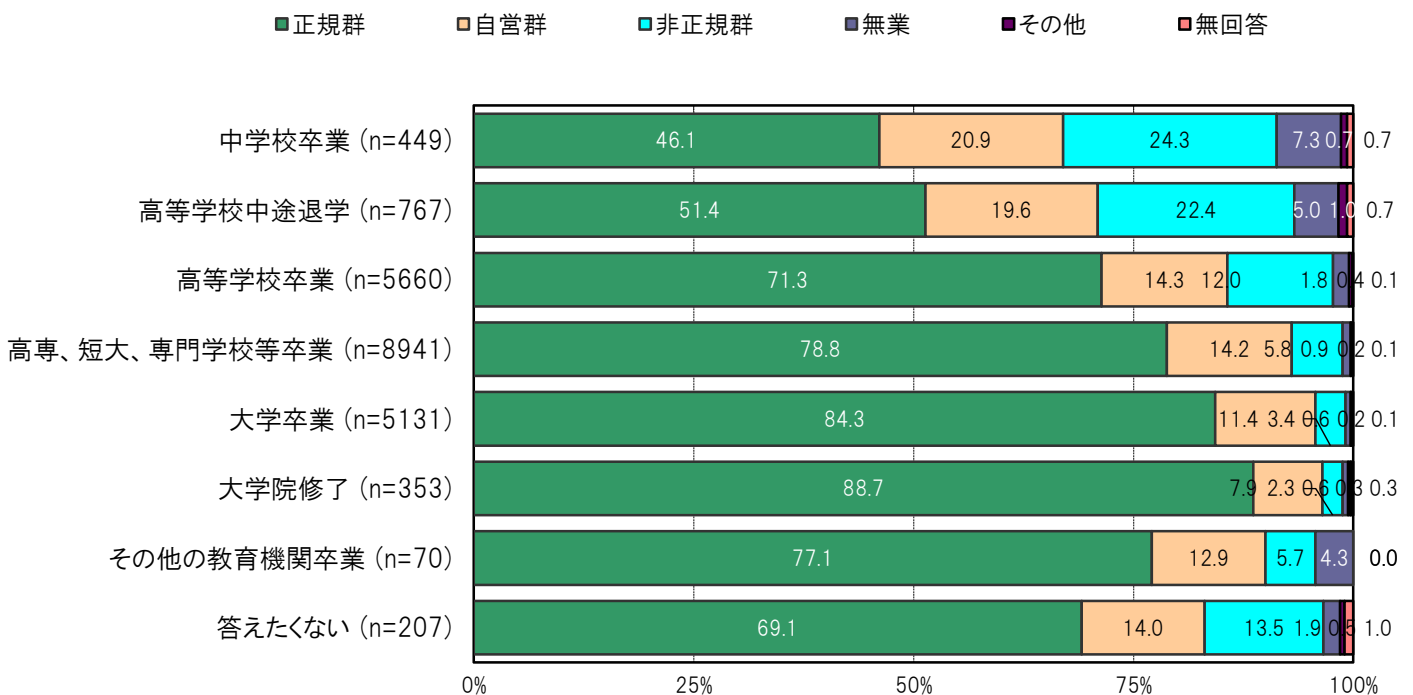
大阪市港区の母親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」83.6%、「自営群」11.6%、「非正規群」3.1%、「無業」1.4%、「その他」0.3%となっている。

大阪市港区の母親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」88.4%、「自営群」7.1%、「非正規群」2.7%、「無業」1.8%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市港区／母親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／母親の最終学歴別〕

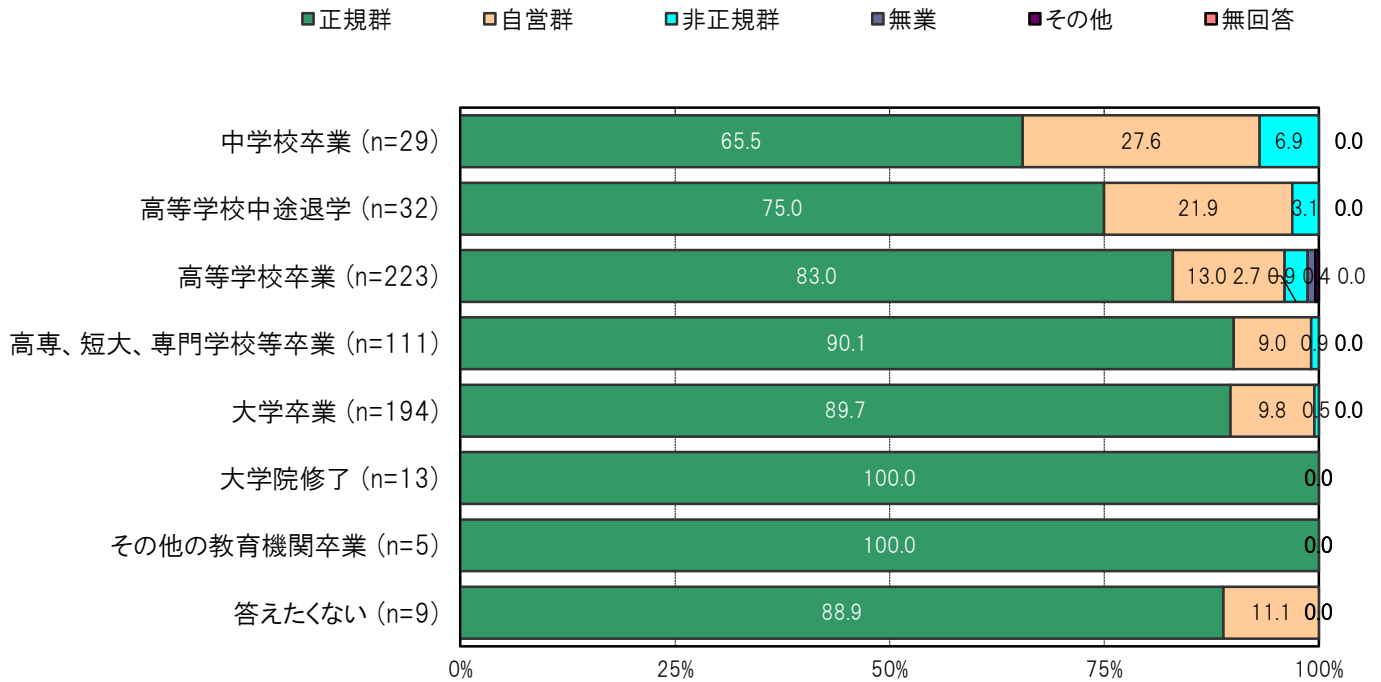


A-210.父親の最終学歴別に見た就労状況〔保護者 就労状況〕

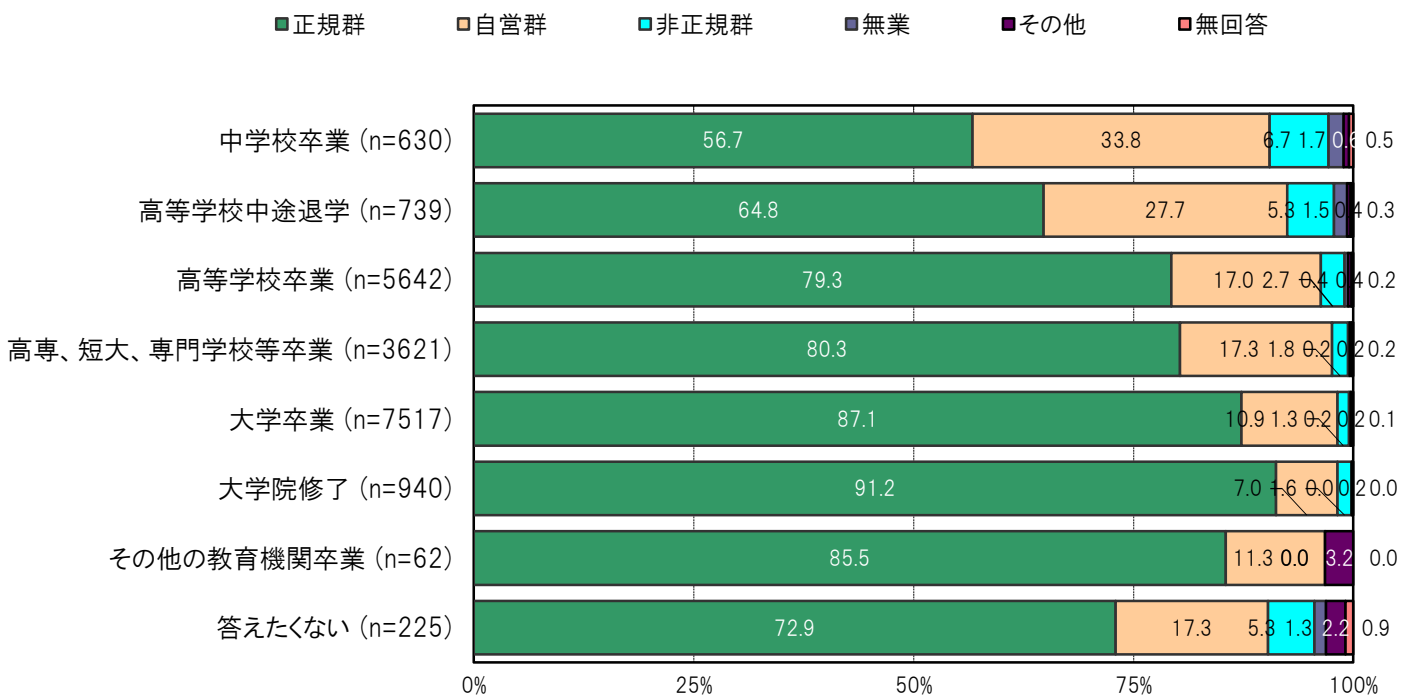
大阪市港区の父親の最終学歴／高専、短大、専門学校等卒業群においては、「正規群」90.1%、「自営群」9.0%、「非正規群」0.9%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

大阪市港区の父親の最終学歴／大学卒業群においては、「正規群」89.7%、「自営群」9.8%、「非正規群」0.5%、「無業」0.0%、「その他」0.0%となっている。

〔大阪市港区／父親の最終学歴別〕



〔大阪市24区／父親の最終学歴別〕

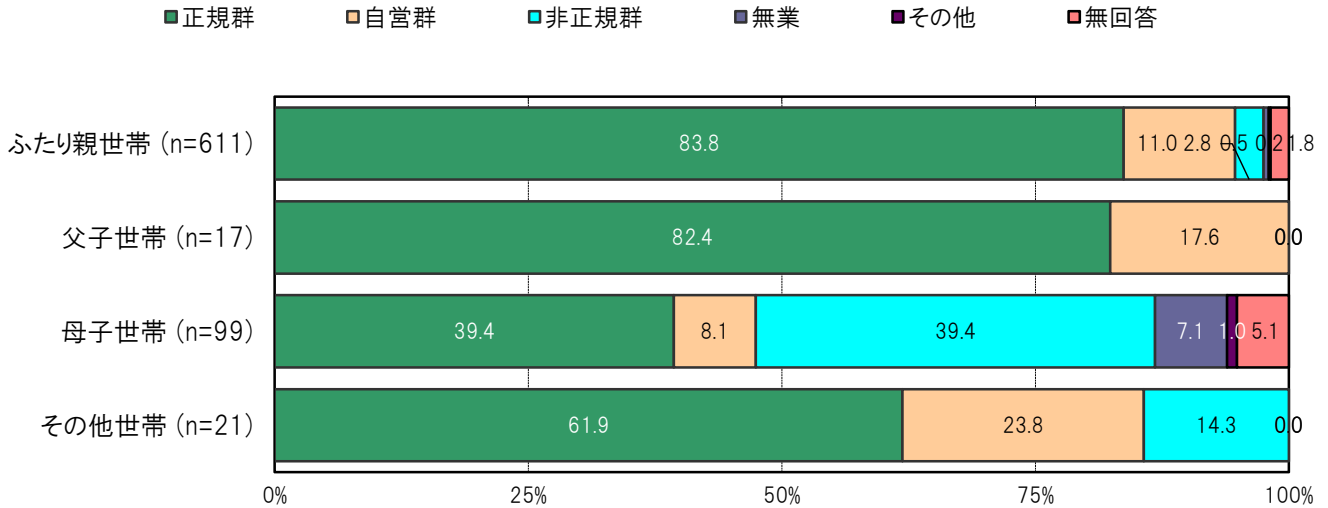


A-211.世帯構成別に見た就労状況【保護者 就労状況】

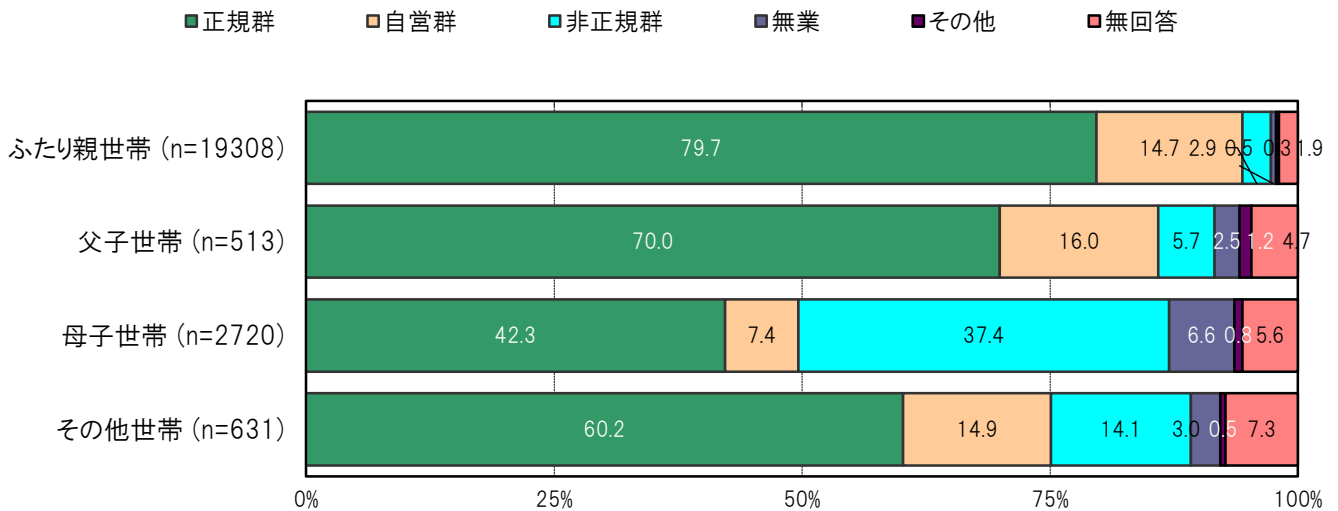
大阪市港区の世帯状況／ふたり親世帯群においては、「正規群」83.8%、「自営群」11.0%、「非正規群」2.8%、「無業」0.5%、「その他」0.2%となっている。

大阪市港区の世帯状況／母子世帯群においては、「正規群」39.4%、「自営群」8.1%、「非正規群」39.4%、「無業」7.1%、「その他」1.0%となっている。

〔大阪市港区／世帯構成別〕



〔大阪市24区／世帯構成別〕

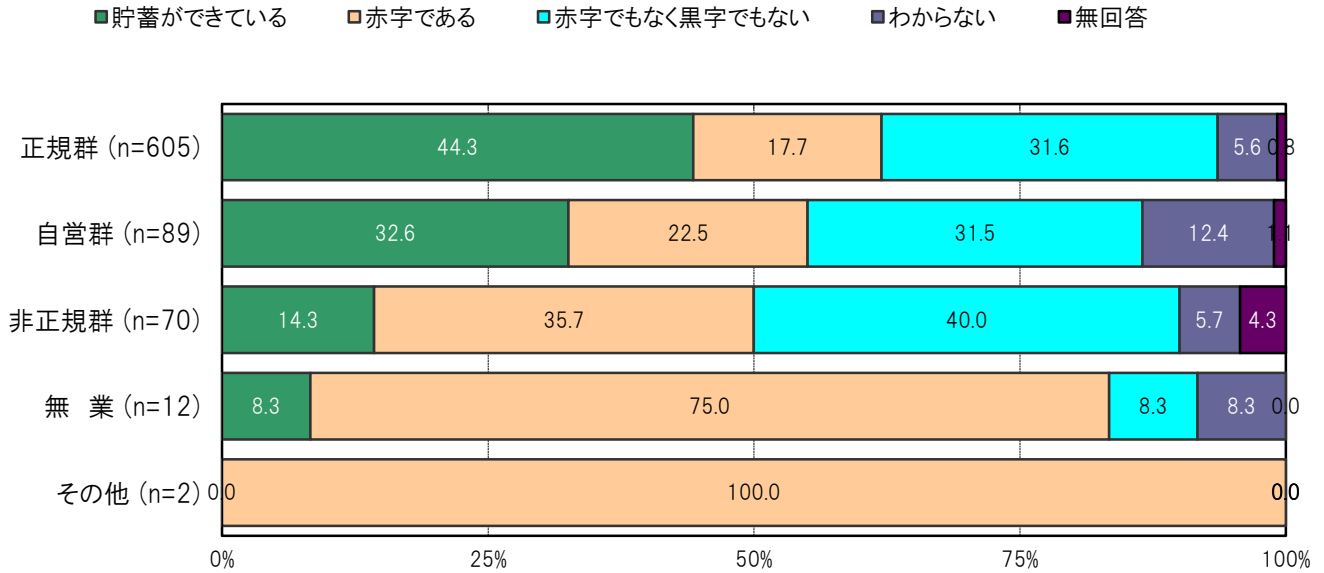


A-212.就労状況別にみた2022年の家計状況〔保護者 問7(1)〕

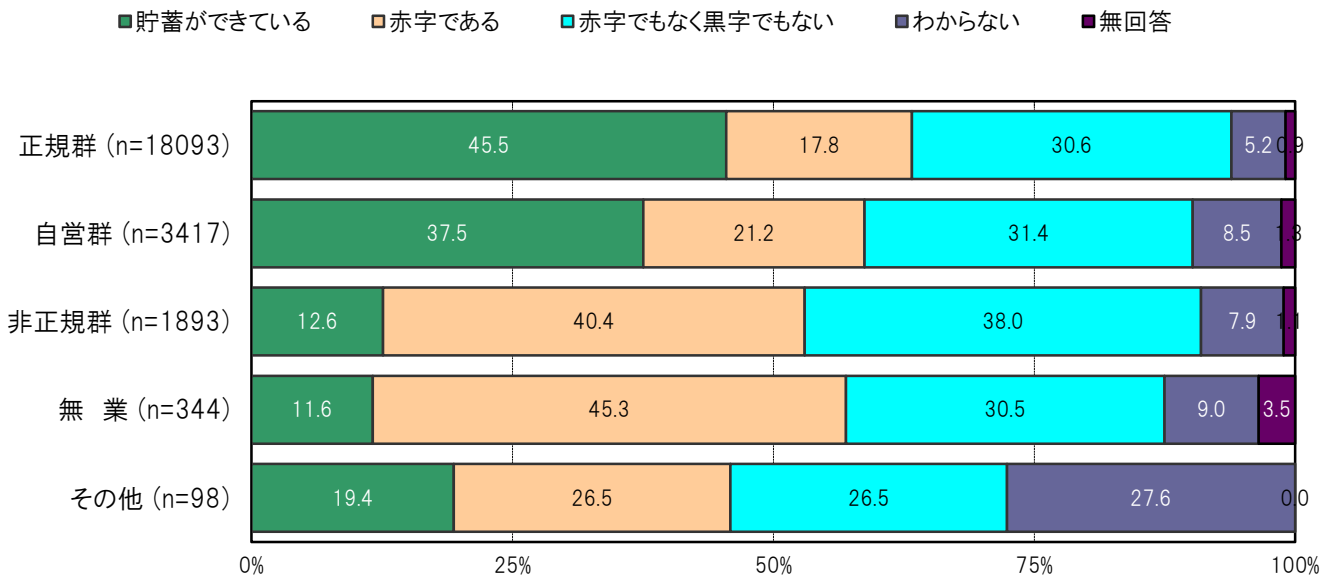
大阪市港区の就労状況／正規群においては、「貯蓄ができている」44.3%、「赤字である」17.7%、「赤字でもなく黒字でもない」31.6%、「わからない」5.6%となっている。

大阪市港区の就労状況／自営群においては、「貯蓄ができている」32.6%、「赤字である」22.5%、「赤字でもなく黒字でもない」31.5%、「わからない」12.4%となっている。

〔大阪市港区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



〔雇用に関する考察〕

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。保護者の就労状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（90.7%対33.7%）が55ポイント以上高くなっている。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（32.6%対1.7%）が30ポイント高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（41.6%対23.5%）は15ポイント以上高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（18.8%対6.7%）は約3倍となっている。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「中学校卒業」群（7.8%対2.2%）は5ポイント以上、「高等学校中途退学」群（11.8%対2.2%）は約10ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（33.5%対25.5%）は5ポイント以上となっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学卒業」群は「中学校卒業」群と比べ、「正規」群（88.4%対50.0%）は35ポイント以上高くなっている。母親の就労状況において、「中学校卒業」群は「大学卒業」群と比べ、「非正規」群（22.2%対2.7%）は約20ポイント高く、大きな開きがある。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（44.3%対14.3%）は30ポイント高くなっている。また、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（35.7%対17.7%）は2倍以上である。この結果から、保護者の就労状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

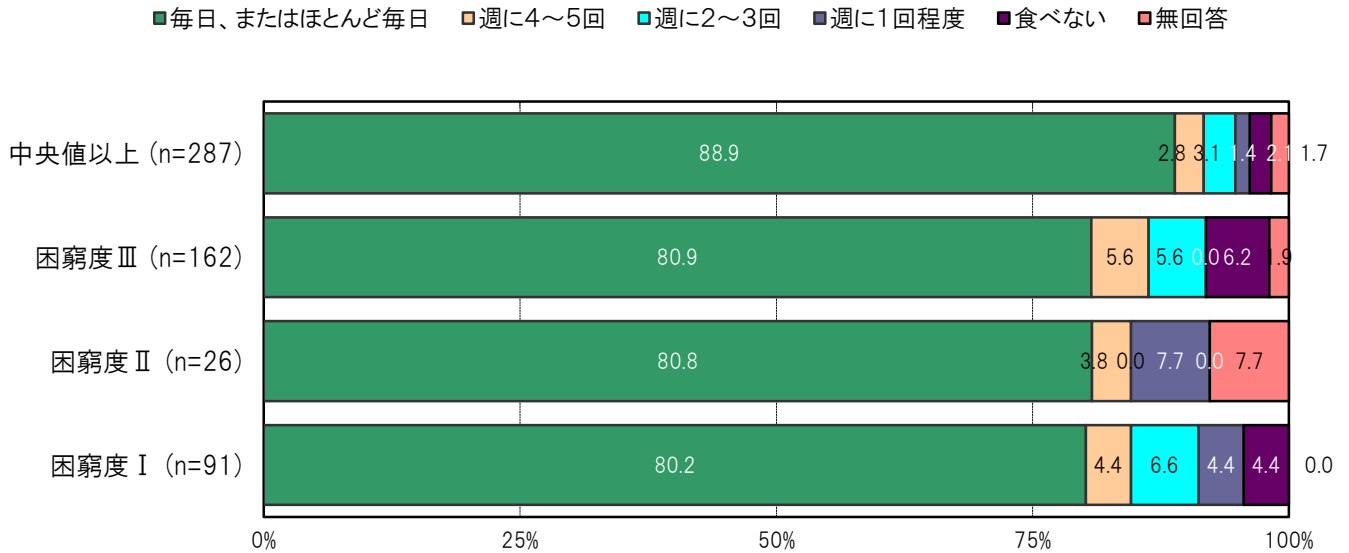
3-4.健康

A-213.困窮度別にみた朝食を食べる頻度〔子ども 問4(1)〕

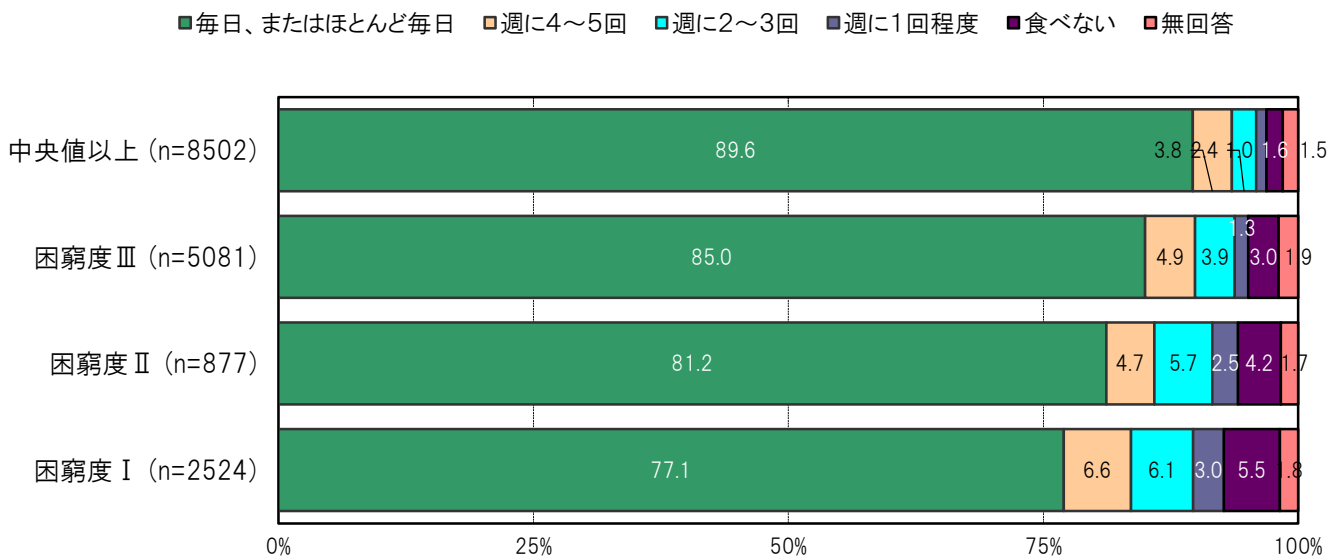
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「毎日、またはほとんど毎日」80.2%、「週に4～5回」4.4%、「週に2～3回」6.6%、「週に1回程度」4.4%、「食べない」4.4%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「毎日、またはほとんど毎日」88.9%、「週に4～5回」2.8%、「週に2～3回」3.1%、「週に1回程度」1.4%、「食べない」2.1%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

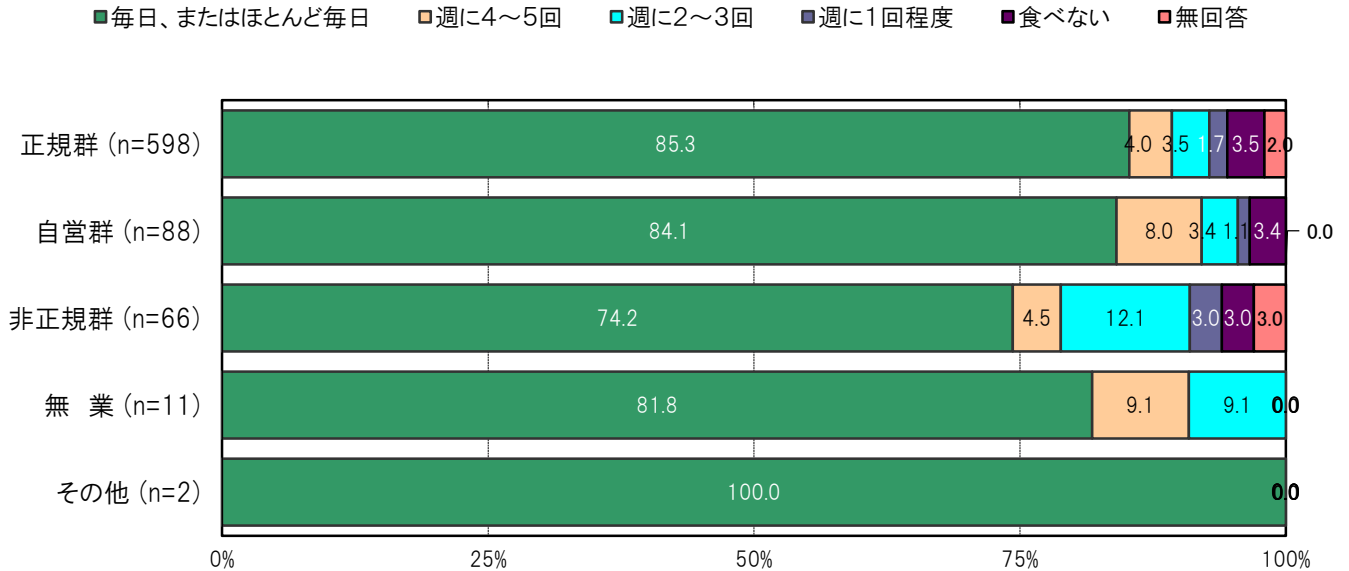


A-214.就労状況別にみた朝食を食べる頻度【子ども 問4(1)】

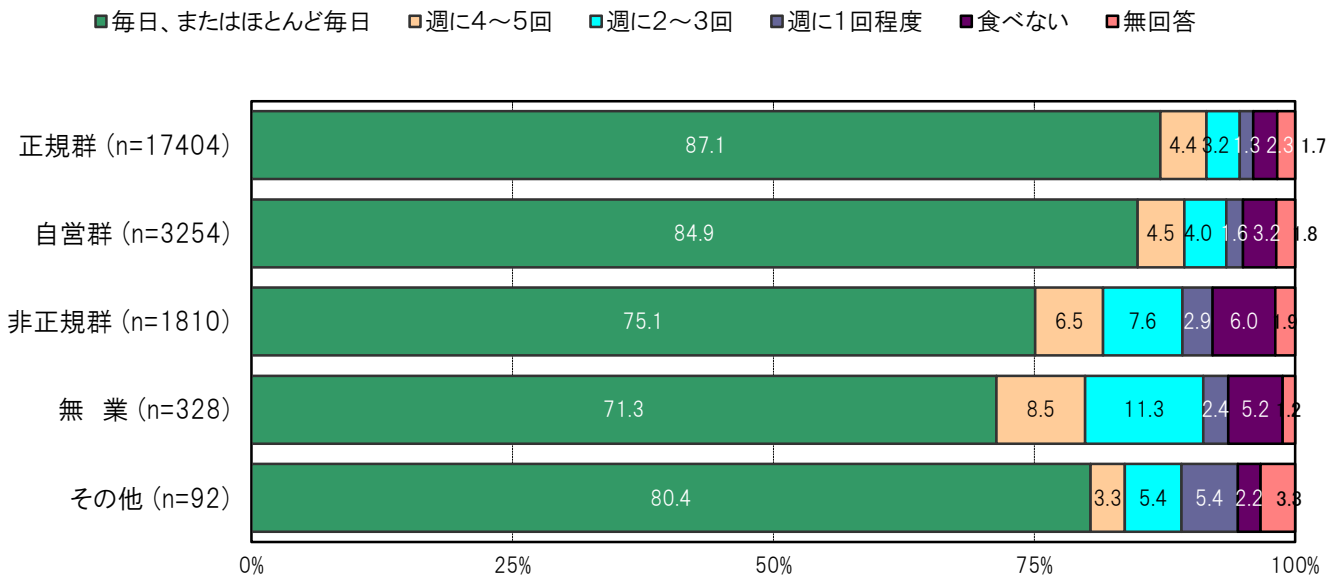
大阪市港区の就労状況／正規群においては、「毎日、またはほとんど毎日」85.3%、「週に4～5回」4.0%、「週に2～3回」3.5%、「週に1回程度」1.7%、「食べない」3.5%となっている。

大阪市港区の就労状況／自営群においては、「毎日、またはほとんど毎日」84.1%、「週に4～5回」8.0%、「週に2～3回」3.4%、「週に1回程度」1.1%、「食べない」3.4%となっている。

〔大阪市港区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

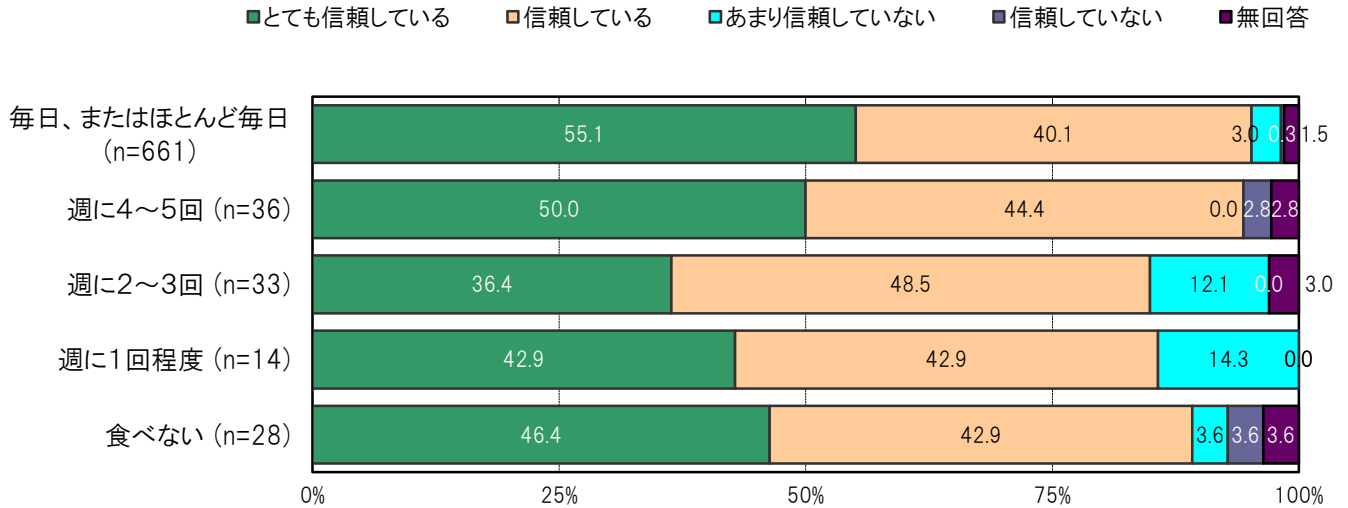


A-215.朝食を食べる頻度別 子どもを信頼しているか【保護者 問14(1)】

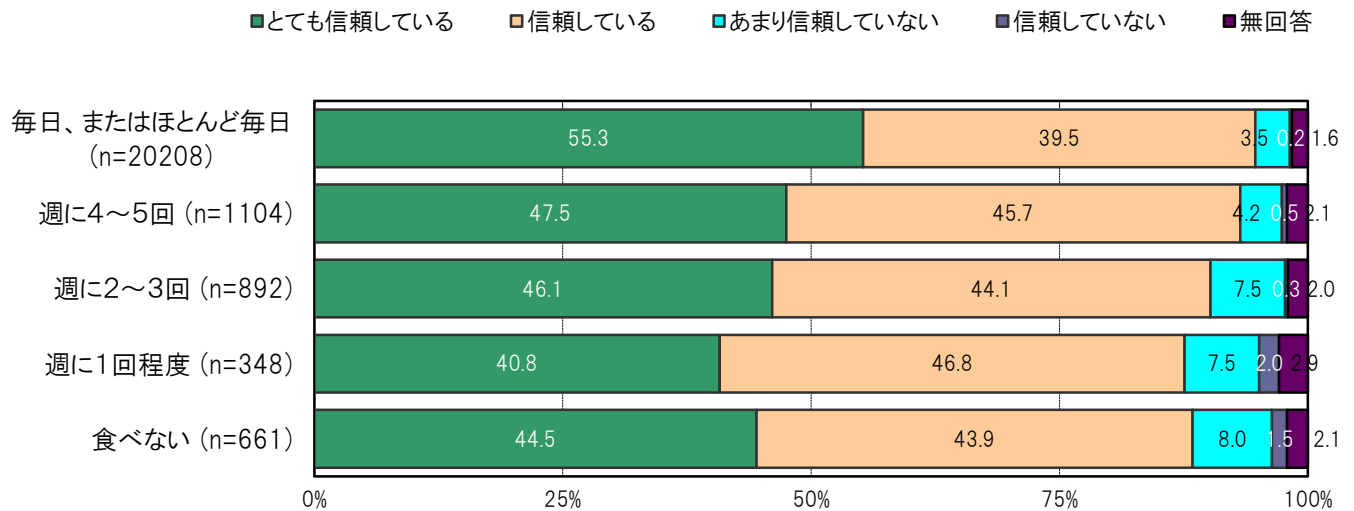
大阪市港区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても信頼している」55.1%、「信頼している」40.1%、「あまり信頼していない」3.0%、「信頼していない」0.3%となっている。

大阪市港区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても信頼している」50.0%、「信頼している」44.4%、「あまり信頼していない」0.0%、「信頼していない」2.8%となっている。

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

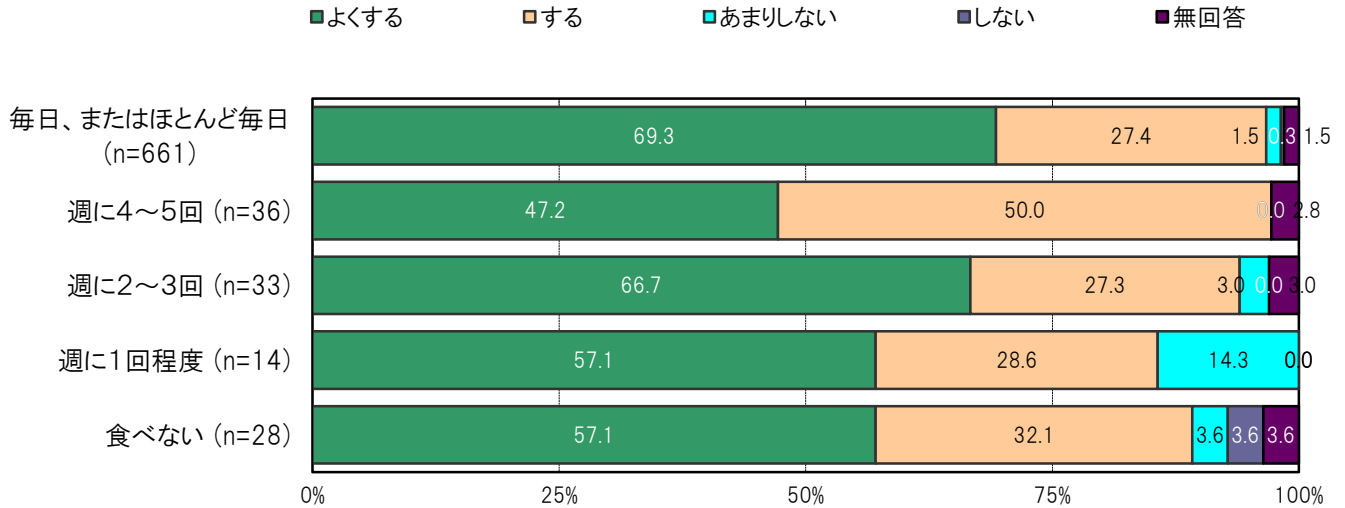


A-216.朝食を食べる頻度別 子どもとよく会話をするか【保護者 問14(2)】

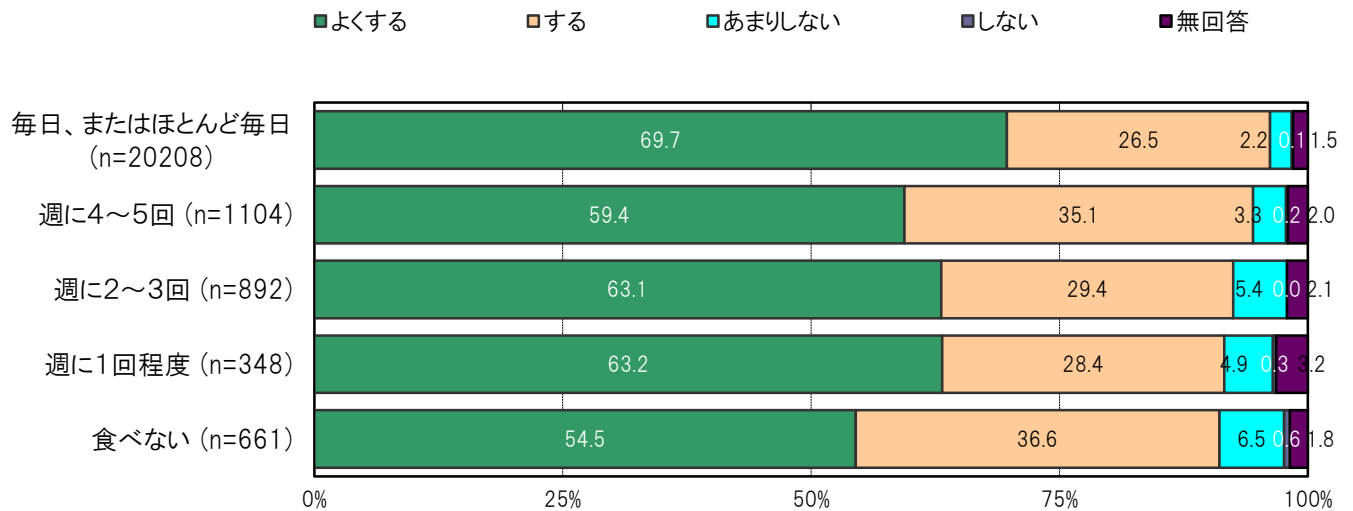
大阪市港区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「よくする」69.3%、「する」27.4%、「あまりしない」1.5%、「しない」0.3%となっている。

大阪市港区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「よくする」47.2%、「する」50.0%、「あまりしない」0.0%、「しない」0.0%となっている。

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

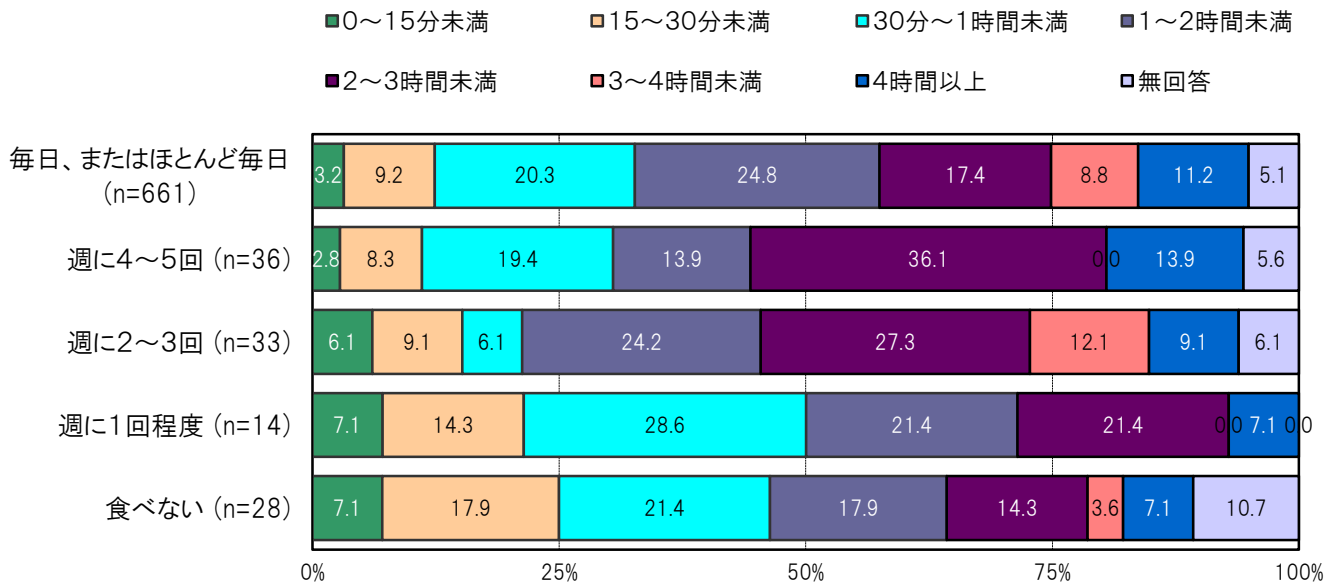


A-217.朝食を食べる頻度別 平日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

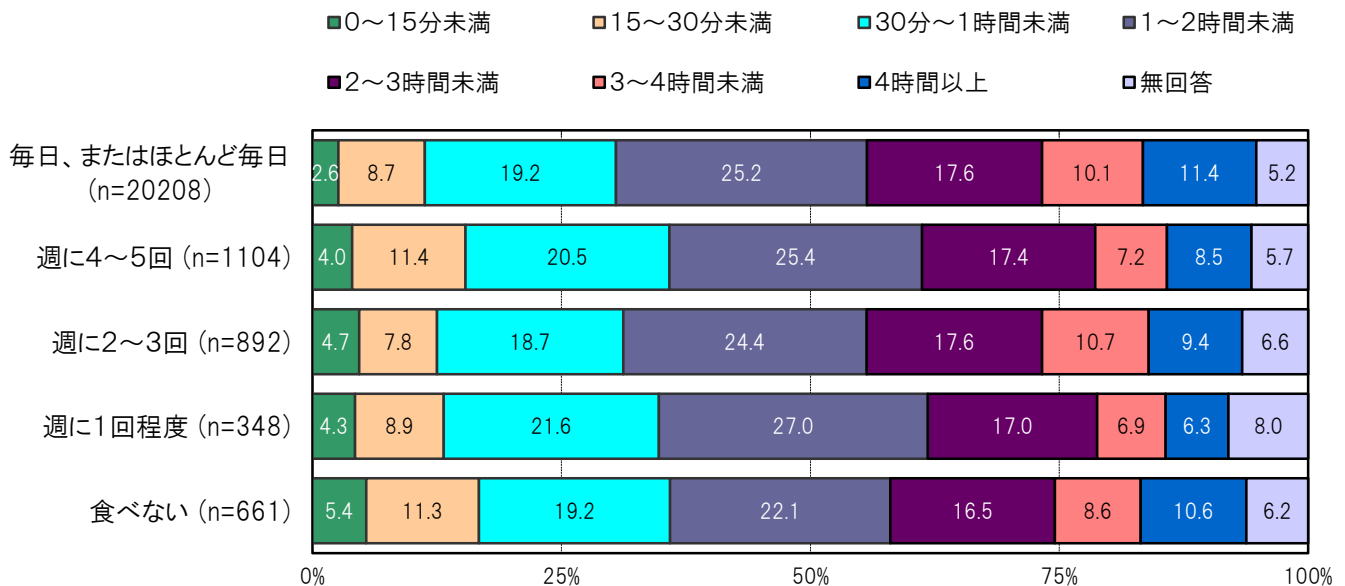
大阪市港区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「0～15分未満」3.2%、「15～30分未満」9.2%、「30分～1時間未満」20.3%、「1～2時間未満」24.8%、「2～3時間未満」17.4%、「3～4時間未満」8.8%、「4時間以上」11.2%となっている。

大阪市港区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「0～15分未満」2.8%、「15～30分未満」8.3%、「30分～1時間未満」19.4%、「1～2時間未満」13.9%、「2～3時間未満」36.1%、「3～4時間未満」0.0%、「4時間以上」13.9%となっている。

【大阪市港区／朝食を食べる頻度別】



【大阪市24区／朝食を食べる頻度別】

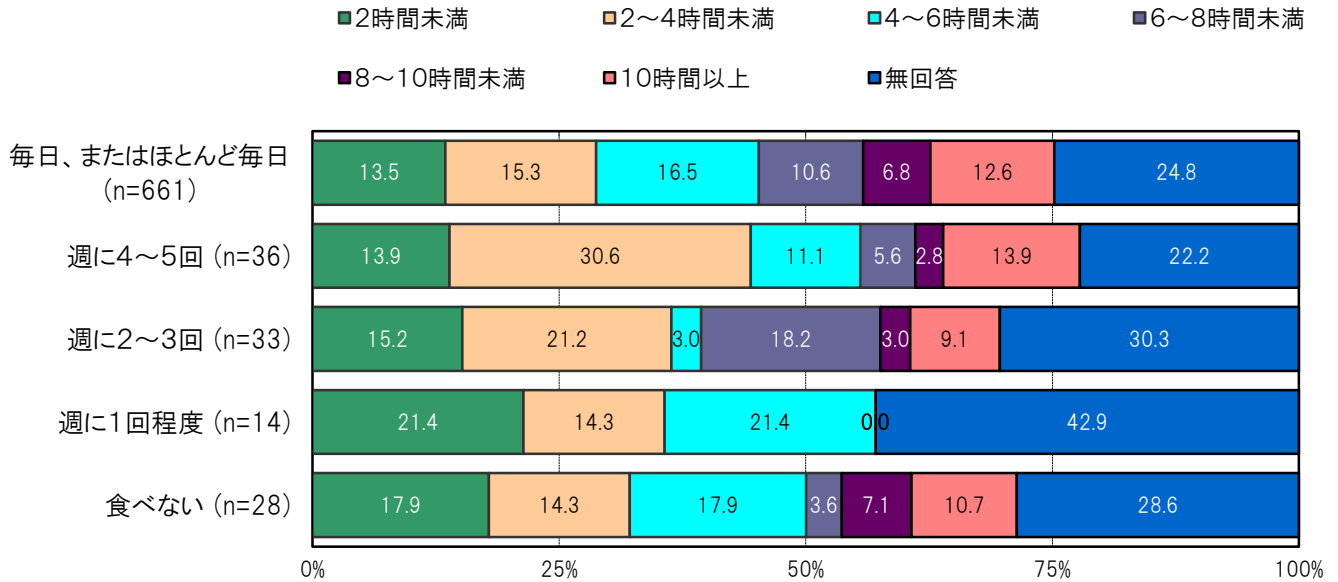


A-218.朝食を食べる頻度別 休日に子どもと過ごす時間【保護者 問14(3)】

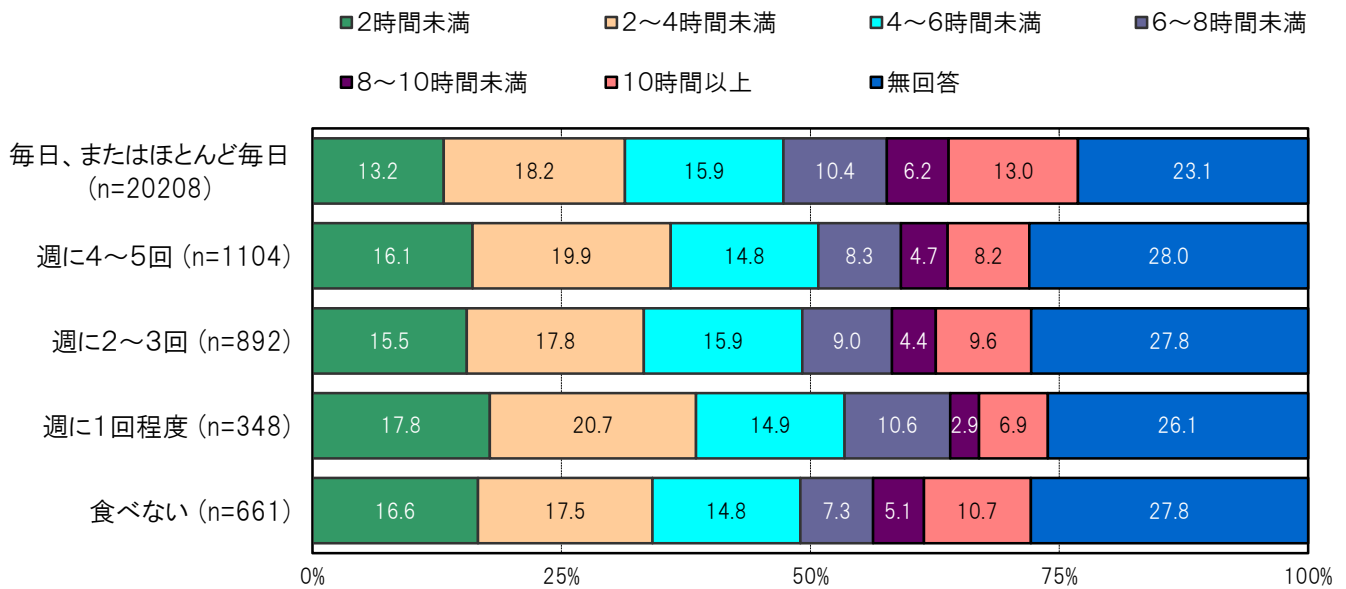
大阪市港区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「2時間未満」13.5%、「2～4時間未満」15.3%、「4～6時間未満」16.5%、「6～8時間未満」10.6%、「8～10時間未満」6.8%、「10時間以上」12.6%となっている。

大阪市港区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「2時間未満」13.9%、「2～4時間未満」30.6%、「4～6時間未満」11.1%、「6～8時間未満」5.6%、「8～10時間未満」2.8%、「10時間以上」13.9%となっている。

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

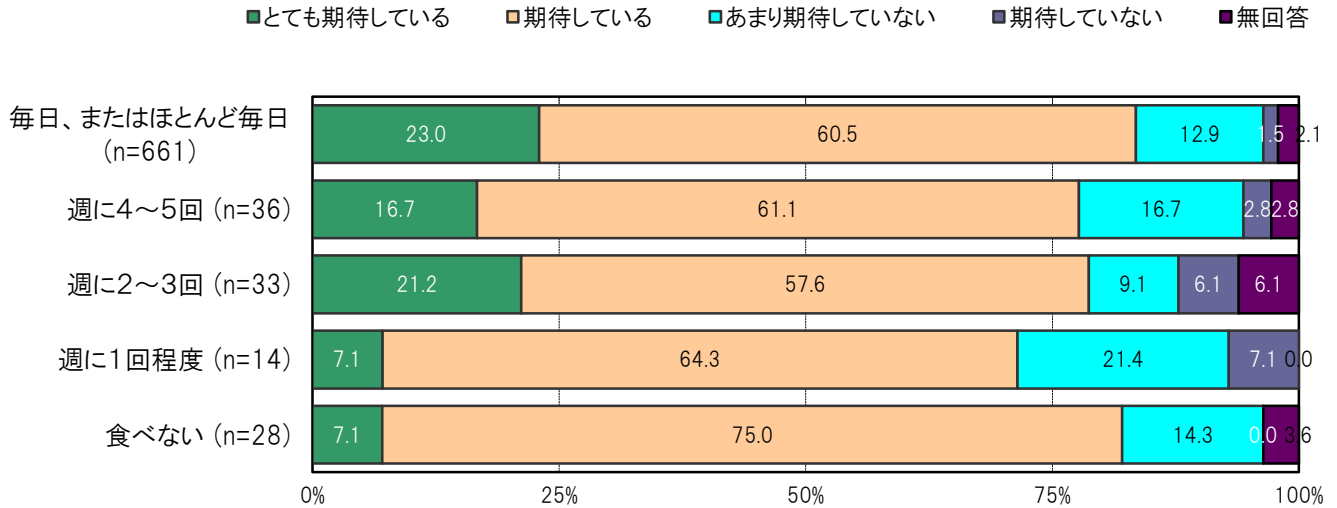


A-219.朝食を食べる頻度別 子どもの将来に期待しているか【保護者 問14(4)】

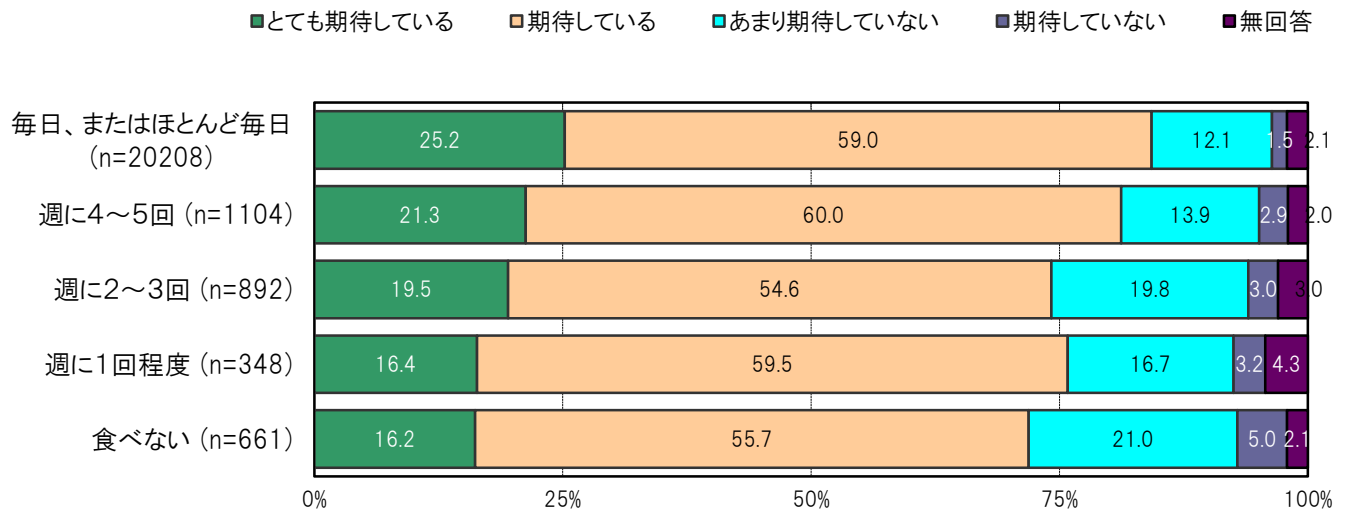
大阪市港区の朝食を食べる頻度／毎日、またはほとんど毎日群においては、「とても期待している」23.0%、「期待している」60.5%、「あまり期待していない」12.9%、「期待していない」1.5%となっている。

大阪市港区の朝食を食べる頻度／週に4～5回群においては、「とても期待している」16.7%、「期待している」61.1%、「あまり期待していない」16.7%、「期待していない」2.8%となっている。

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

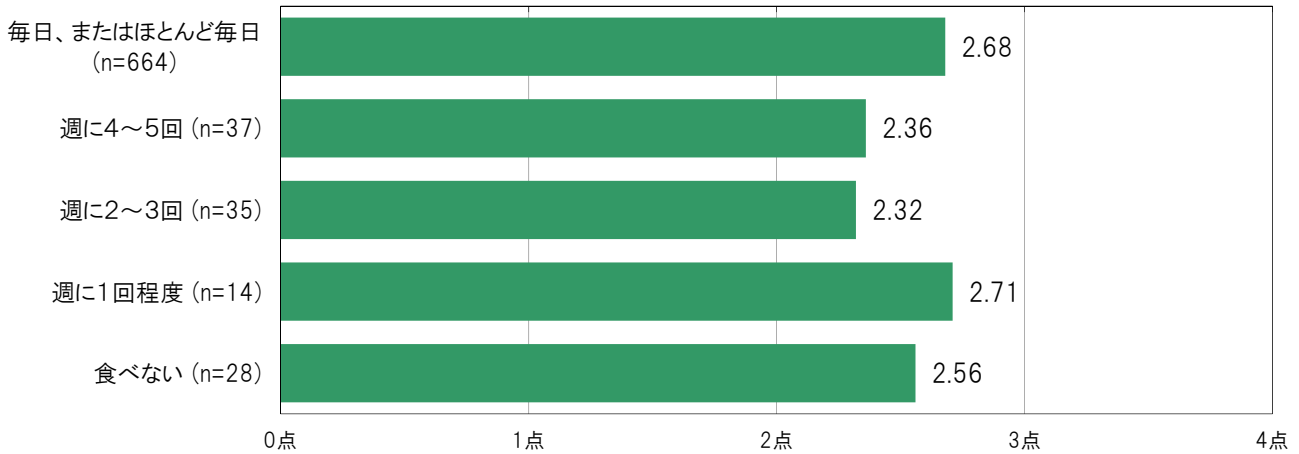


A-220.朝食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

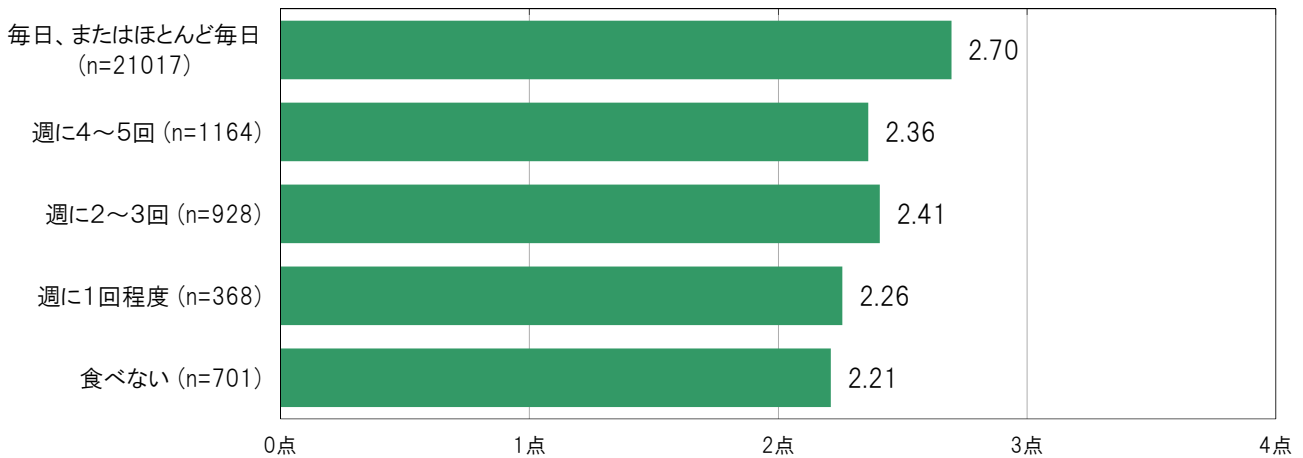
大阪市港区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.68点、「週に4～5回」2.36点、「週に2～3回」2.32点、「週に1回程度」2.71点、「食べない」2.56点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

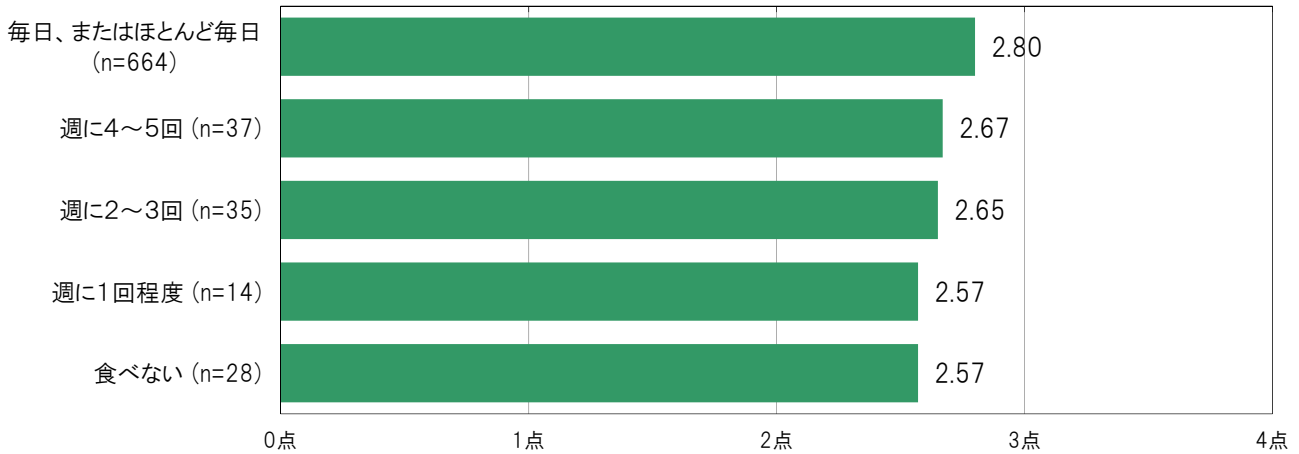


A-221.朝食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

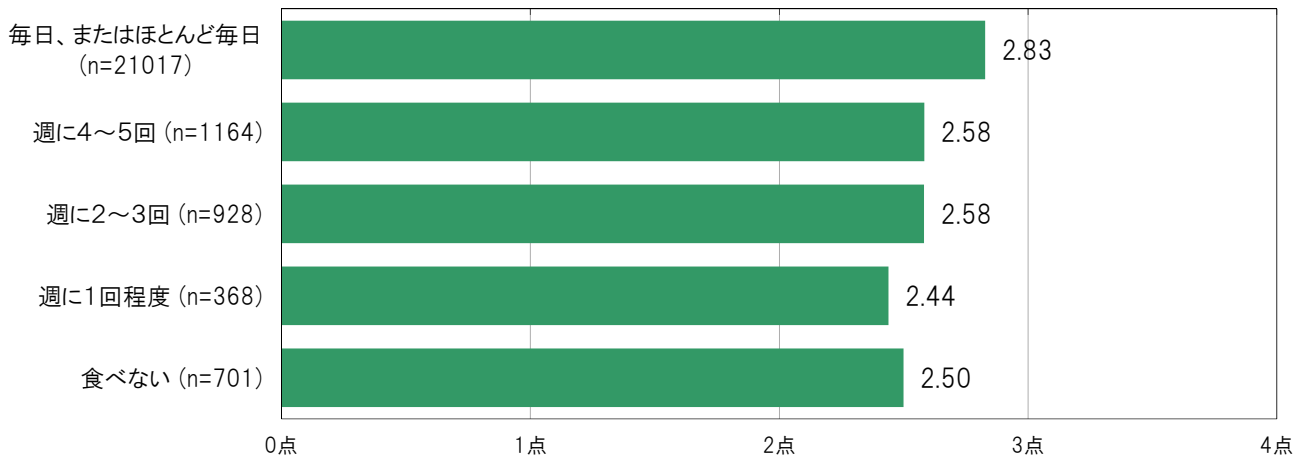
大阪市港区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.80点、「週に4～5回」2.67点、「週に2～3回」2.65点、「週に1回程度」2.57点、「食べない」2.57点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

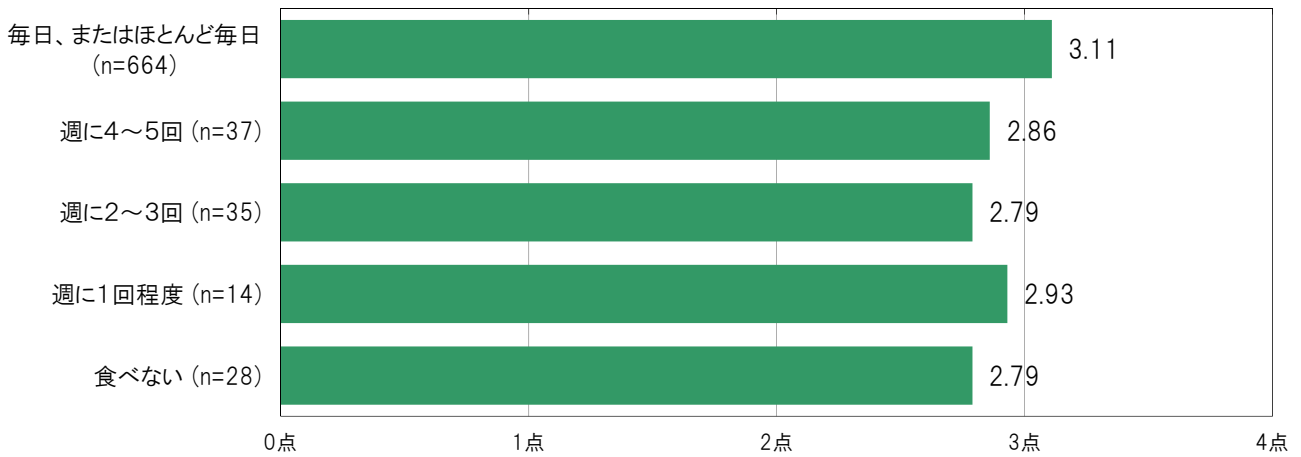


A-222.朝食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

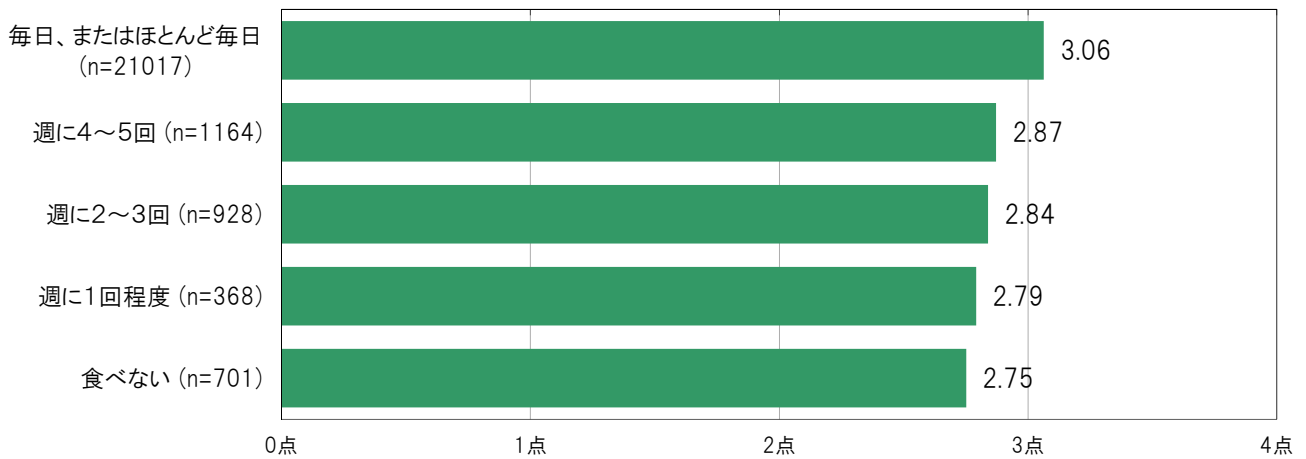
大阪市港区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.11点、「週に4～5回」2.86点、「週に2～3回」2.79点、「週に1回程度」2.93点、「食べない」2.79点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかというを持っていない」= 2点、「持ってない」= 1点

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

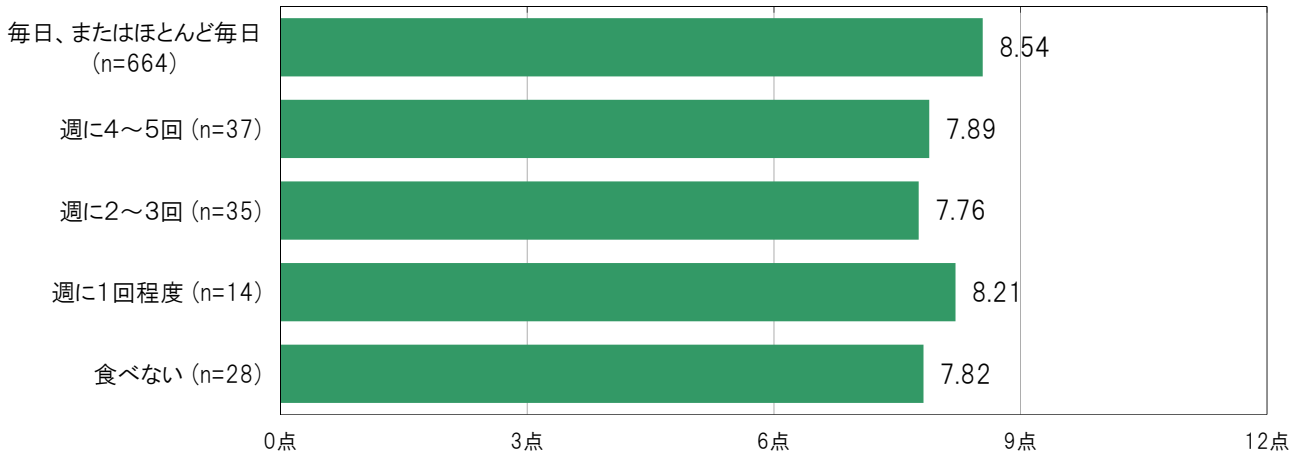


A-223.朝食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)〔子ども 問26(1)~(3)〕

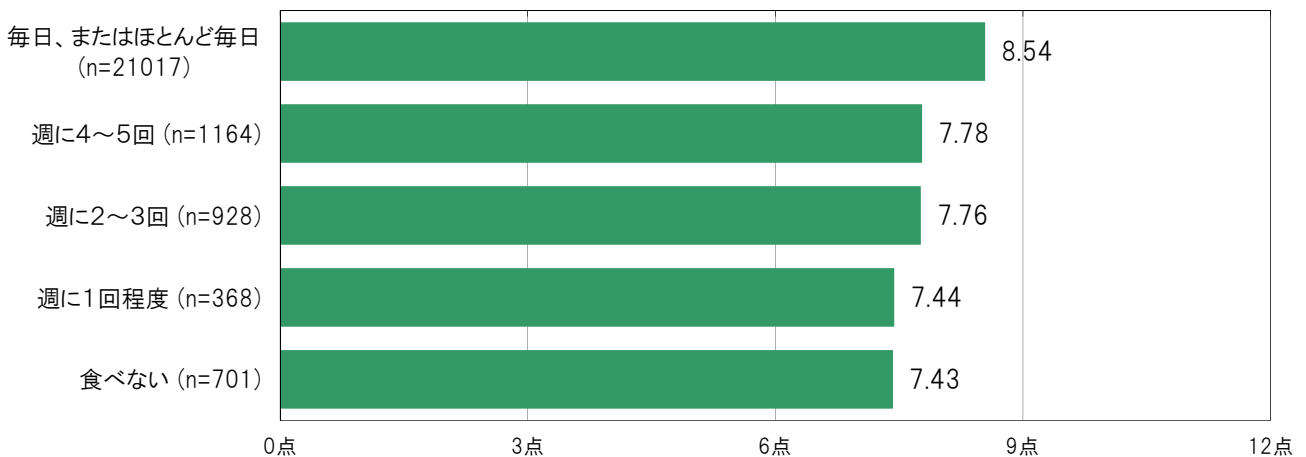
大阪市港区の朝食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.54点、「週に4~5回」7.89点、「週に2~3回」7.76点、「週に1回程度」8.21点、「食べない」7.82点となっている。

「自分に自信がある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「大人は信用できる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」の3項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高いことを表す。

〔大阪市港区／朝食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／朝食を食べる頻度別〕

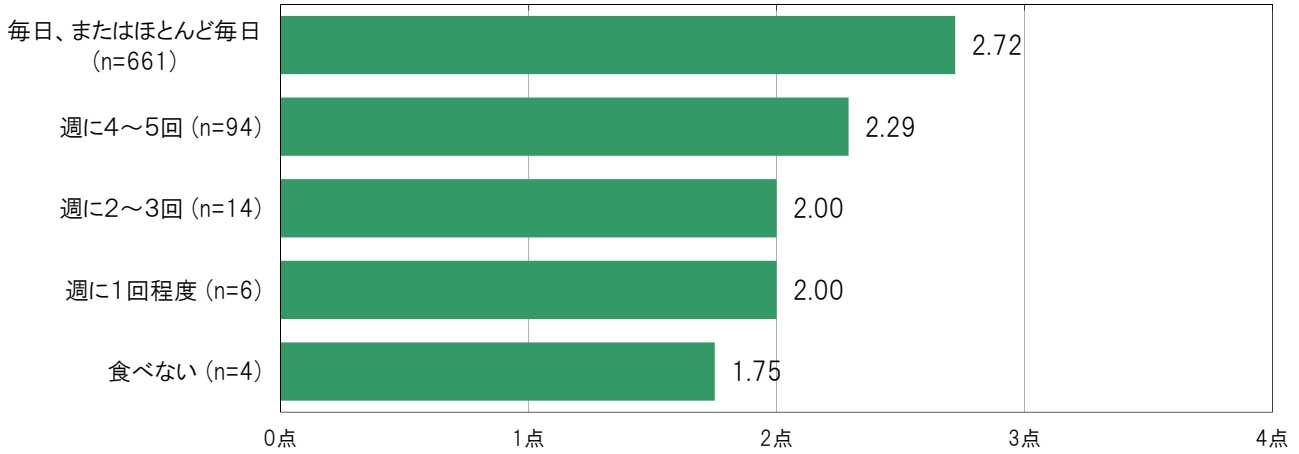


A-224.休日に昼食を食べる頻度別 自分に自信がある【子ども 問26(1)】

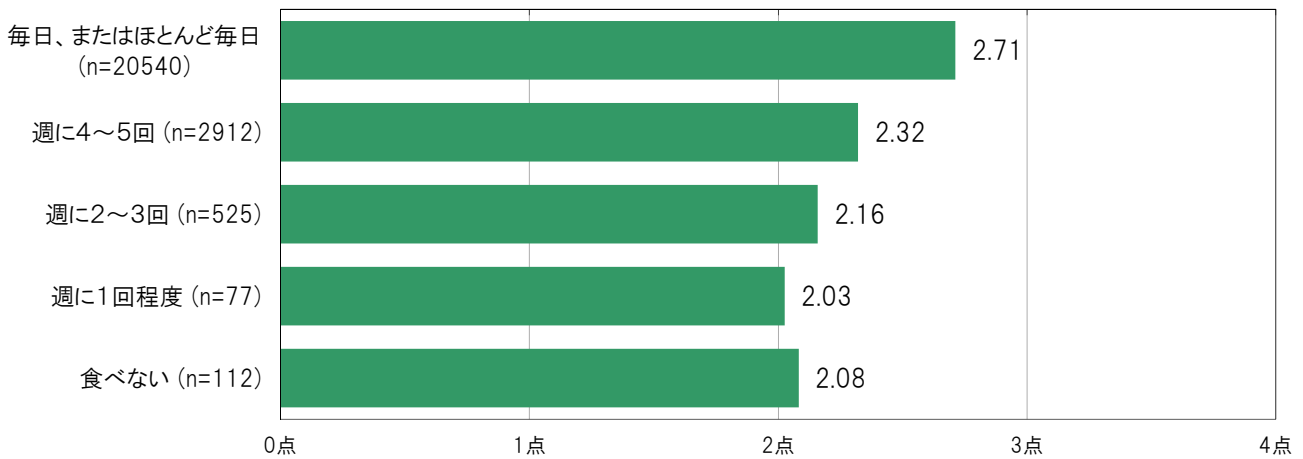
大阪市港区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.72点、「週に4～5回」2.29点、「週に2～3回」2.00点、「週に1回程度」2.00点、「食べない」1.75点となっている。

※加重得点「ある」= 4点、「どちらかというところ」= 3点、「どちらかというところない」= 2点、「ない」= 1点

〔大阪市港区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

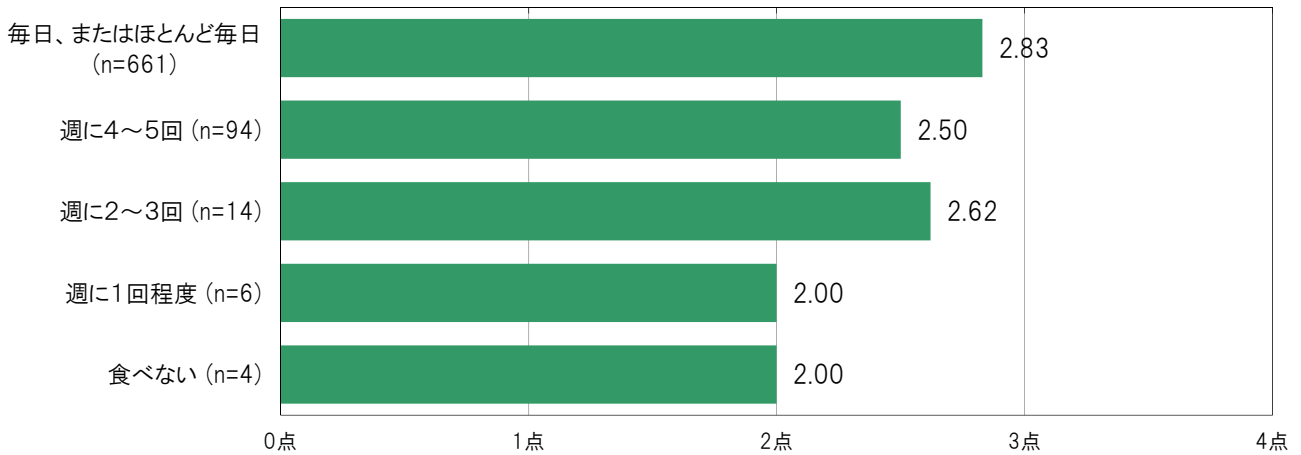


A-225.休日に昼食を食べる頻度別 自分の考えをはっきり相手に伝えられる【子ども 問26(2)】

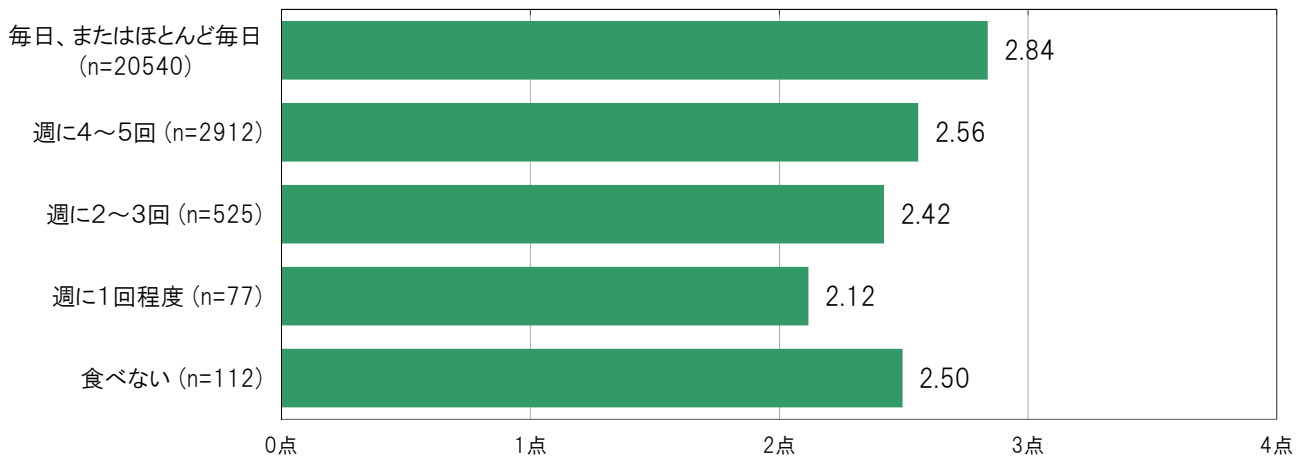
大阪市港区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」2.83点、「週に4～5回」2.50点、「週に2～3回」2.62点、「週に1回程度」2.00点、「食べない」2.00点となっている。

※加重得点「できる」= 4点、「どちらかというところできる」= 3点、「どちらかというところできない」= 2点、「できない」= 1点

〔大阪市港区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

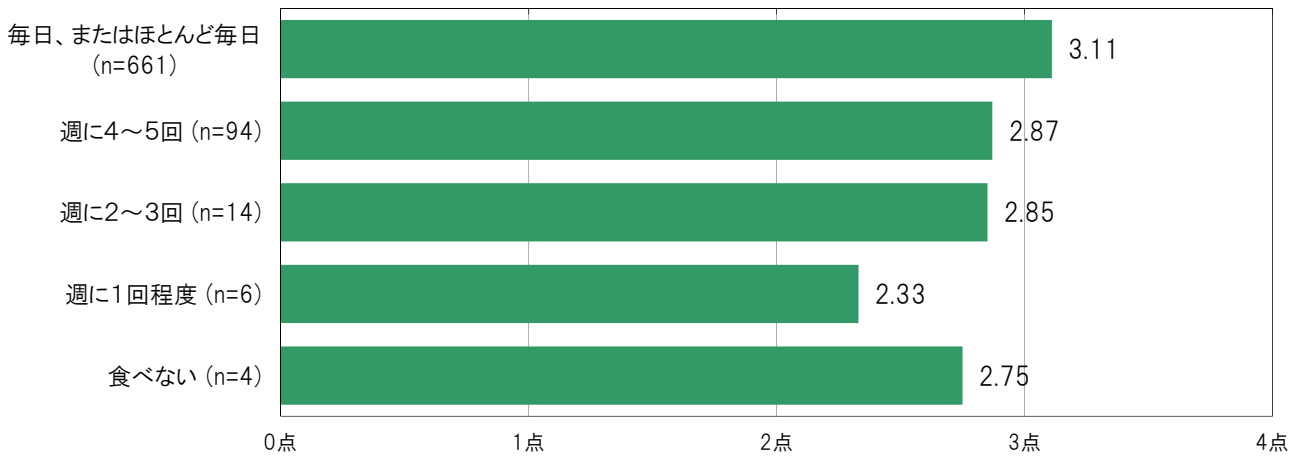


A-226.休日に昼食を食べる頻度別 自分の将来の夢や目標を持っている【子ども 問26(3)】

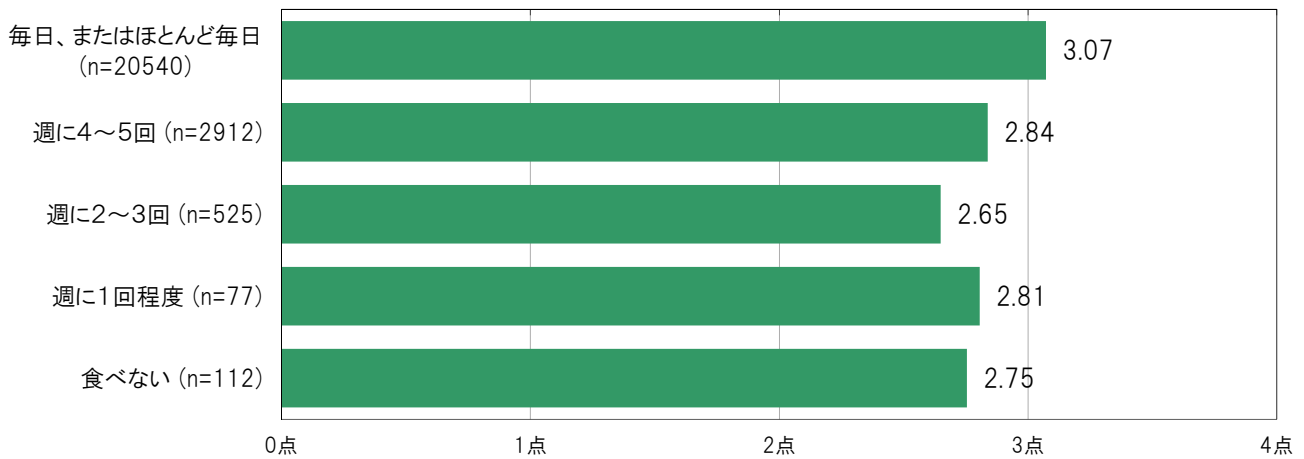
大阪市港区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の得点は、「毎日、またはほとんど毎日」3.11点、「週に4～5回」2.87点、「週に2～3回」2.85点、「週に1回程度」2.33点、「食べない」2.75点となっている。

※加重得点「持っている」= 4点、「どちらかというを持っている」= 3点、
「どちらかという持っていない」= 2点、「持っていない」= 1点

〔大阪市港区／休日に昼食を食べる頻度別〕



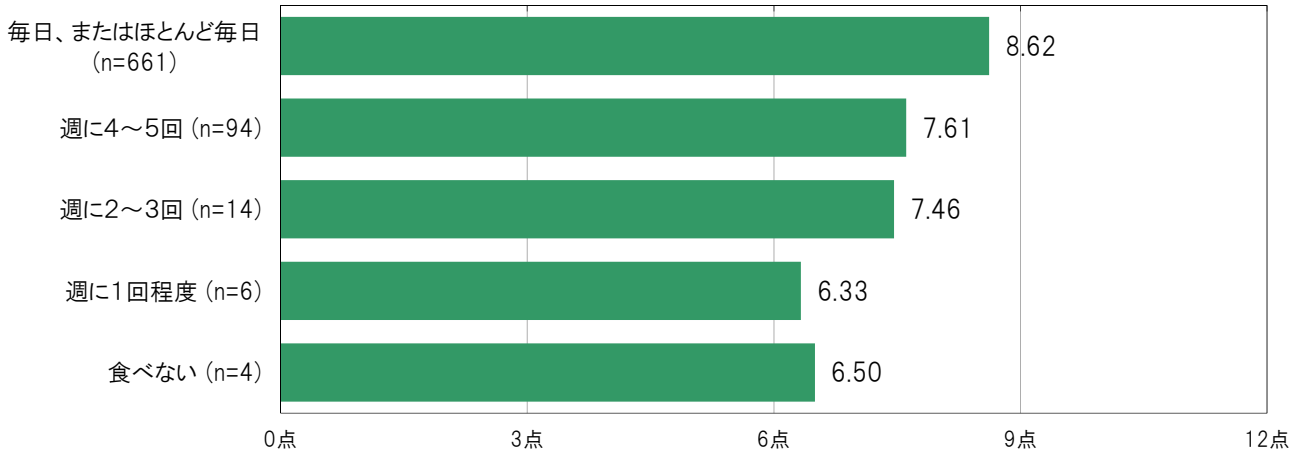
〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕



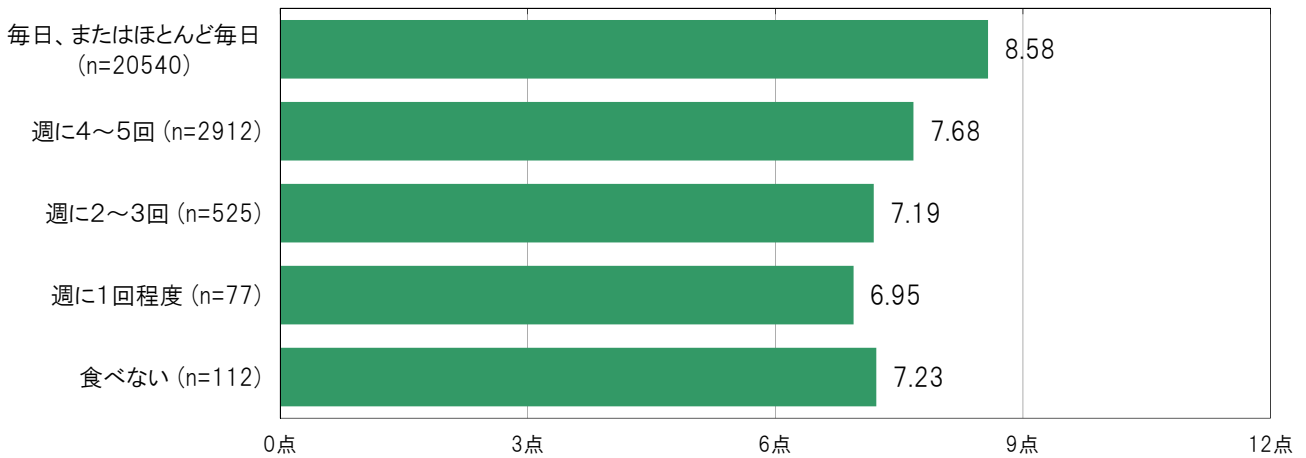
A-227. 休日に昼食を食べる頻度別 子どもの自己効力感の合計得点(最大12点)【子ども 問26(1)~(3)】

大阪市港区の休日に昼食を食べる頻度別の自己効力感(セルフ・エフィカシー)の合計得点は、「毎日、またはほとんど毎日」8.62点、「週に4~5回」7.61点、「週に2~3回」7.46点、「週に1回程度」6.33点、「食べない」6.50点となっている。

〔大阪市港区／休日に昼食を食べる頻度別〕



〔大阪市24区／休日に昼食を食べる頻度別〕

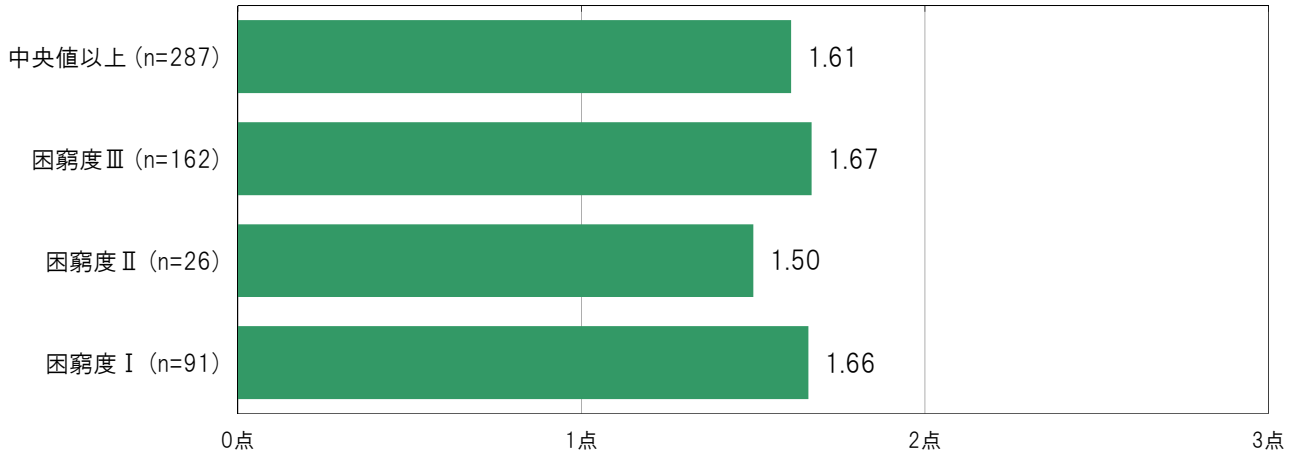


A-228.困窮度別 楽しみにしていることがたくさんある〔子ども 問22①〕

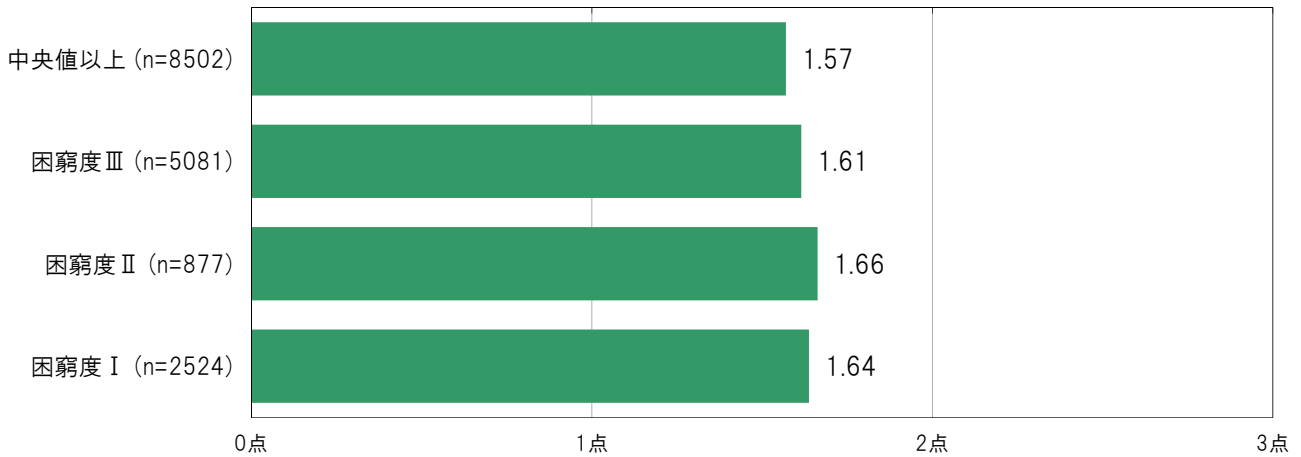
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.61点、「困窮度Ⅲ」1.67点、「困窮度Ⅱ」1.50点、「困窮度Ⅰ」1.66点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

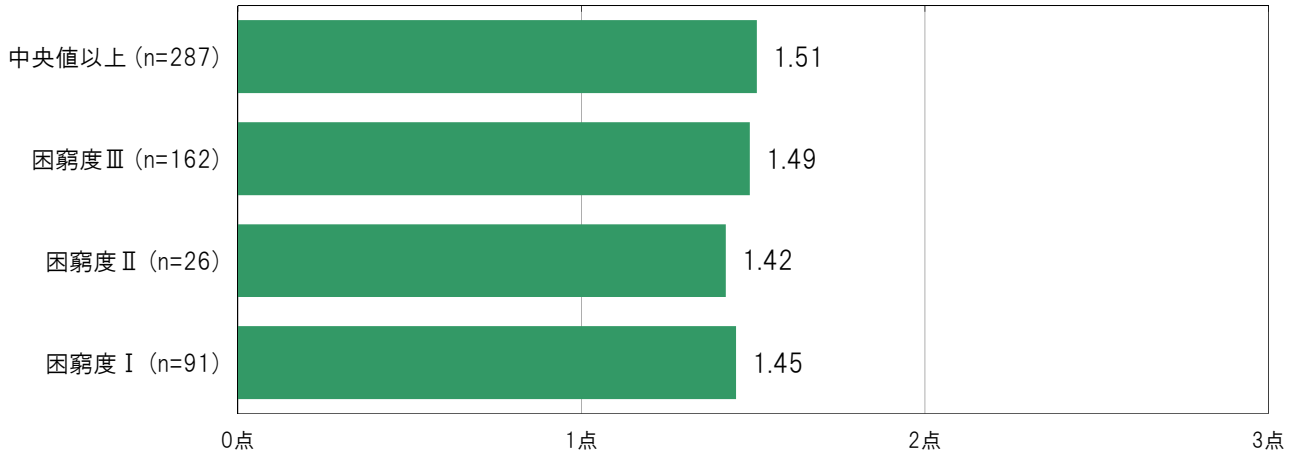


A-229.困窮度別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

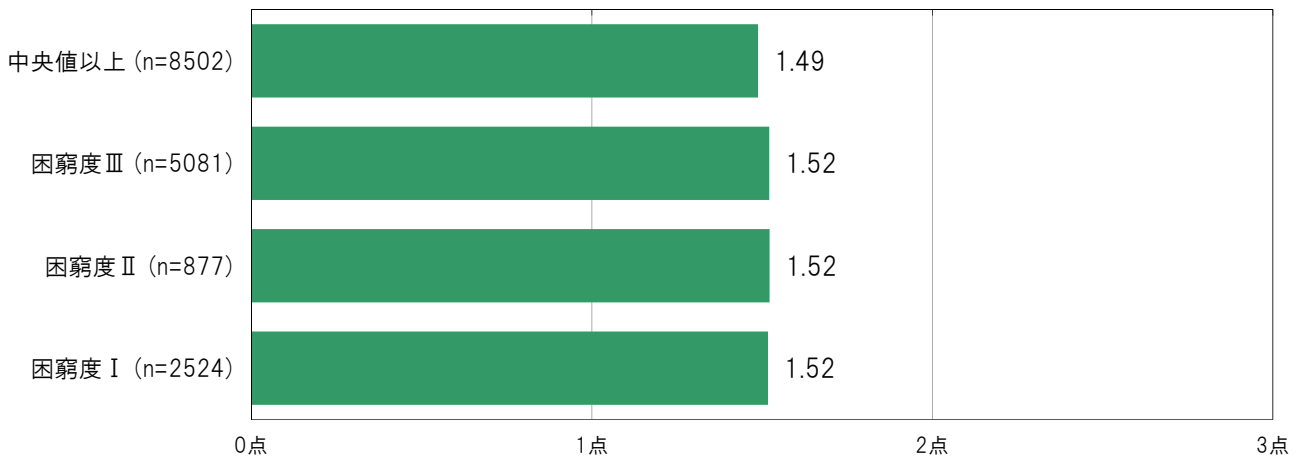
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.51点、「困窮度Ⅲ」1.49点、「困窮度Ⅱ」1.42点、「困窮度Ⅰ」1.45点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

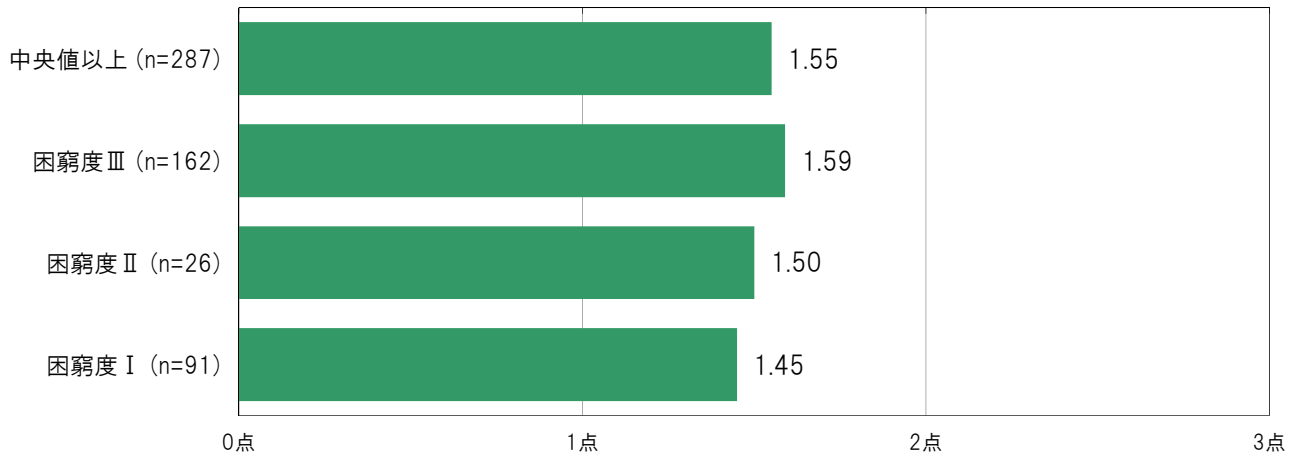


A-230.困窮度別 元気いっぱい【子ども 問22③】

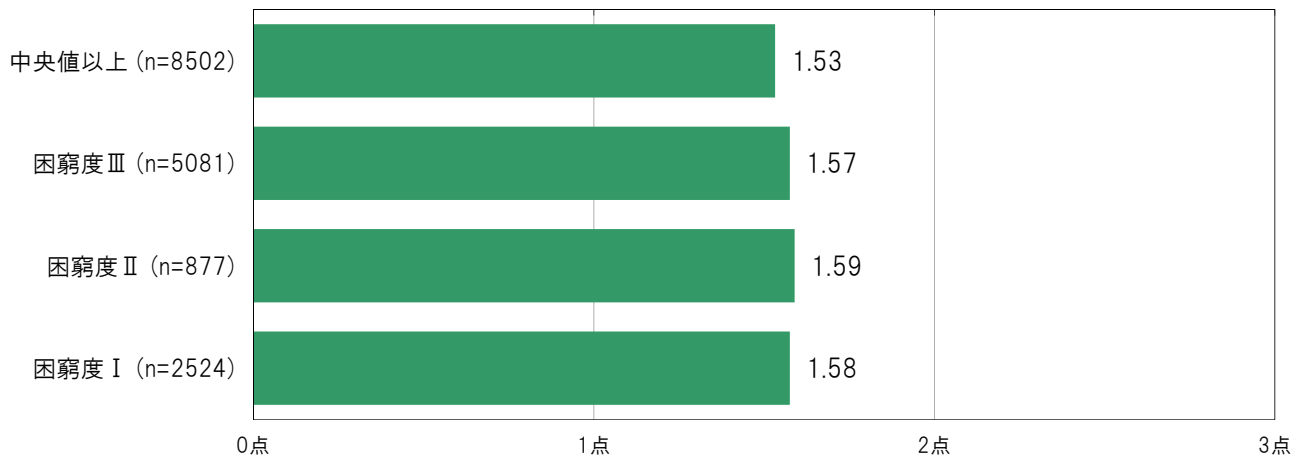
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.55点、「困窮度Ⅲ」1.59点、「困窮度Ⅱ」1.50点、「困窮度Ⅰ」1.45点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

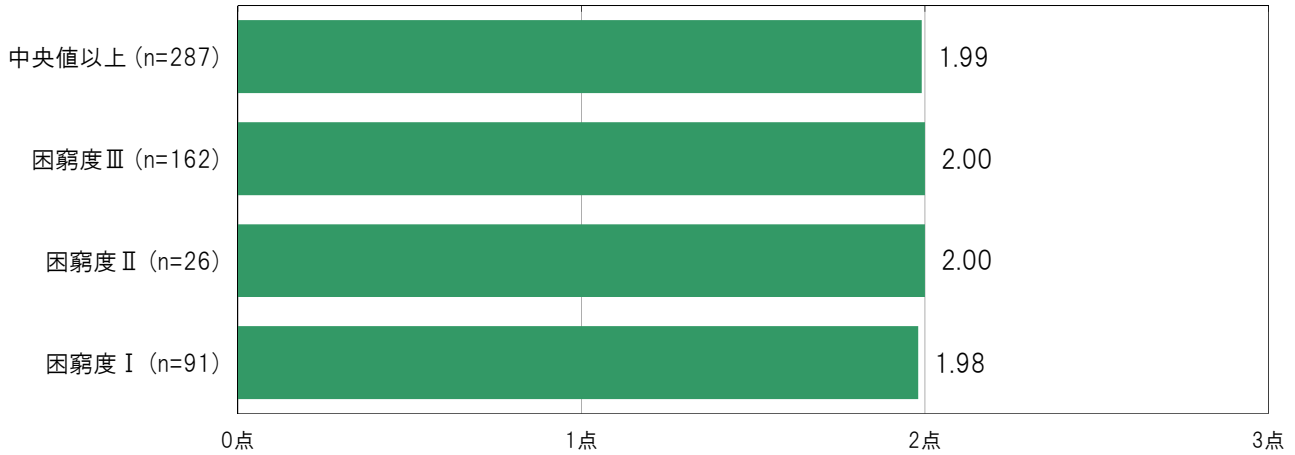


A-231.困窮度別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

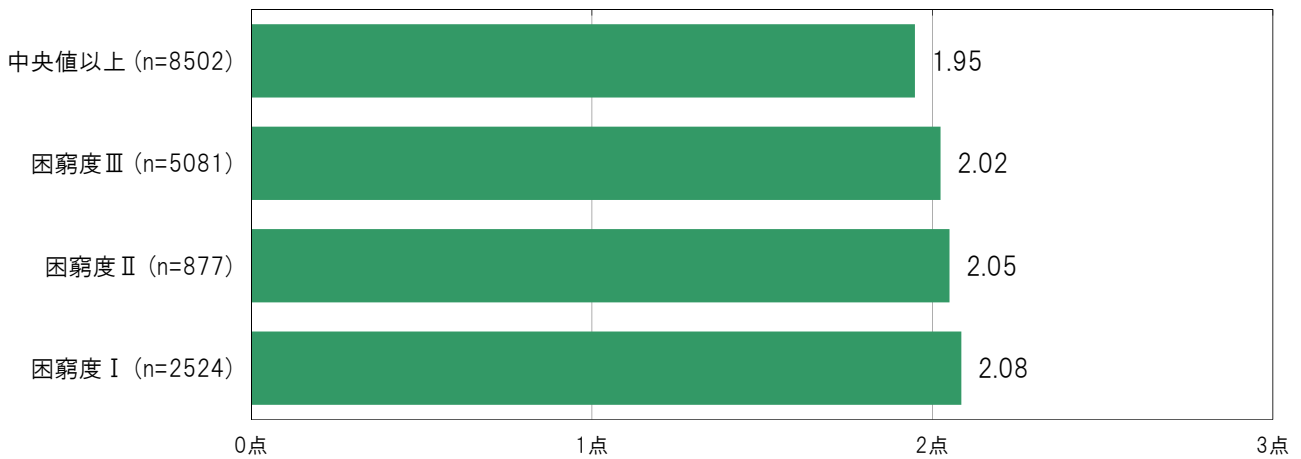
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」1.99点、「困窮度Ⅲ」2.00点、「困窮度Ⅱ」2.00点、「困窮度Ⅰ」1.98点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

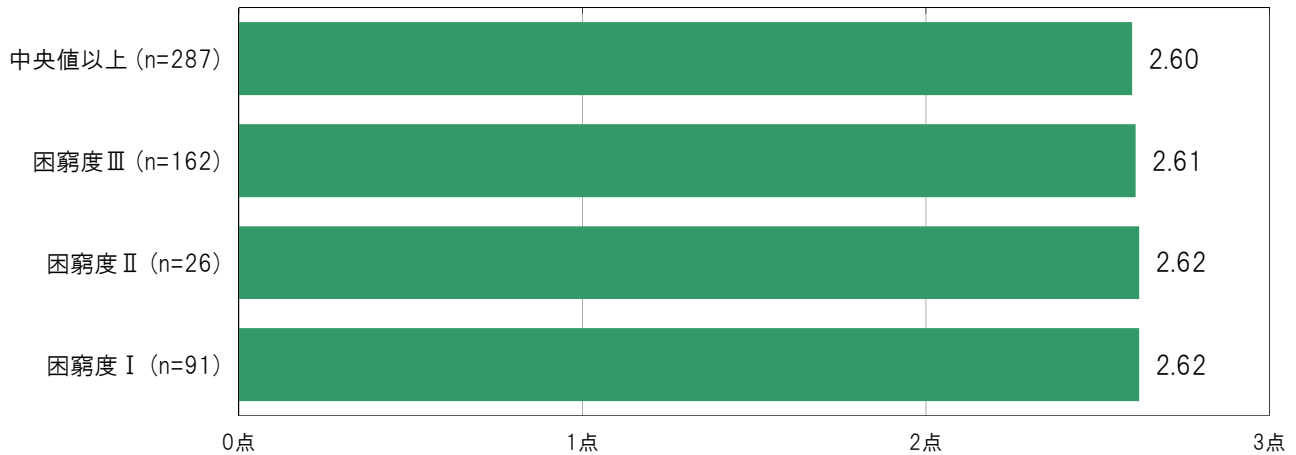


A-232.困窮度別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

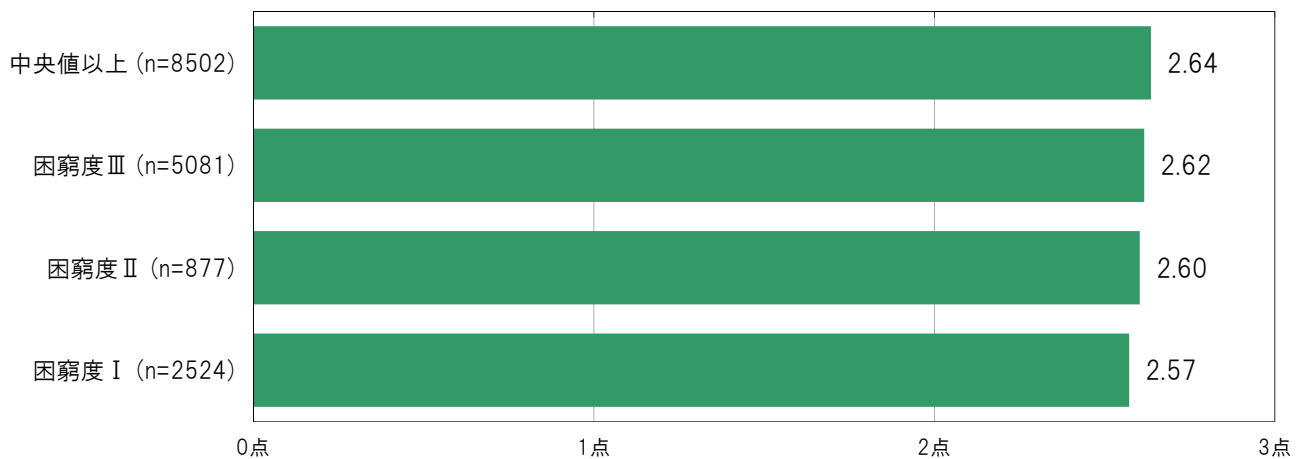
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.60点、「困窮度Ⅲ」2.61点、「困窮度Ⅱ」2.62点、「困窮度Ⅰ」2.62点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

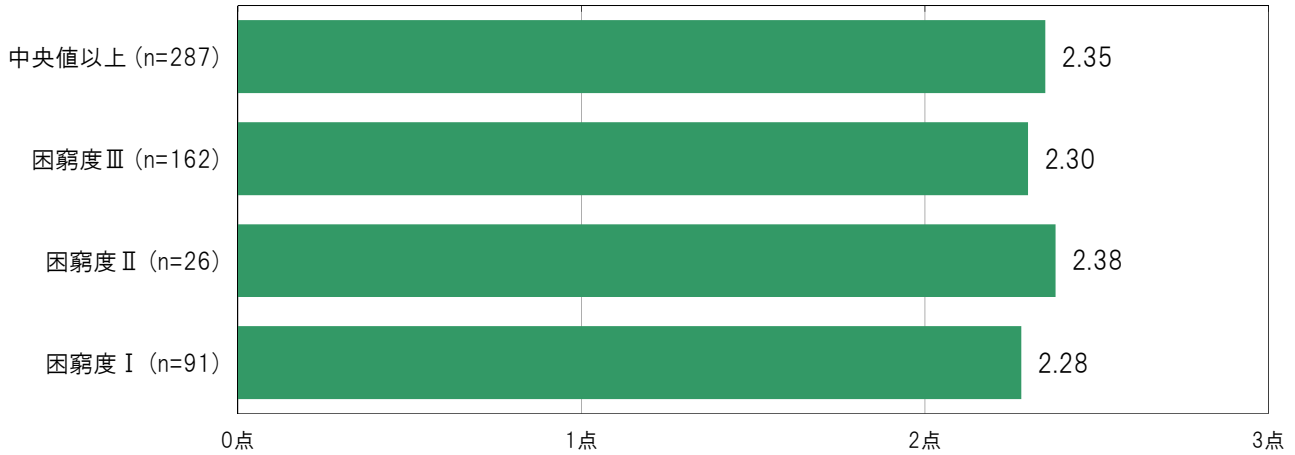


A-233.困窮度別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

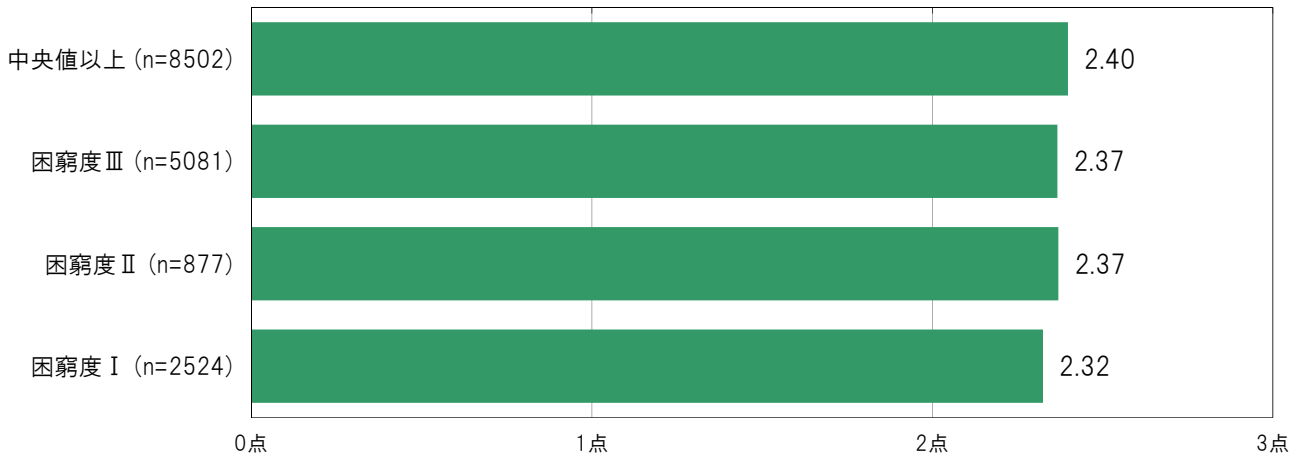
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.35点、「困窮度Ⅲ」2.30点、「困窮度Ⅱ」2.38点、「困窮度Ⅰ」2.28点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

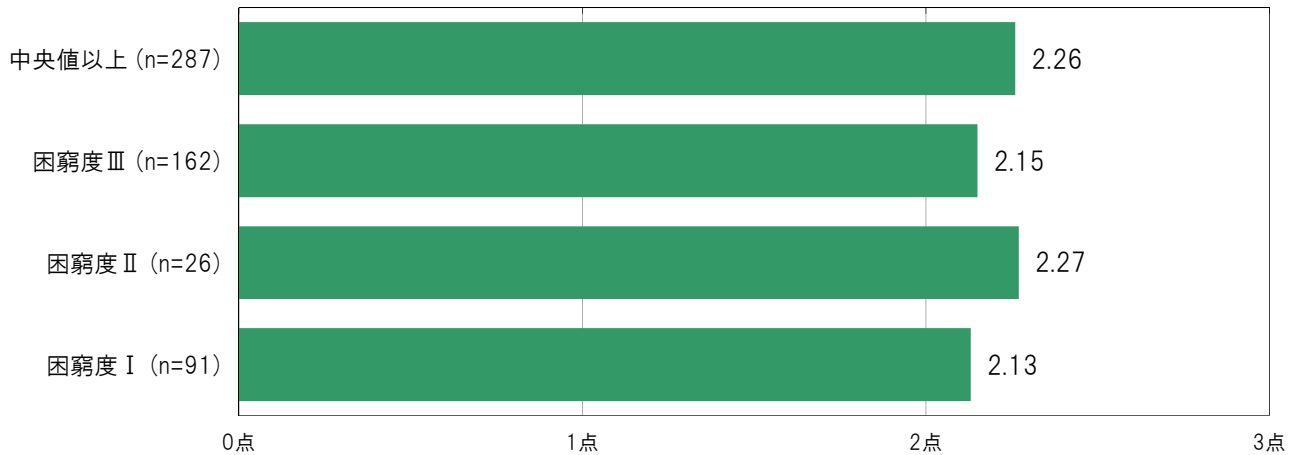


A-234.困窮度別 まわりが気になる【子ども 問22⑦】

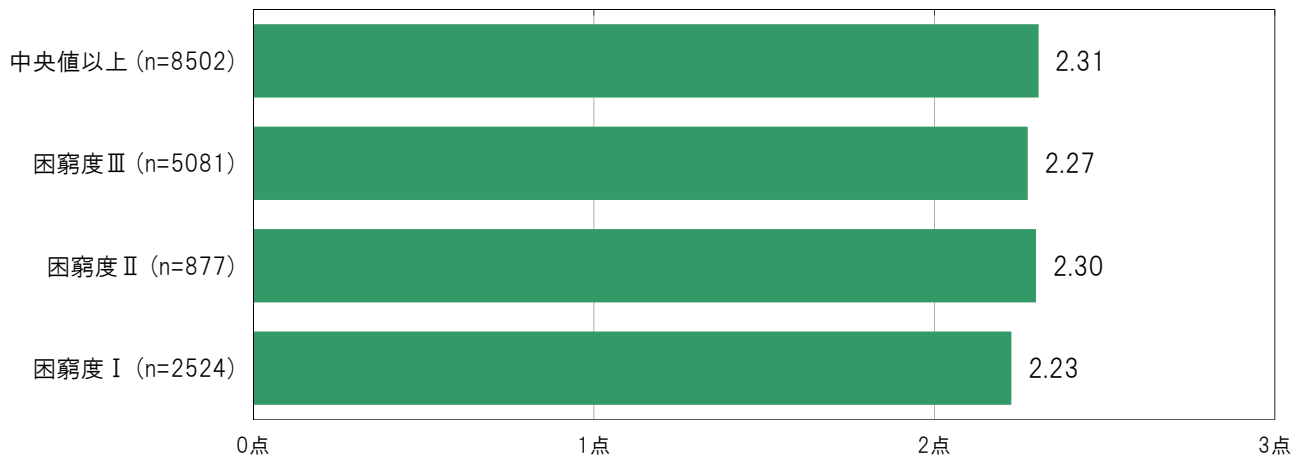
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.26点、「困窮度Ⅲ」2.15点、「困窮度Ⅱ」2.27点、「困窮度Ⅰ」2.13点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

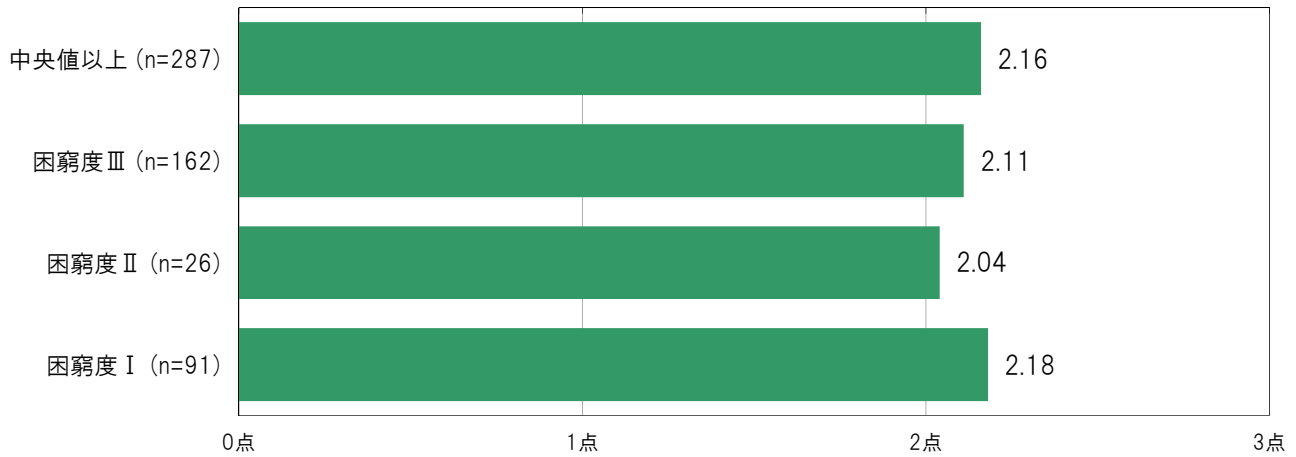


A-235.困窮度別 やる気が起きない〔子ども 問22⑧〕

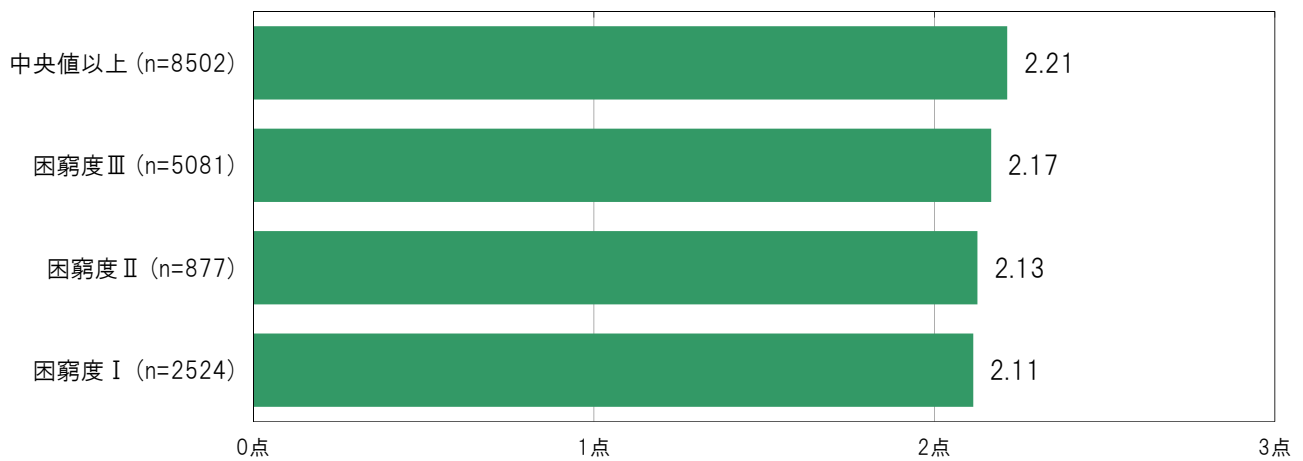
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.16点、「困窮度Ⅲ」2.11点、「困窮度Ⅱ」2.04点、「困窮度Ⅰ」2.18点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

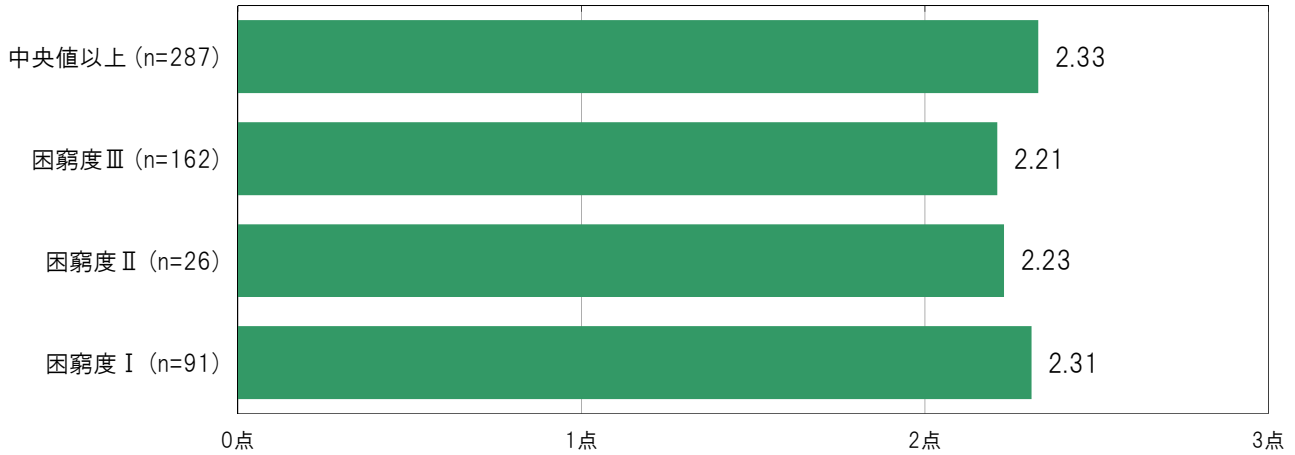


A-236.困窮度別 いろいろする【子ども 問22㊸】

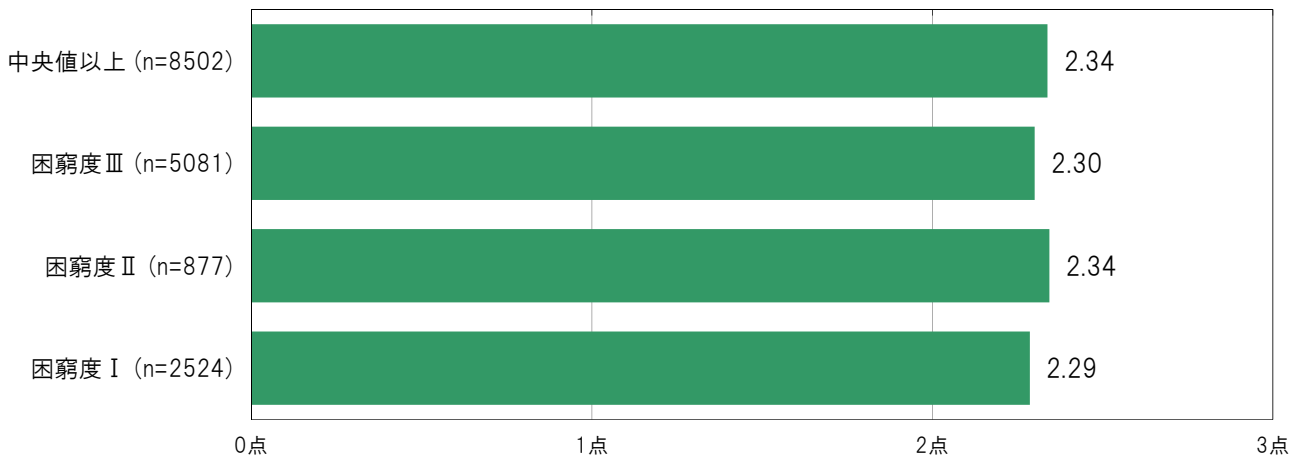
大阪市港区の困窮度別の加重得点平均は、「中央値以上」2.33点、「困窮度Ⅲ」2.21点、「困窮度Ⅱ」2.23点、「困窮度Ⅰ」2.31点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

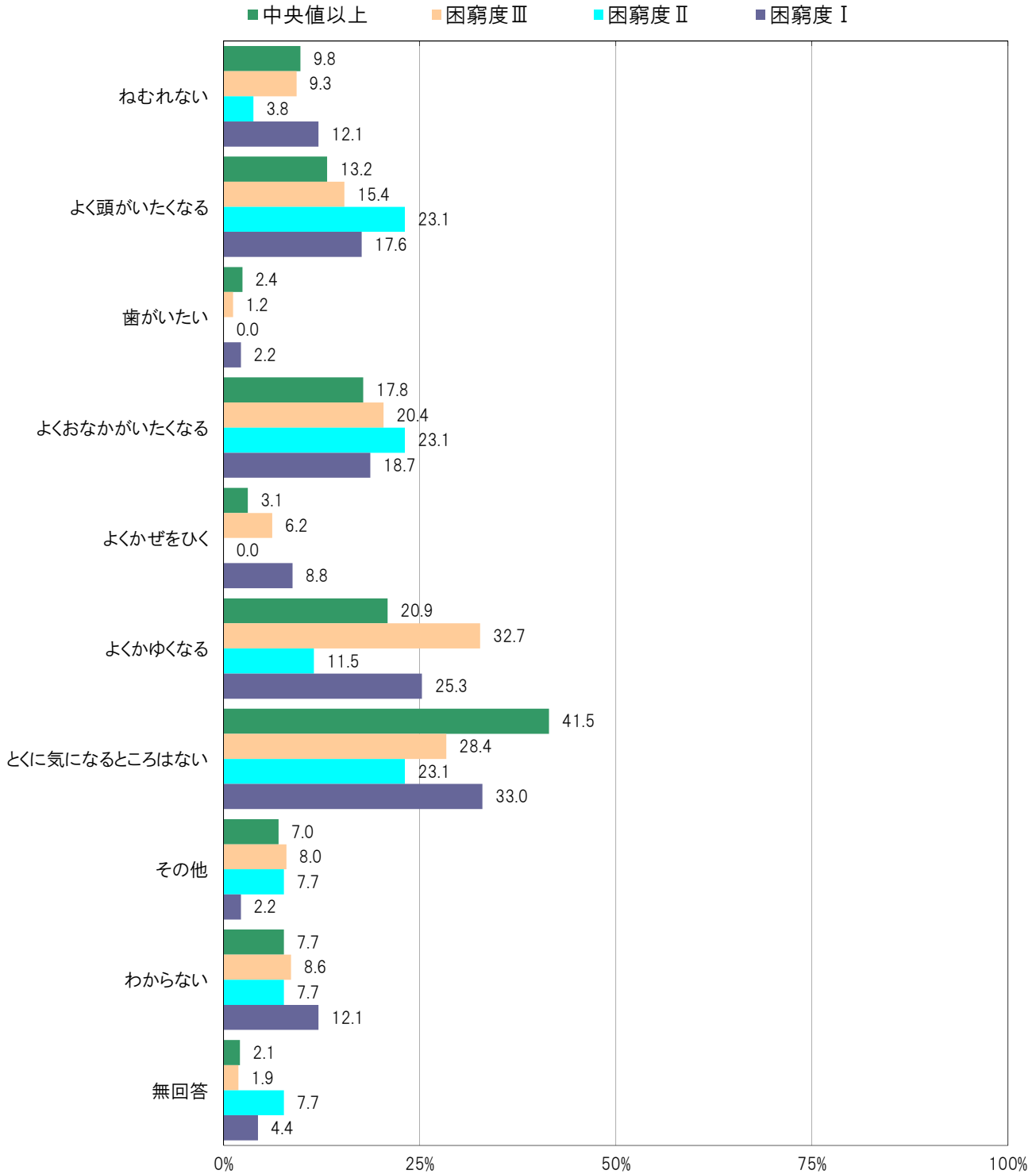


A-237.困窮度別 自分の体の状態で気になること【子ども 問23】

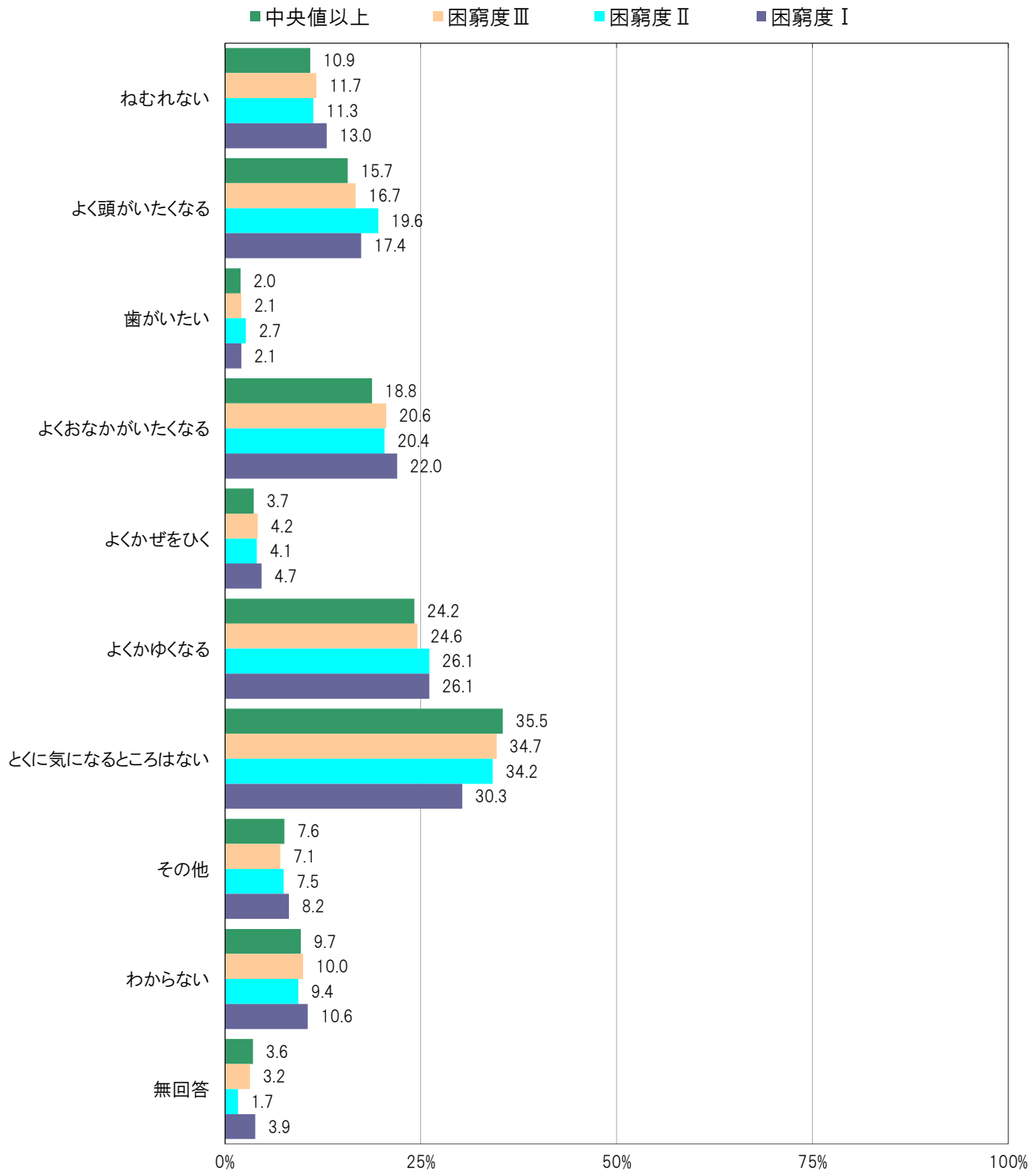
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「とくに気になるところはない」33.0%、「よくかゆくなる」25.3%、「よくおなかがいたくなる」18.7%の順に高くなっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「とくに気になるところはない」41.5%、「よくかゆくなる」20.9%、「よくおなかがいたくなる」17.8%の順に高くなっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

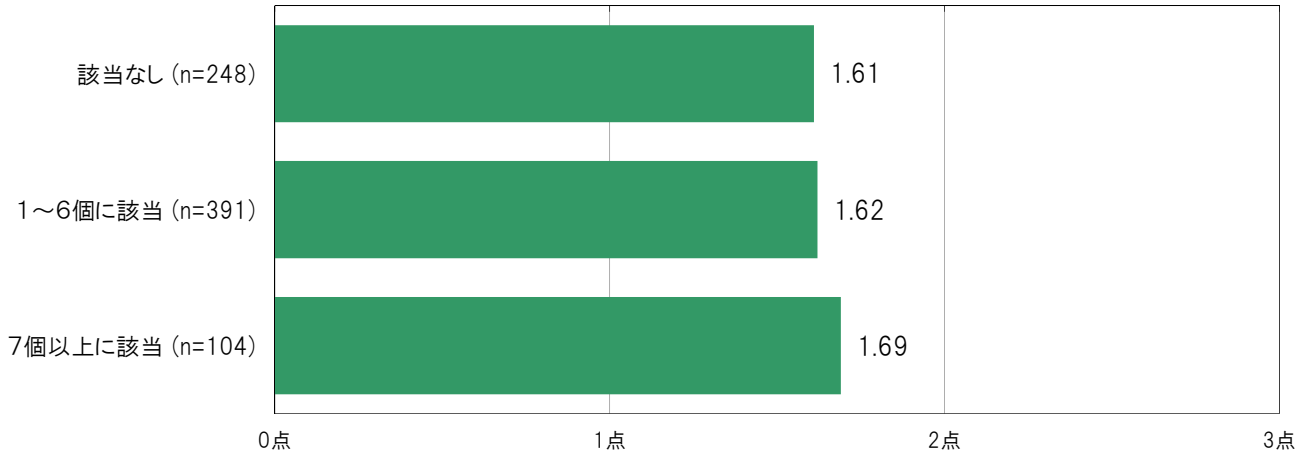


A-238.はく奪指標別 楽しみにしていることがたくさんある【子ども 問22①】

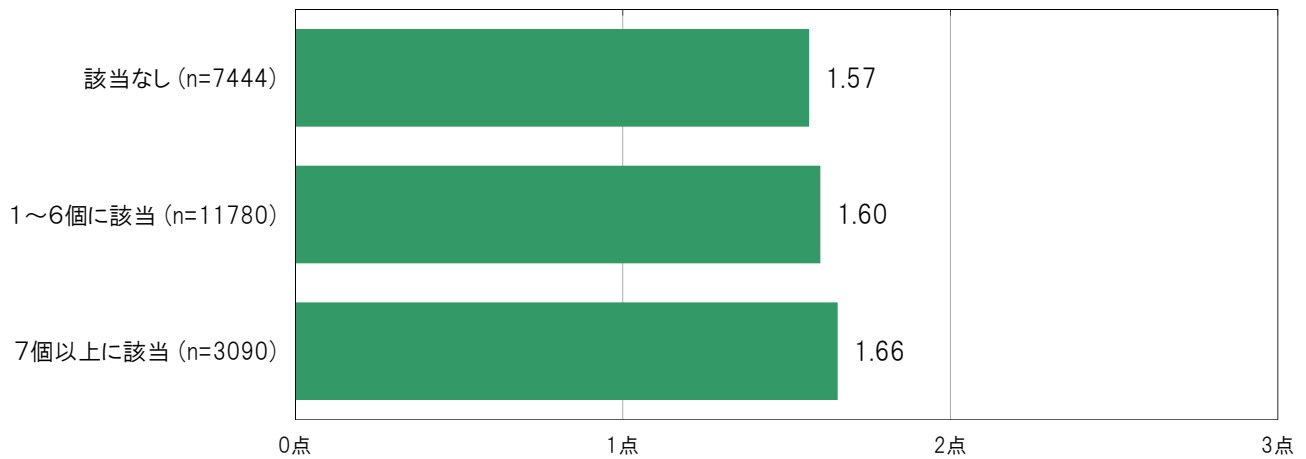
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.61点、「1～6個に該当」1.62点、「7個以上に該当」1.69点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

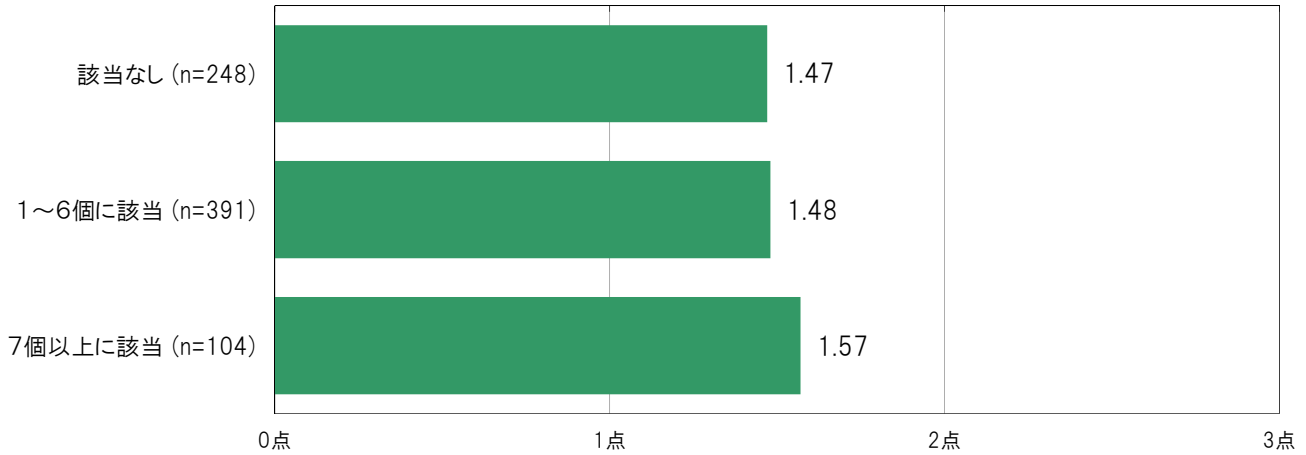


A-239.はく奪指標別 遊びにでかけるのが好きだ【子ども 問22②】

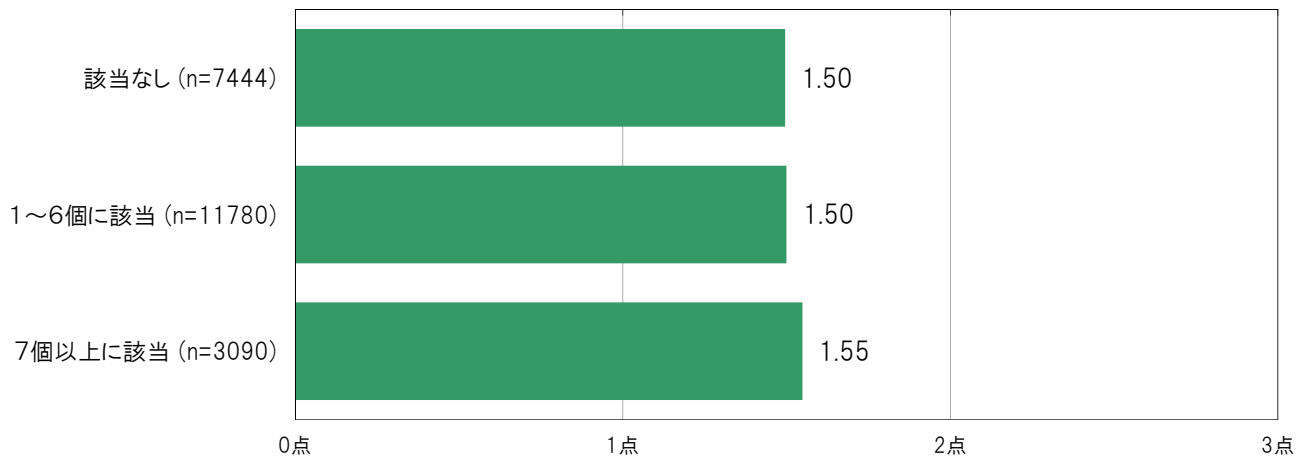
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.47点、「1～6個に該当」1.48点、「7個以上に該当」1.57点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

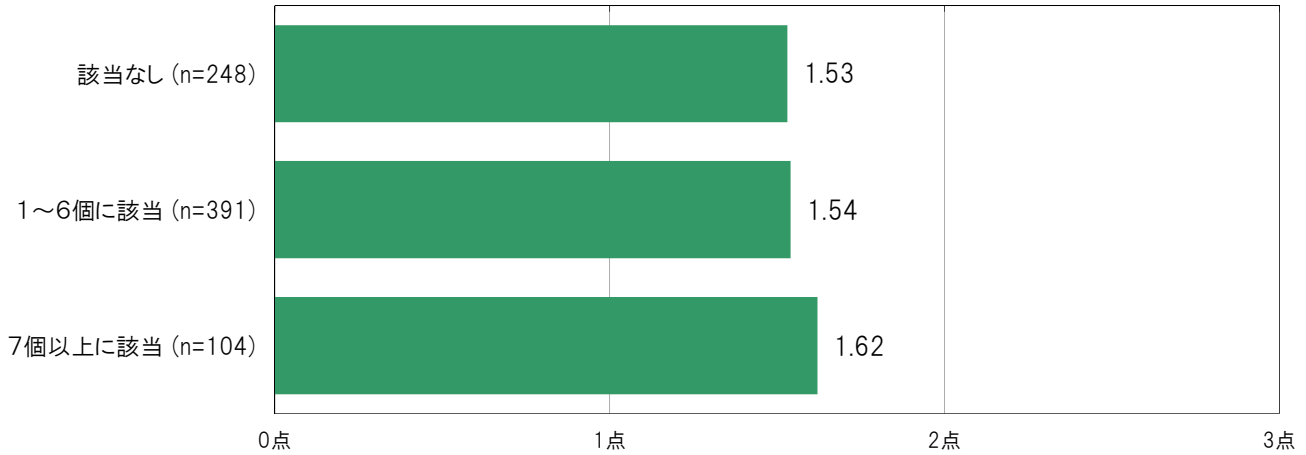


A-240.はく奪指標別 元気いっぱい【子ども 問22③】

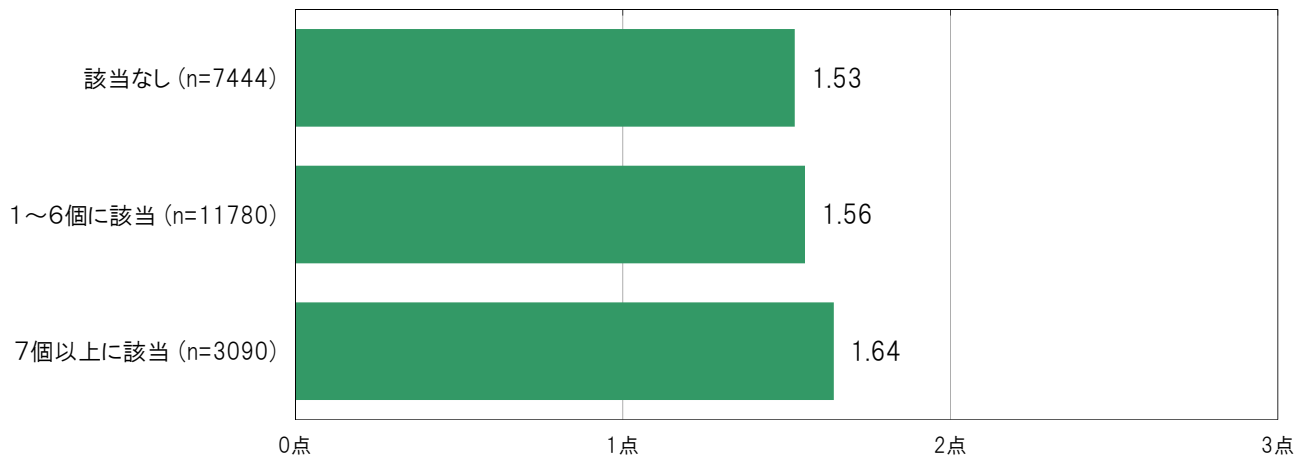
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.53点、「1～6個に該当」1.54点、「7個以上に該当」1.62点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

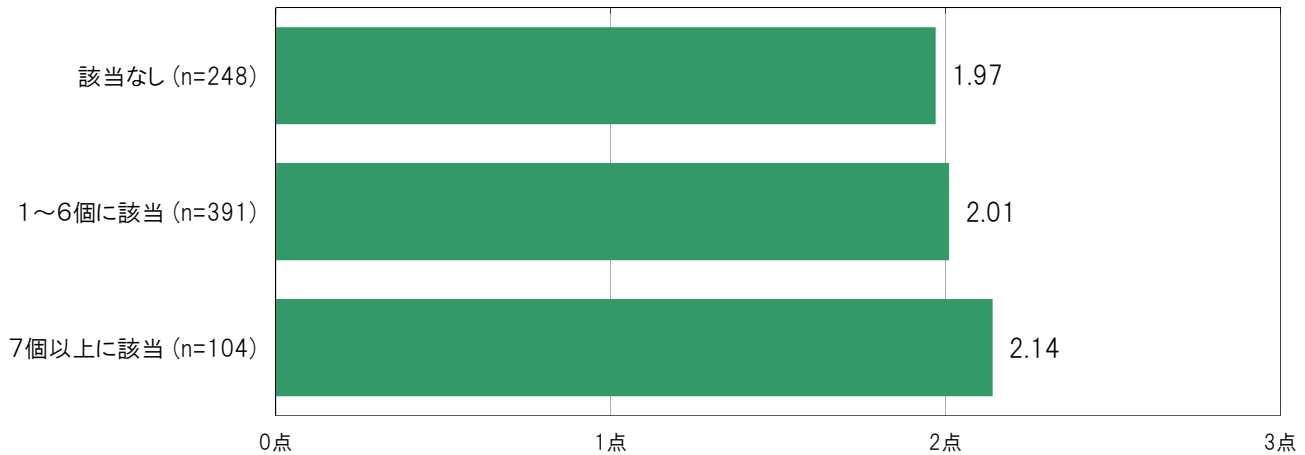


A-241.はく奪指標別 やろうと思ったことがうまくできる【子ども 問22④】

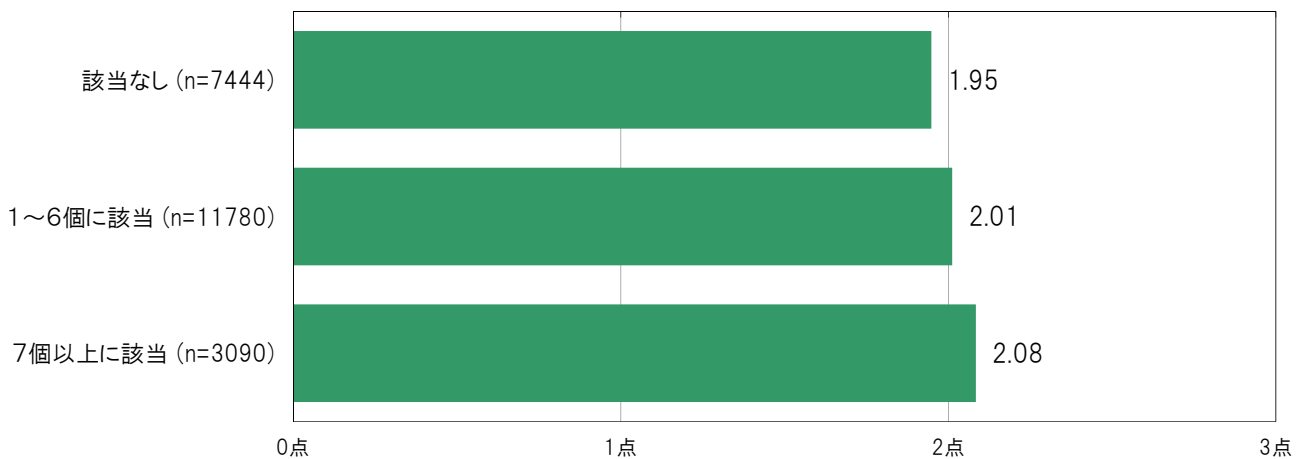
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」1.97点、「1～6個に該当」2.01点、「7個以上に該当」2.14点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

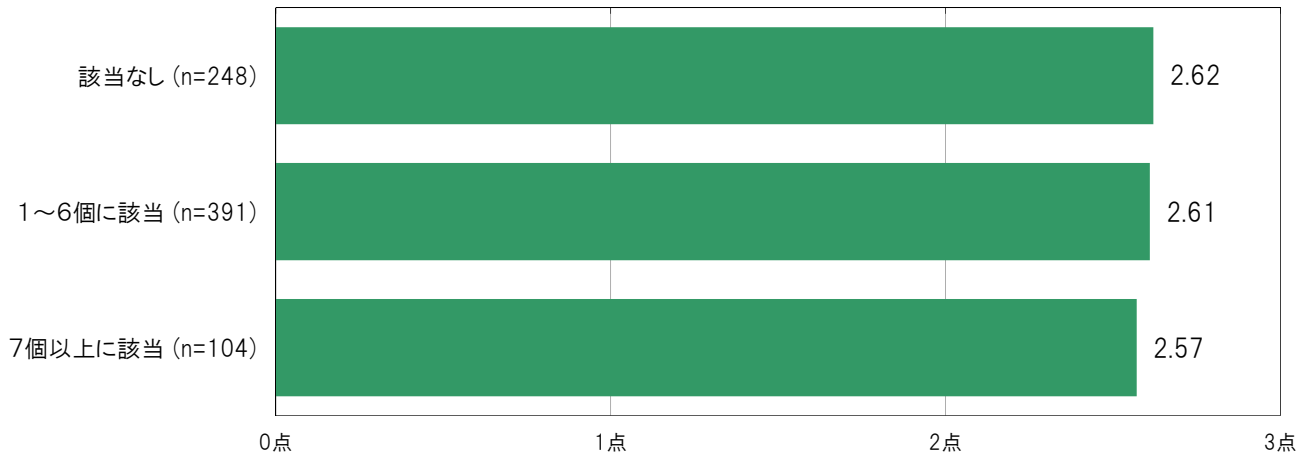


A-242.はく奪指標別 一人ぼっちのような気がする【子ども 問22⑤】

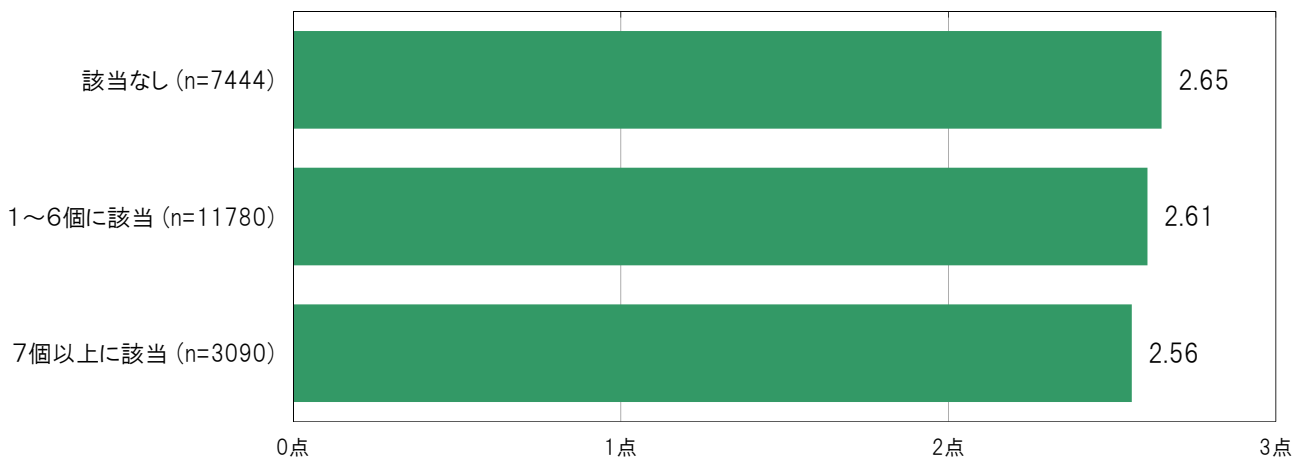
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.62点、「1～6個に該当」2.61点、「7個以上に該当」2.57点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

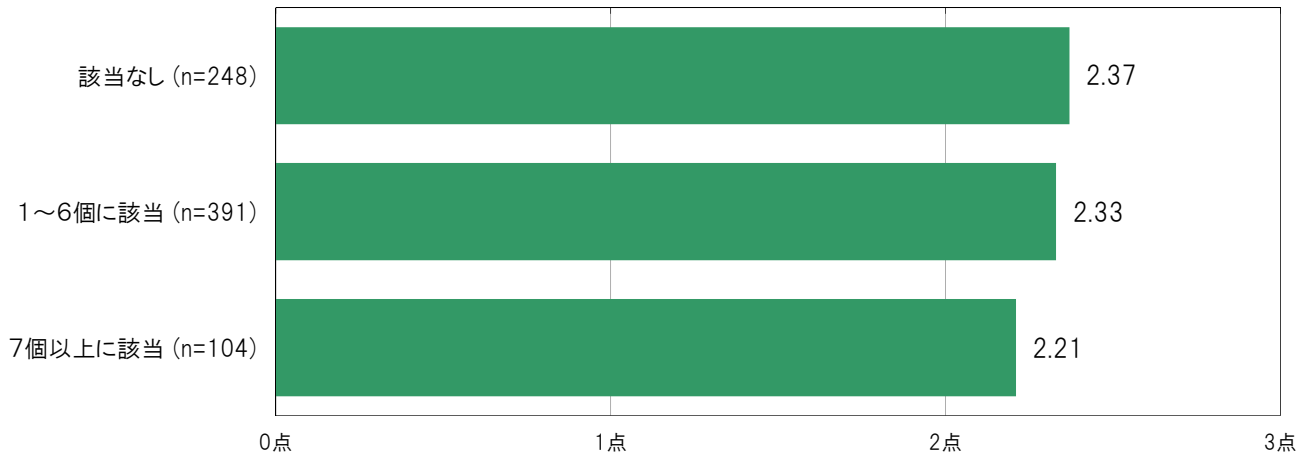


A-243.はく奪指標別 不安な気持ちになる【子ども 問22⑥】

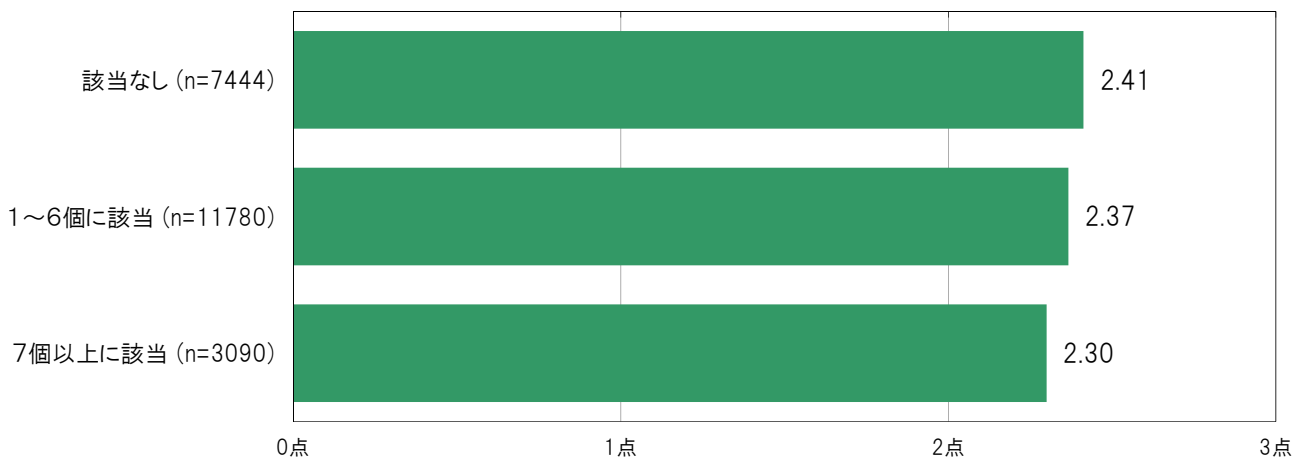
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.37点、「1～6個に該当」2.33点、「7個以上に該当」2.21点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

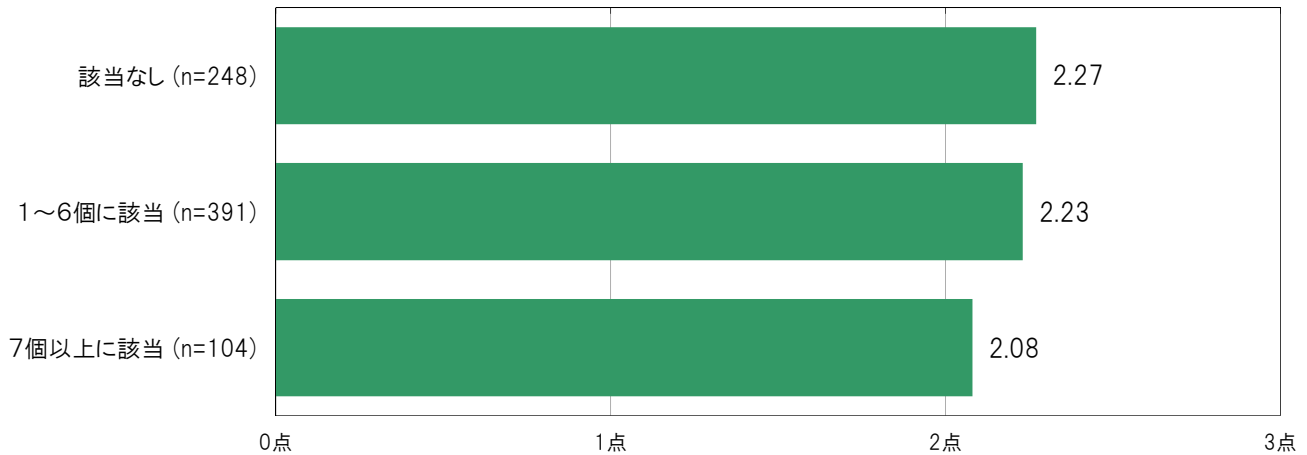


A-244.はく奪指標別 まわりが気になる〔子ども 問22⑦〕

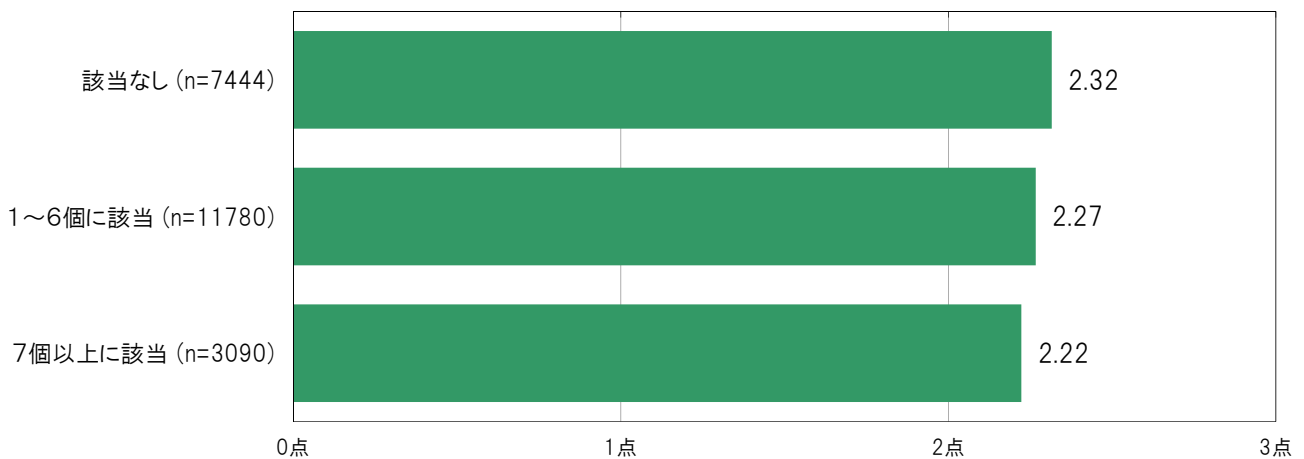
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.27点、「1～6個に該当」2.23点、「7個以上に該当」2.08点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

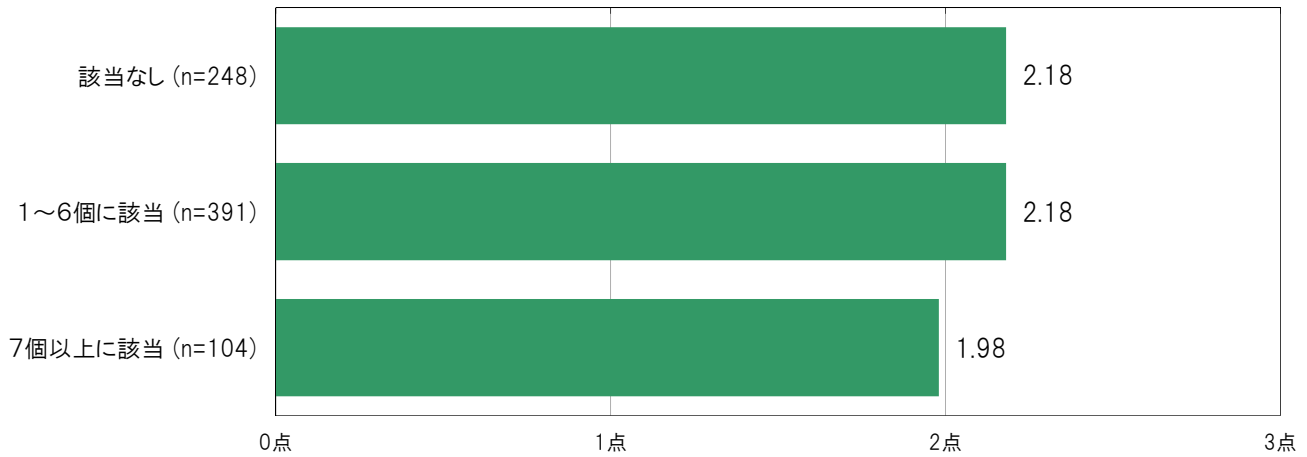


A-245.はく奪指標別 やる気が起きない【子ども 問22⑧】

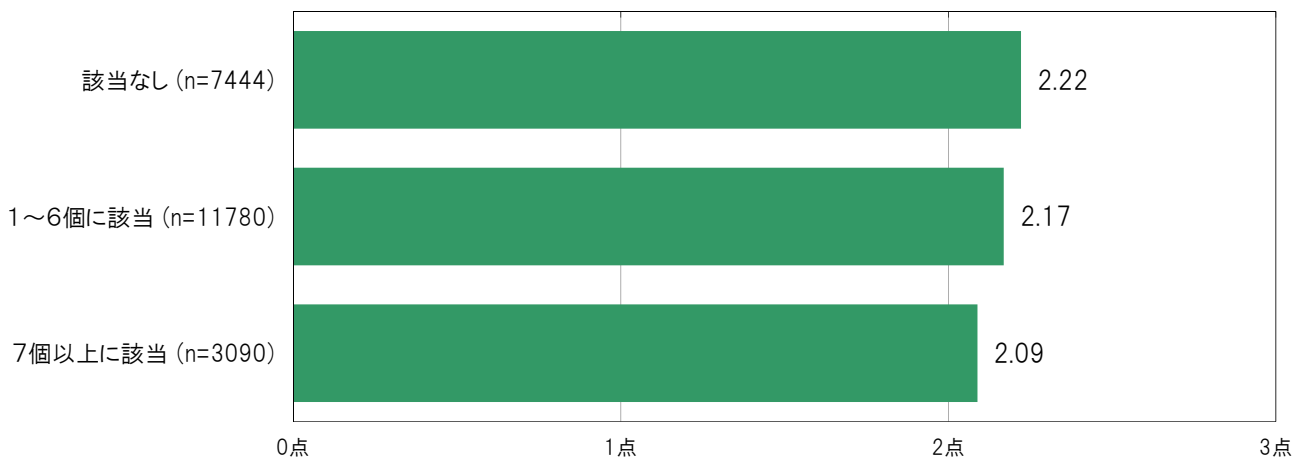
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.18点、「1～6個に該当」2.18点、「7個以上に該当」1.98点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

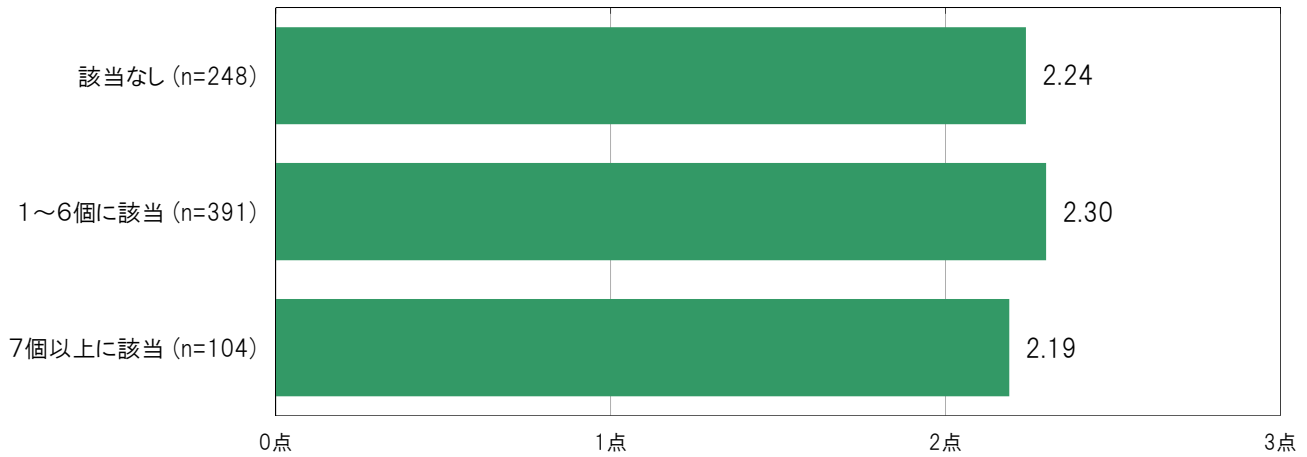


A-246.はく奪指標別 いろいろする【子ども 問22㉑】

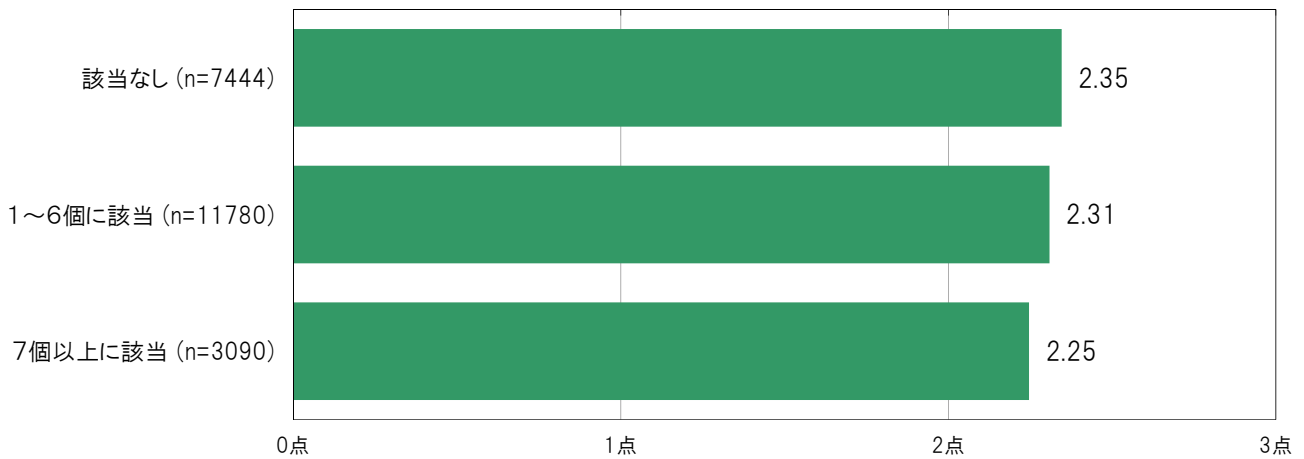
大阪市港区のはく奪指標別の加重得点平均は、「該当なし」2.24点、「1～6個に該当」2.30点、「7個以上に該当」2.19点となっている。

※加重得点「いつもそうだ」= 1点、「ときどきそうだ」= 2点、「そんなことはない」= 3点

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

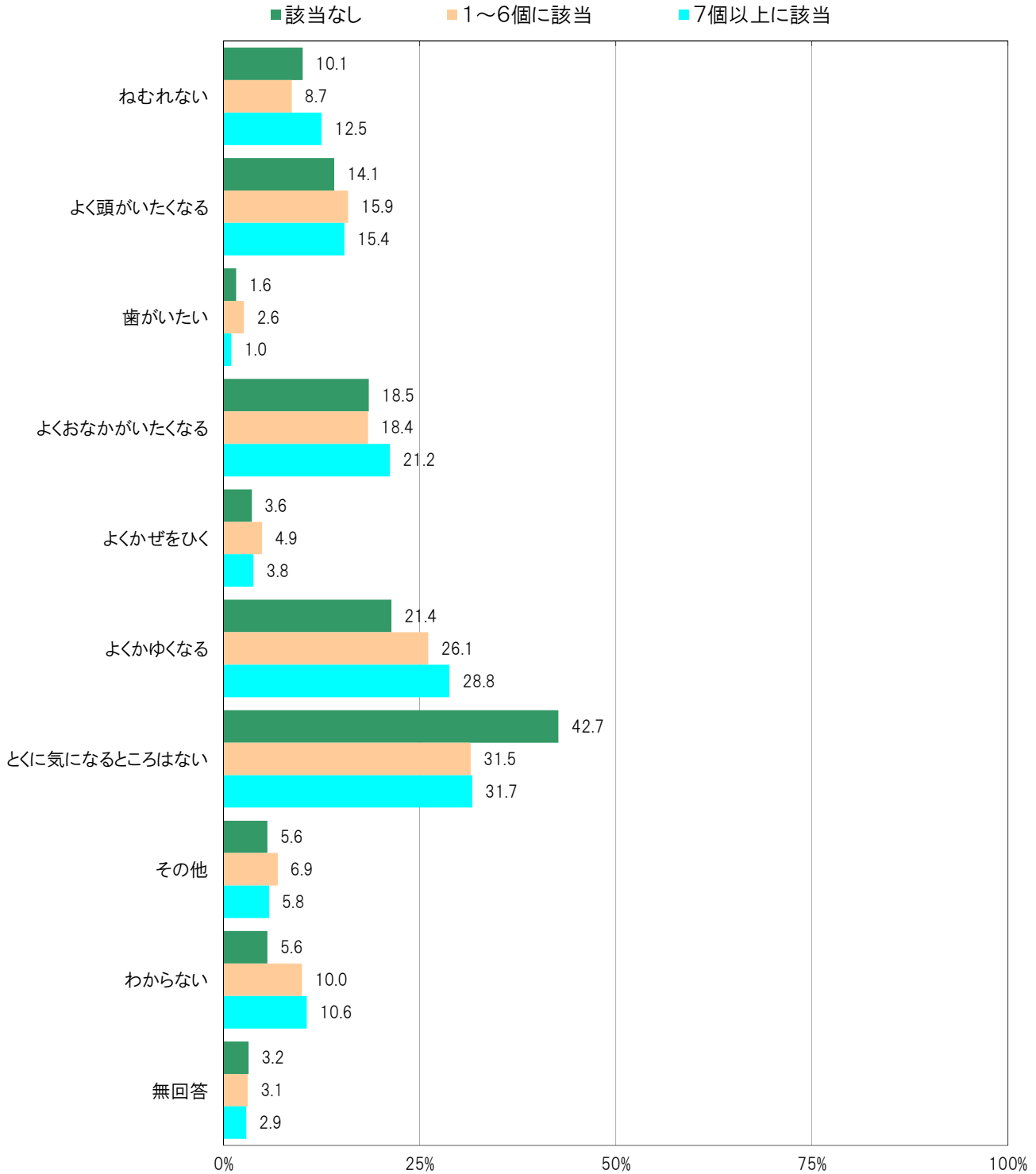


A-247.はく奪指標別 自分の体の状態で気になること【子ども 問23】

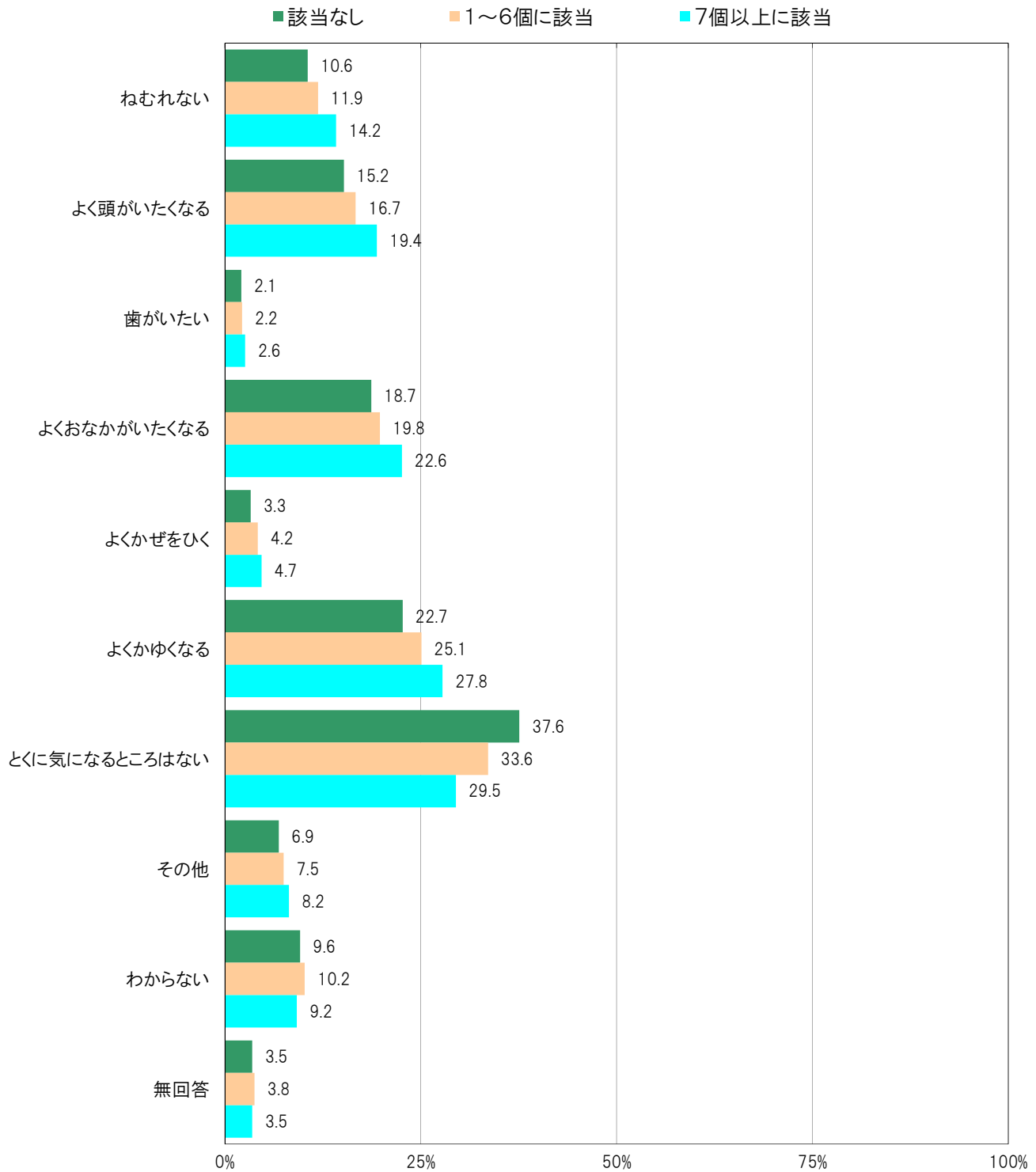
大阪市港区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「とくに気になるところはない」31.5%、「よくかゆくなる」26.1%、「よくおなかがいなくなる」18.4%の順に高くなっている。

大阪市港区のはく奪指標／該当なし群においては、「とくに気になるところはない」42.7%、「よくかゆくなる」21.4%、「よくおなかがいなくなる」18.5%の順に高くなっている。

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



〔大阪市24区／はく奪指標別〕

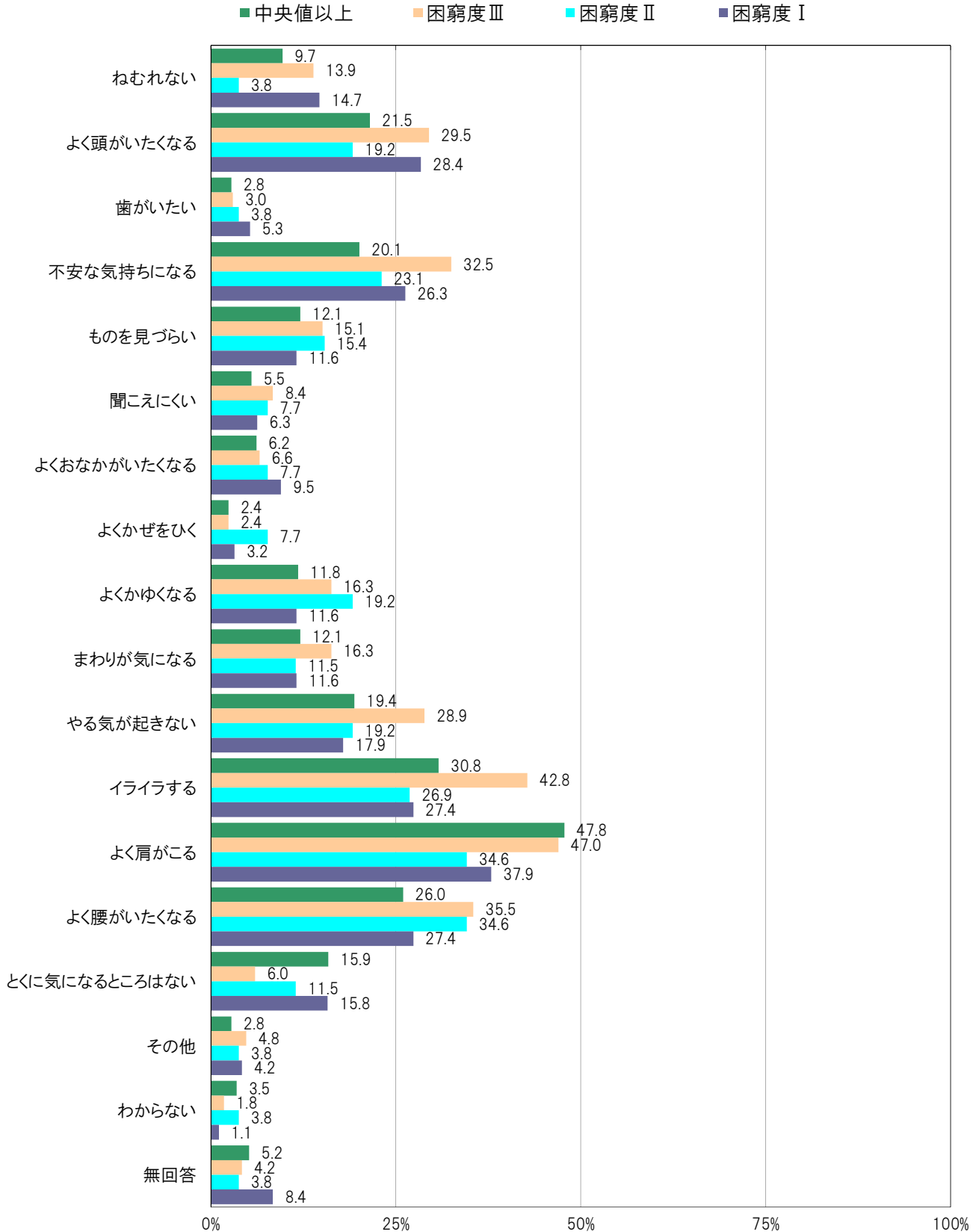


A-248. 困窮度別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

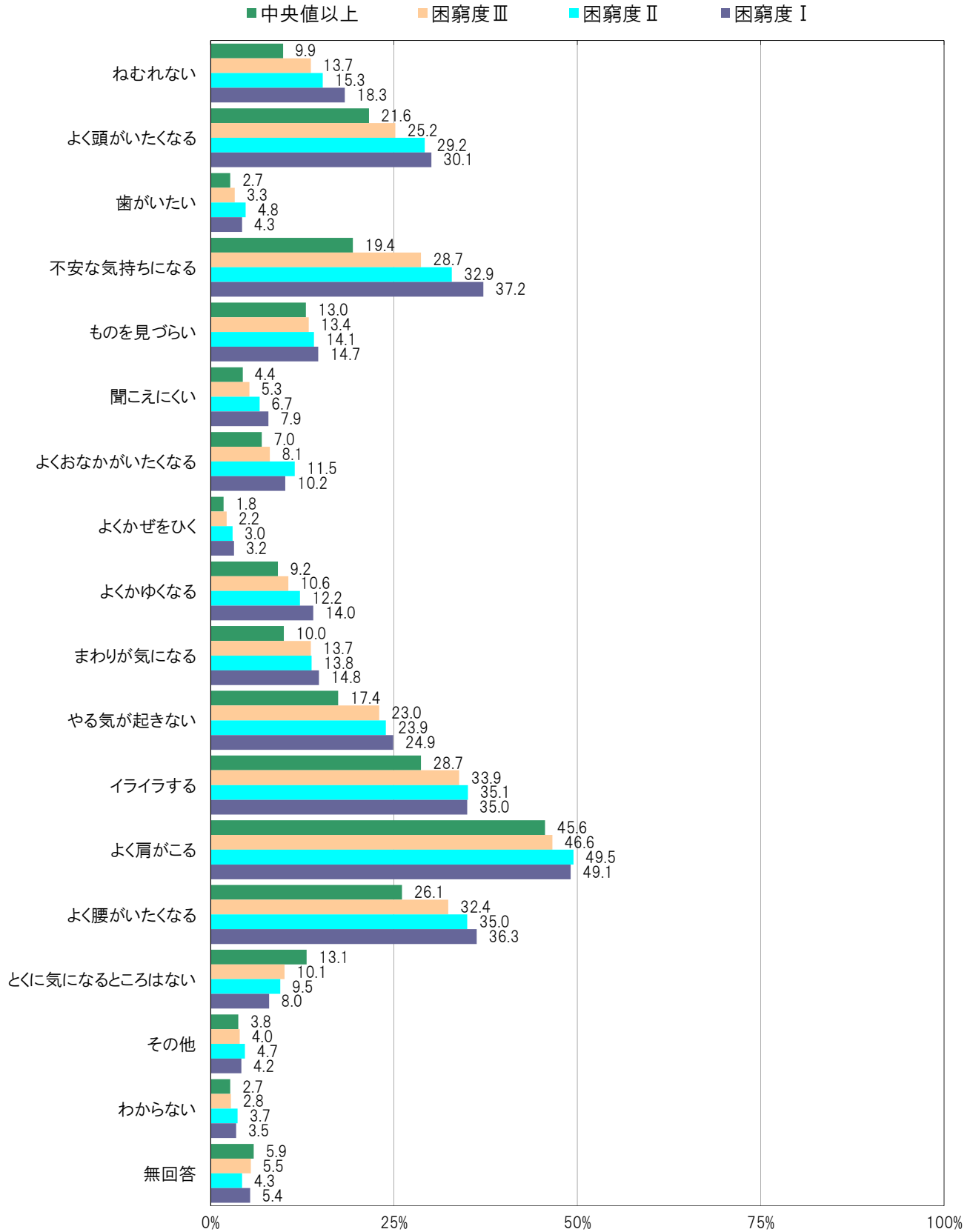
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「よく肩がこる」37.9%、「よく頭がいたくなる」28.4%、「イライラする」27.4%の順に高くなっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「よく肩がこる」47.8%、「イライラする」30.8%、「よく腰がいたくなる」26.0%の順に高くなっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

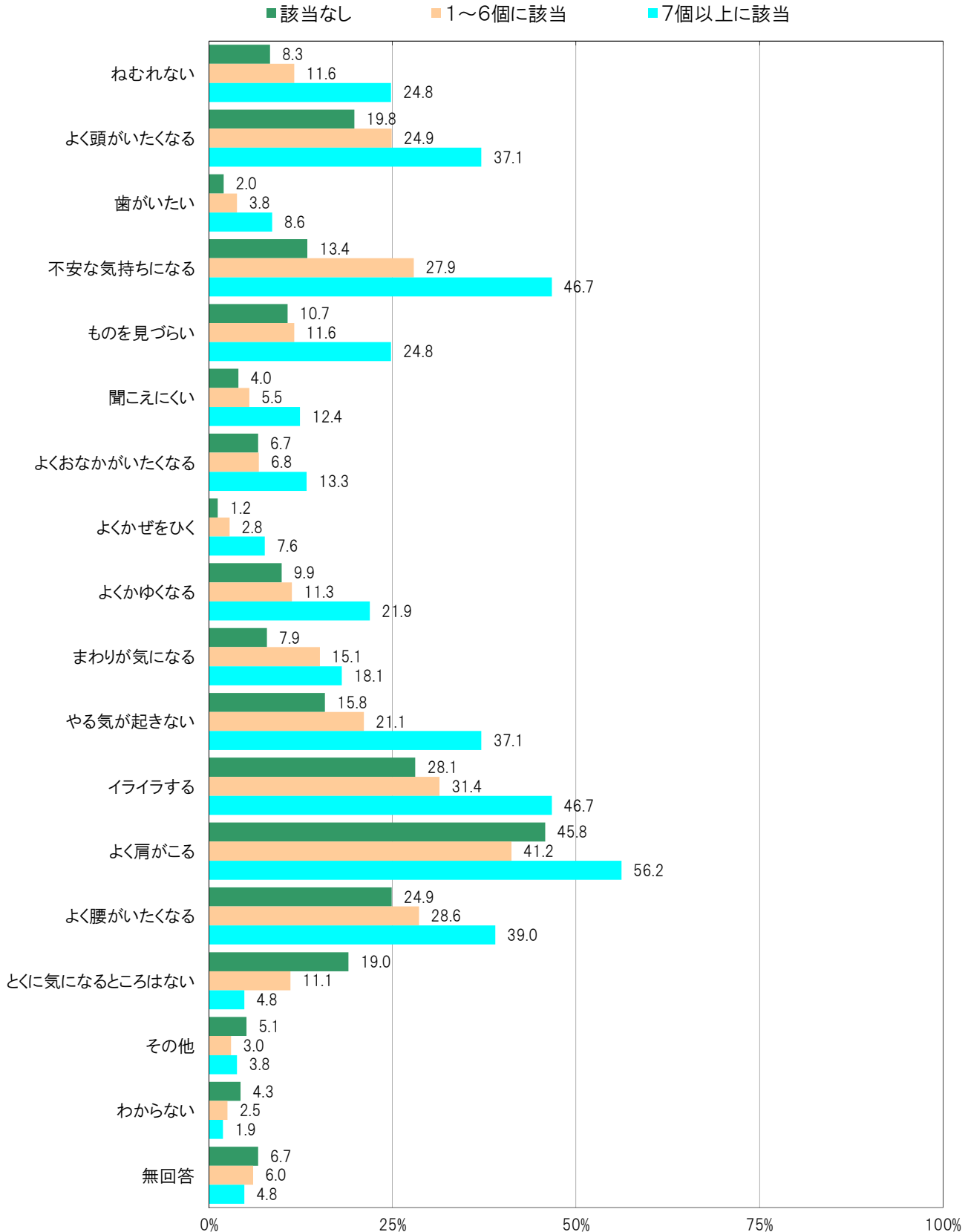


A-249.はく奪指標別にみた自分の体や気持ちについて気になること【保護者 問23】

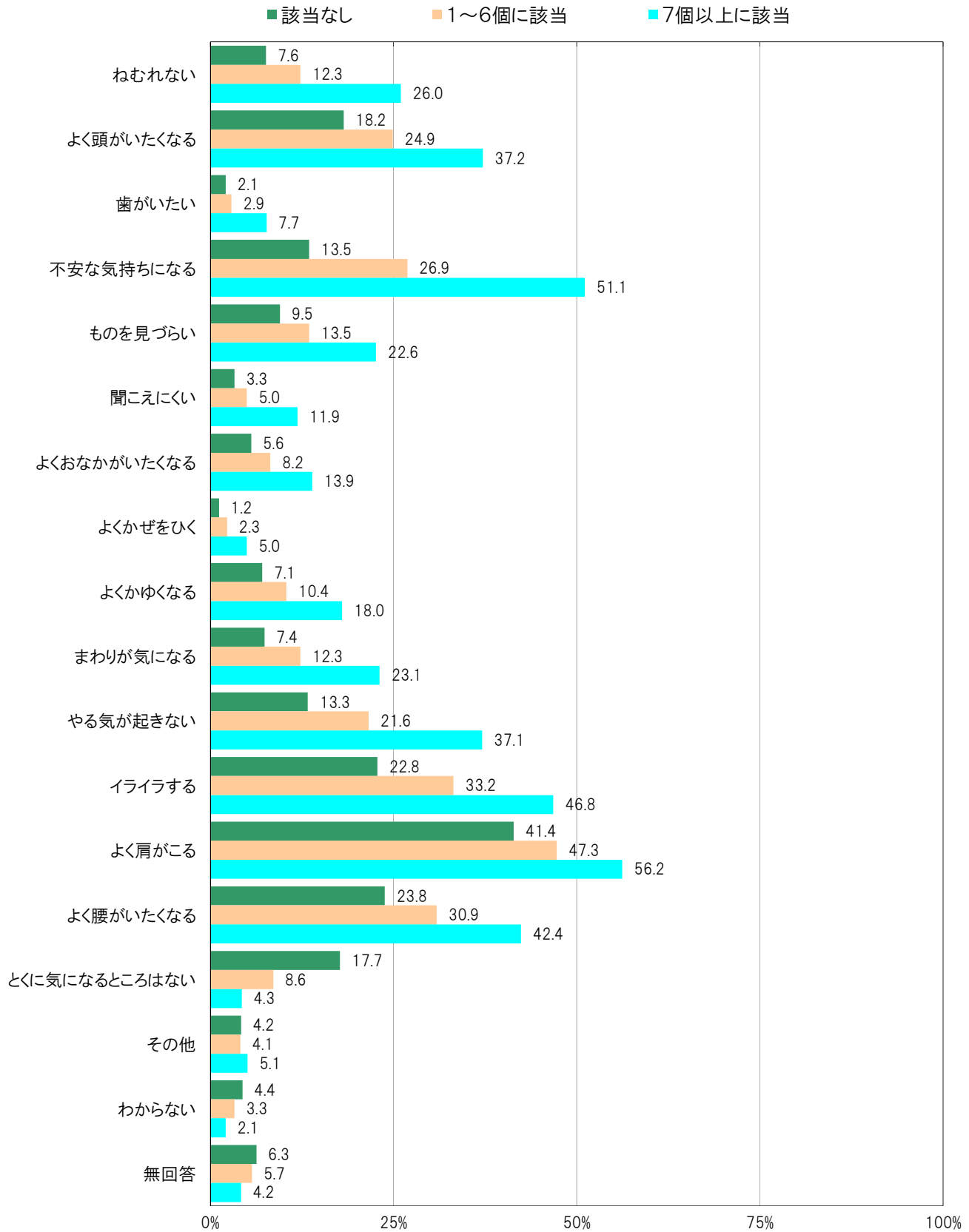
大阪市港区のはく奪指標／1～6個に該当群においては、「よく肩がこる」41.2%、「イライラする」31.4%、「よく腰がいたくなる」28.6%の順に高くなっている。

大阪市港区のはく奪指標／該当なし群においては、「よく肩がこる」45.8%、「イライラする」28.1%、「よく腰がいたくなる」24.9%の順に高くなっている。

〔大阪市港区／はく奪指標別〕



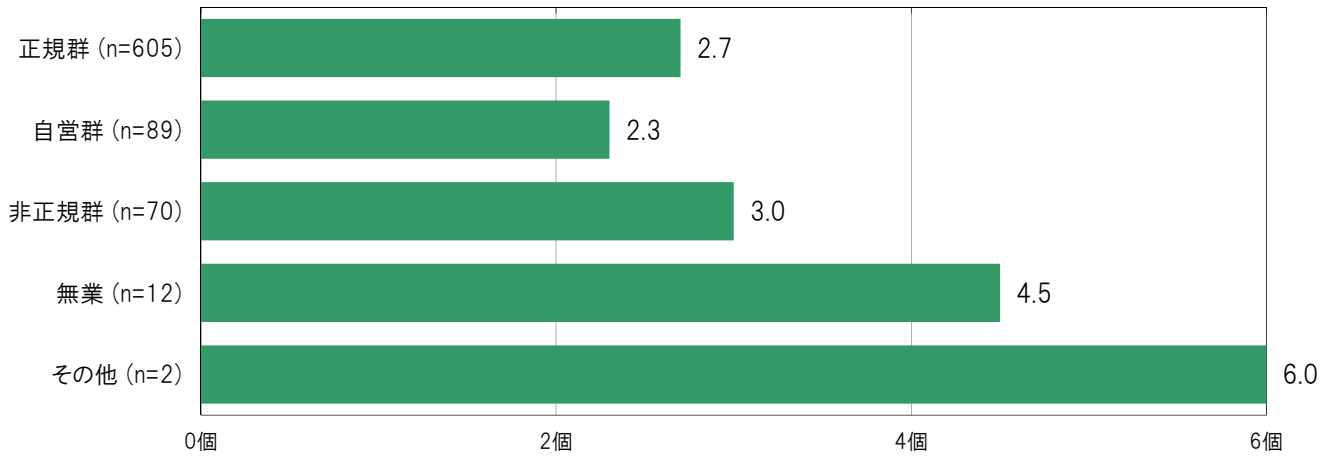
〔大阪市24区／はく奪指標別〕



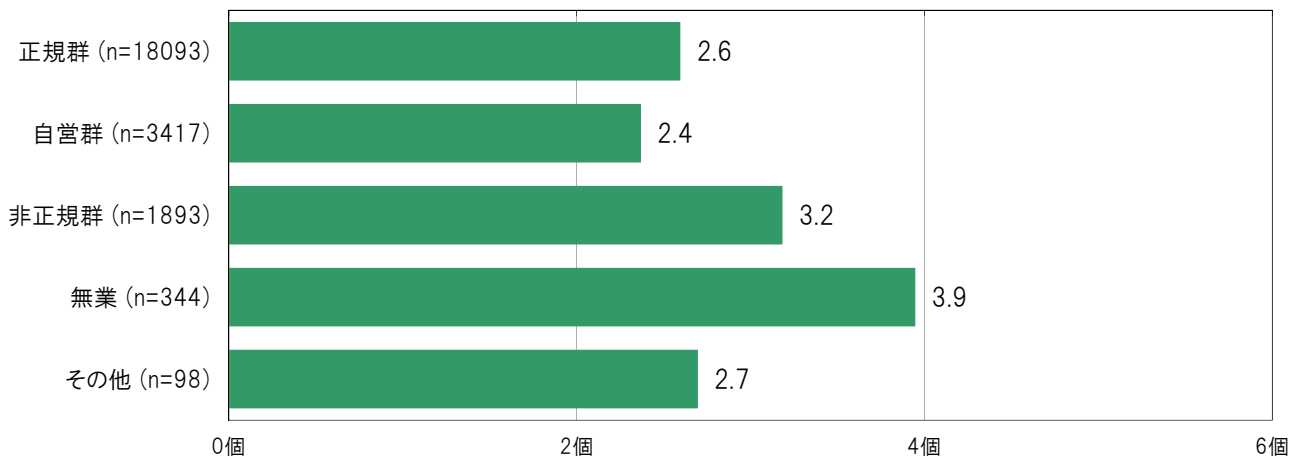
A-250.就労状況別にみた自分の体や気持ちについて気になること／該当数【保護者 問23】

大阪市港区の就労状況別の該当数平均は、「正規群」2.7個、「自営群」2.3個、「非正規群」3.0個、「無業」4.5個、「その他」6.0個となっている。

〔大阪市港区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕

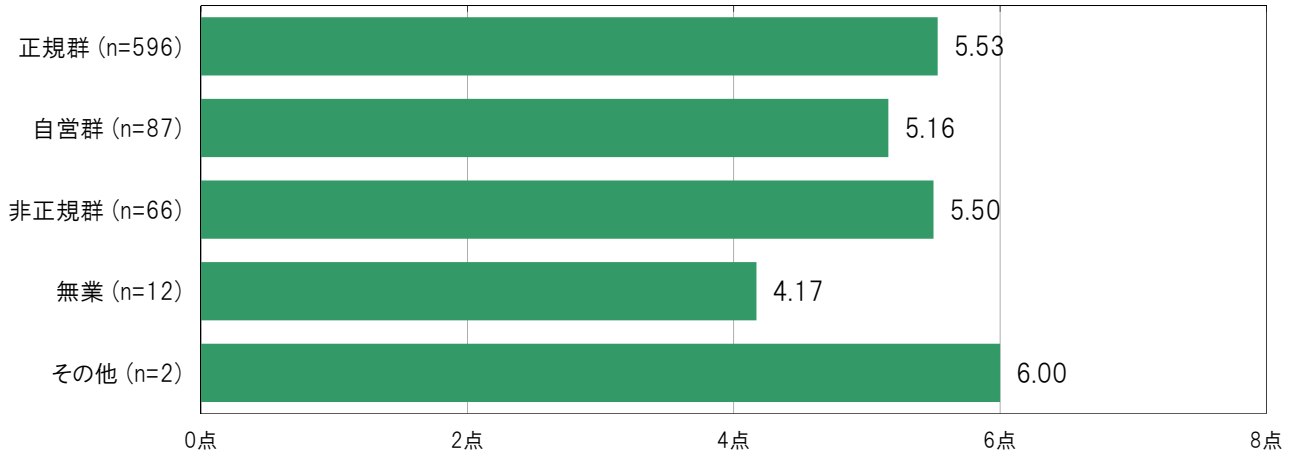


A-251.就労状況別 支えてくれる人／①～⑦の合計点【保護者 問19①～⑦】

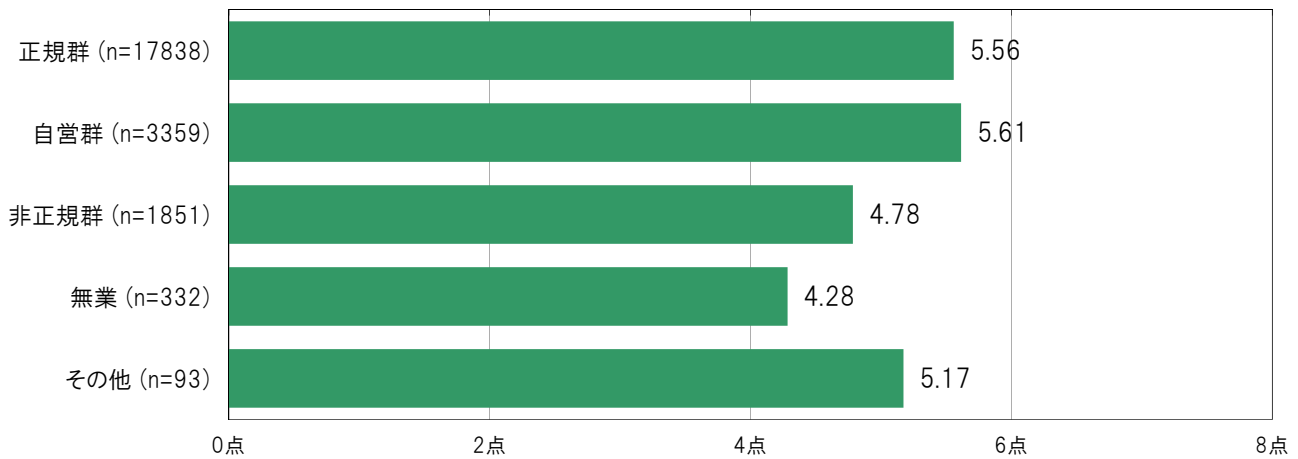
大阪市港区の就労状況別の加重得点平均は、「正規群」5.53点、「自営群」5.16点、「非正規群」5.50点、「無業」4.17点、「その他」6.00点となっている。

※加重得点「いる」= 1点、「いない」= 0点

〔大阪市港区／就労状況別〕



〔大阪市24区／就労状況別〕



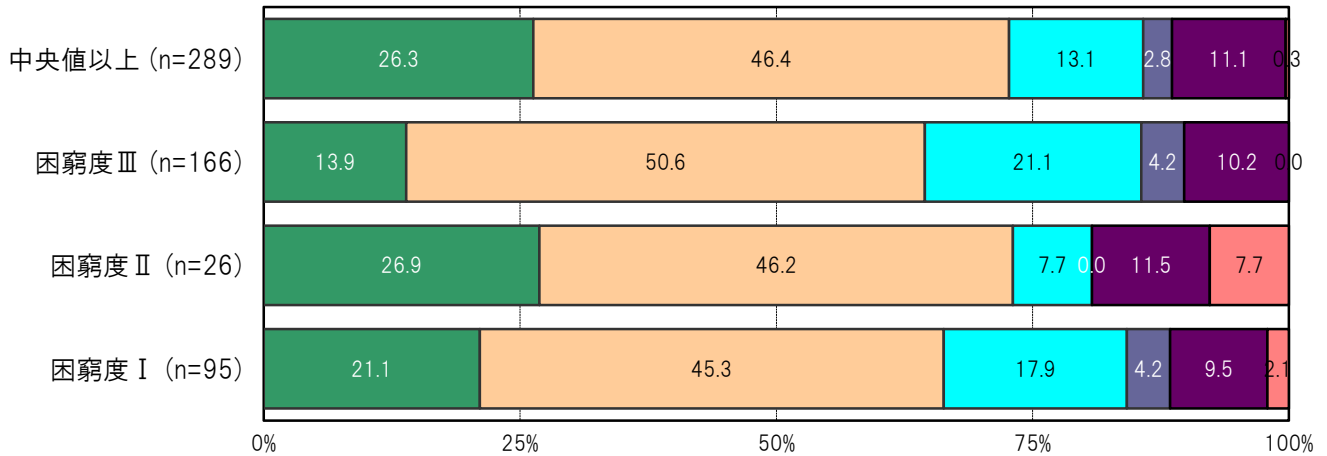
A-252.困窮度別 生活を楽しんでいるか【保護者 問22(1)】

大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「とても楽しんでいる」21.1%、「楽しんでいる」45.3%、「あまり楽しんでいない」17.9%、「楽しんでいない」4.2%、「わからない」9.5%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「とても楽しんでいる」26.3%、「楽しんでいる」46.4%、「あまり楽しんでいない」13.1%、「楽しんでいない」2.8%、「わからない」11.1%となっている。

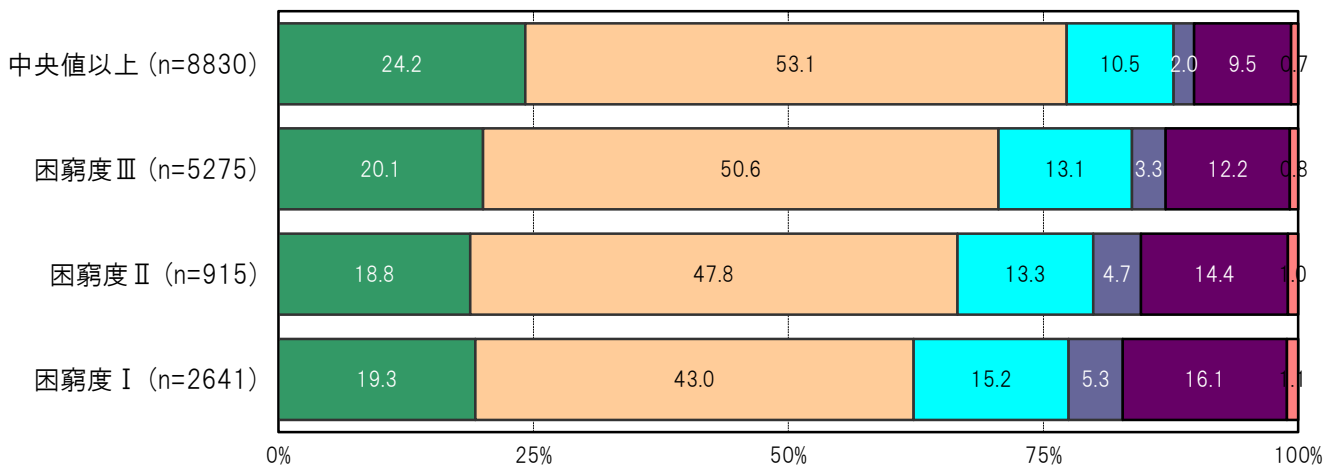
〔大阪市港区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■とても楽しんでいる ■楽しんでいる ■あまり楽しんでいない ■楽しんでいない ■わからない ■無回答



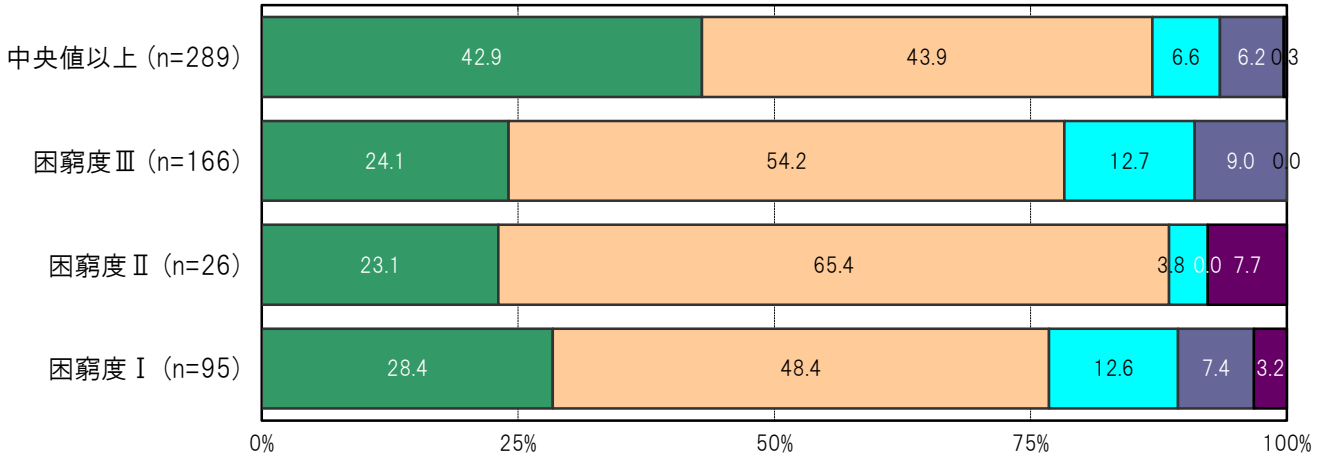
A-253. 困窮度別 将来に対する希望【保護者 問22(2)】

大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「希望が持てる」28.4%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」48.4%、「希望が持てない」12.6%、「わからない」7.4%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「希望が持てる」42.9%、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」43.9%、「希望が持てない」6.6%、「わからない」6.2%となっている。

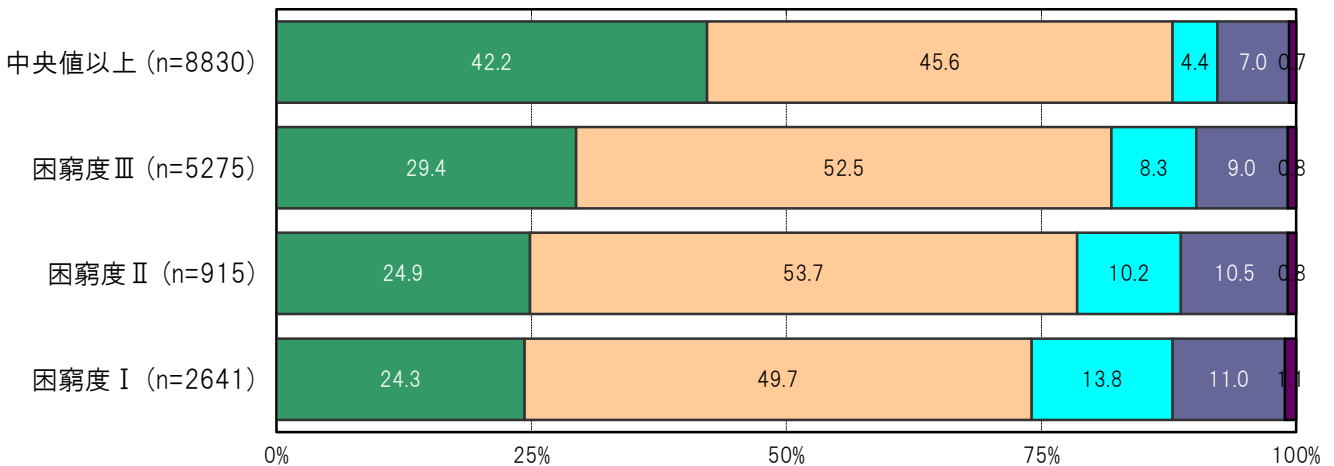
〔大阪市港区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答



〔大阪市24区／困窮度別〕

■希望が持てる ■希望が持てるときもあれば、持てないときもある ■希望が持てない ■わからない ■無回答

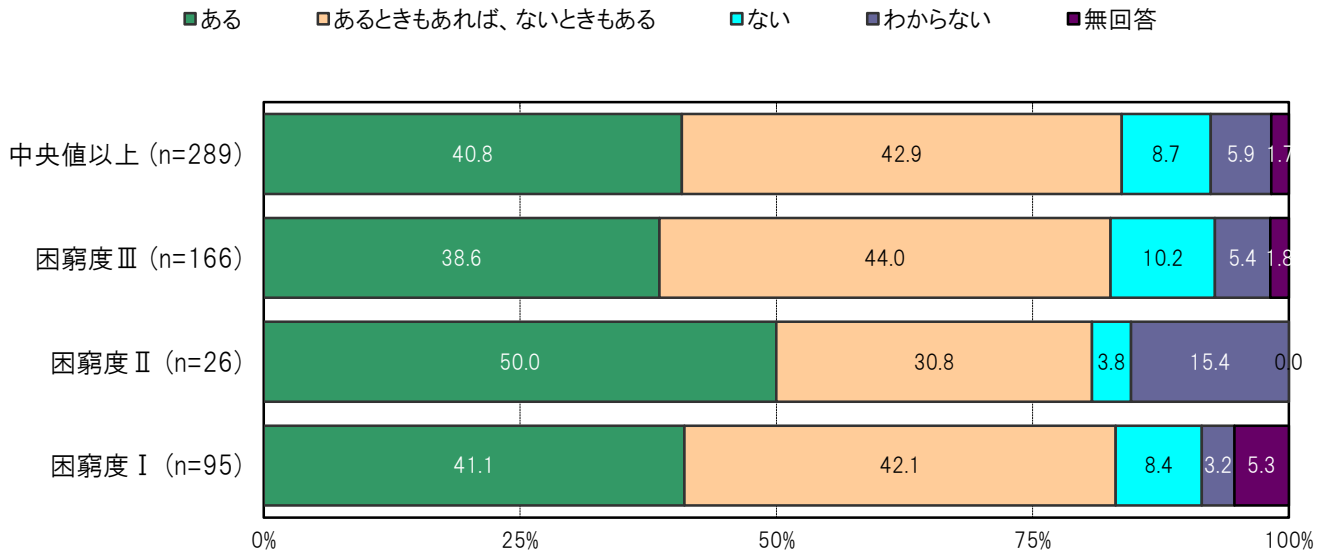


A-254. 困窮度別 ストレスを発散できるもの【保護者 問22(3)】

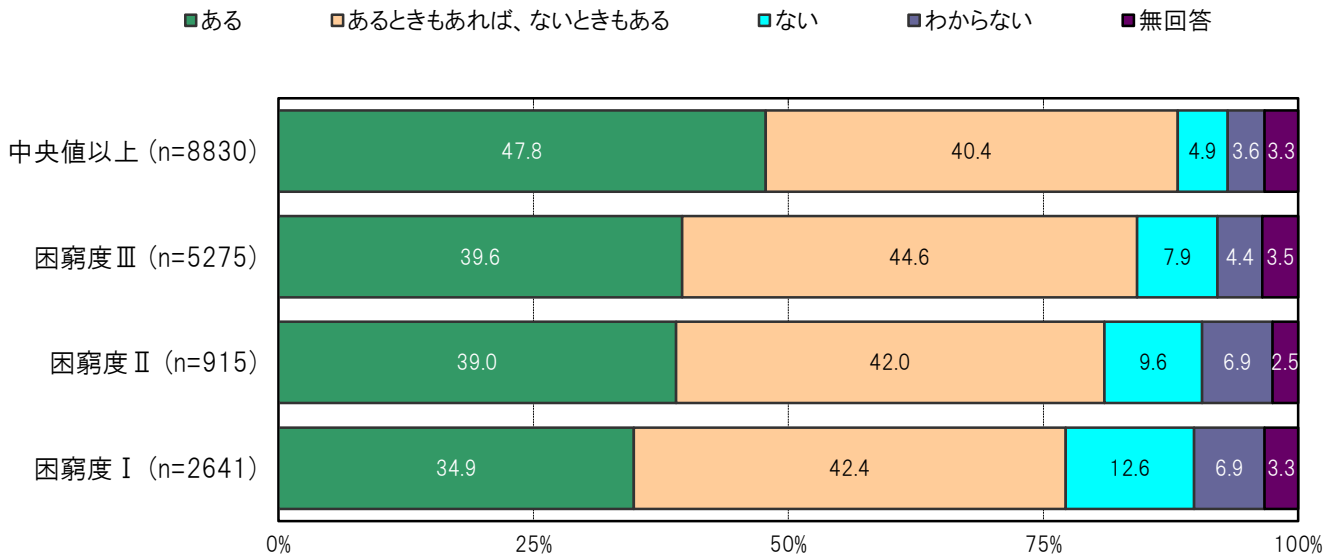
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「ある」41.1%、「あるときもあれば、ないときもある」42.1%、「ない」8.4%、「わからない」3.2%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「ある」40.8%、「あるときもあれば、ないときもある」42.9%、「ない」8.7%、「わからない」5.9%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕

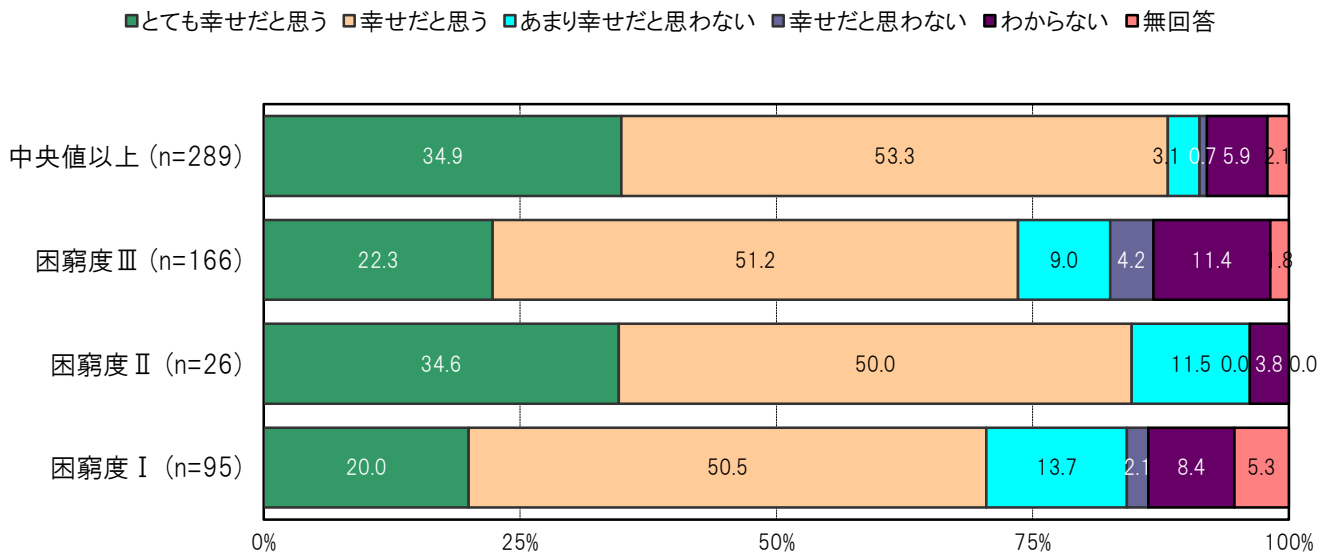


A-255.困窮度別 自分が幸せと思うか【保護者 問22(4)】

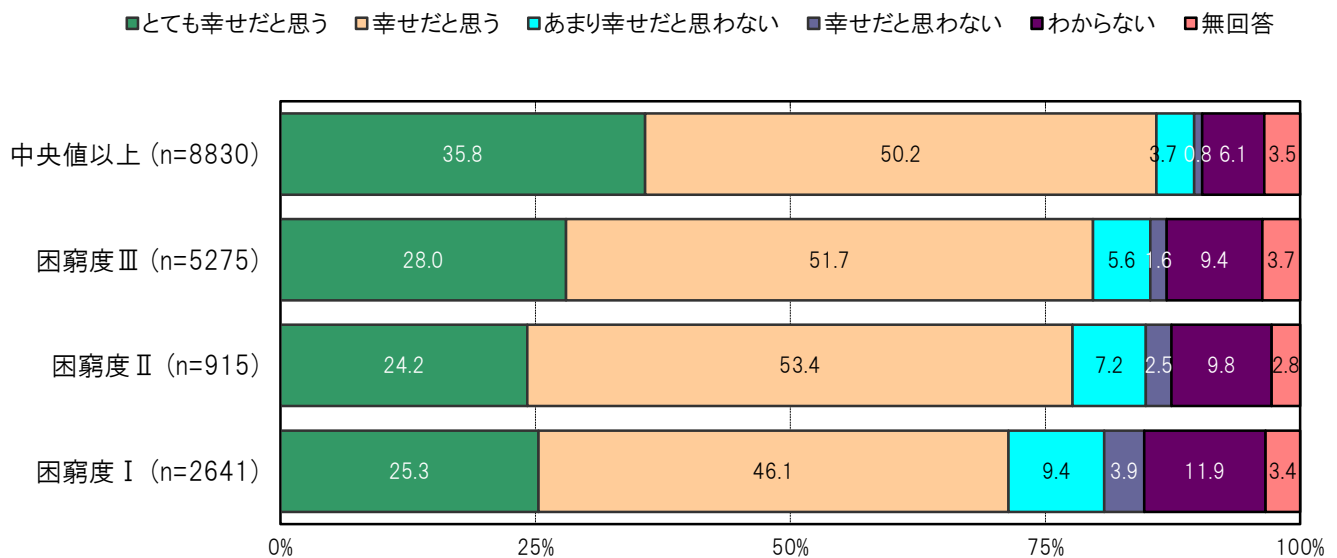
大阪市港区の困窮度Ⅰ群においては、「とても幸せだと思う」20.0%、「幸せだと思う」50.5%、「あまり幸せだと思わない」13.7%、「幸せだと思わない」2.1%、「わからない」8.4%となっている。

大阪市港区の中央値以上群においては、「とても幸せだと思う」34.9%、「幸せだと思う」53.3%、「あまり幸せだと思わない」3.1%、「幸せだと思わない」0.7%、「わからない」5.9%となっている。

〔大阪市港区／困窮度別〕



〔大阪市24区／困窮度別〕



〔健康に関する考察〕

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。朝食の頻度では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「毎日、またはほとんど毎日」（88.9%対80.2%）が8.7ポイント高くなっている。子どもの自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「よくかぜをひく」（8.8%対3.1%）が5.7ポイント高く、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「とくに気になるところはない」（41.5%対33.0%）が8.5ポイント高くなっている。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」（14.7%対9.7%）「よく頭がいたくなる」（28.4%対21.5%）「不安な気持ちになる」（26.3%対20.1%）がいずれも5ポイント以上高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、生活を「とても楽しんでいる」（26.3%対21.1%）5.2ポイント、自分が「とても幸せだと思う」（34.9%対20.0%）が14.9ポイント、将来に対して「希望が持てる」（42.9%対28.4%）が14.5ポイント高くなっている。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、子どもは「楽しみにしていることがたくさんある」「遊びに出かけるのが好きだ」で「そんなことはない」の割合が高くなる傾向にある。また、「不安な気持ちになる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「いらいらする」では「いつもそうだ」の割合が高くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって子どもは「よくかゆくなる」の割合が高くなる傾向にあり、保護者では「ねむれない」「よく頭がいたくなる」「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「ものを見づらい」「聞こえにくい」「よくおなかがいたくなる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」「まわりが気になる」「やる気が起きない」「イライラする」「よく肩がこる」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、肉体労働に従事している可能性や、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。また、経済的に困難な世帯では、保護者・子どもいずれもかゆみを感じており、衛生状態が懸念されるほか、風邪をひきやすいといった健康上の影響もうかがえる。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。母親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」「自営群」と答えた2群において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が高く（85.3%、84.1%）、「無業」では81.8%、また「非正規群」（74.2%）は80%未満になっている。この結果から、母親が正規群あるいは自営群の世帯では、朝の時間に余裕があることがうかがえる。

また、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」（55.1%対46.4%）が8.7ポイント、子どもと会話を「よくする」（69.3%対57.1%）、が12.2ポイント高くなっている。また、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、朝食を「食べない」群と比べ、子供の将来に「とても期待している」（23.0%対7.1%）が15.9ポイント高くなっている。また、「食べない」群では「毎日、またはほとんど毎日」食べている群に比べ、休日に子どもと関わる時間が「2時間未満」（17.9%対13.5%）が4.4ポイント高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日、またはほとんど毎日」食べている群では、他の群に比べ高い傾向にある。また、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では他の群に比べ高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効感を高める可能性が示唆された。

最後に、困窮度と将来の展望や気持ちとの関わりに注目する。困窮度別に自分の将来の夢や目標を持っているかについて、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ「いつもそうだ」の割合は、「楽しみにしていることがたくさんある」（44.9%対39.6%）が5.3ポイント高くなっている。また、「困窮度Ⅰ群」は「中央値以上群」と比べ、「いつもそうだ」の割合は、「不安な気持ちになる」（19.8%対9.8%）が10.0ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難でない世帯の子どもは、将来不安がなく、日常生活の中で元気に過ごしている傾向があるということがうかがえる。